

吉木小学校教室棟大規模改修建築工事

図 面 リ ス ト					
図番	図 面 名	図番	図 面 名	図番	図 面 名
	建築		建築		建築
A-01	改修工事特記仕様書（１）	A-26	現況、改修後 展開図（２）	A-51	現況、改修後 建具表（３）
A-02	改修工事特記仕様書（２）	A-27	現況、改修後 展開図（３）	A-52	現況、改修後 １階天井伏図
A-03	改修工事特記仕様書（３）	A-28	現況、改修後 展開図（４）	A-53	現況、改修後 ２階天井伏図
A-04	改修工事特記仕様書（４）	A-29	現況、改修後 展開図（５）	A-54	現況、改修後 ３階天井伏図
A-05	配置図	A-30	現況、改修後 展開図（６）	A-55	１、２階劣化調査平面図
A-06	仕上表	A-31	現況、改修後 展開図（７）	A-56	３、Ｒ階劣化調査平面図
A-07	現況 １、２階平面図	A-32	現況、改修後 展開図（８）	A-57	劣化調査立面図（１）
A-08	現況 ３、Ｒ階平面図	A-33	現況、改修後 展開図（９）	A-58	劣化調査立面図（２）
A-09	改修後 １、２階平面図	A-34	現況、改修後 展開図（１０）	A-59	１、２階劣化調査天井伏図
A-10	改修後 ３、Ｒ階平面図	A-35	現況、改修後 展開図（１１）	A-60	３階劣化調査天井伏図
A-11	現況、改修後 南、東立面図	A-36	現況、改修後 展開図（１２）	A-61	劣化調査展開図（１）
A-12	現況、改修後 北、西立面図	A-37	現況、改修後 展開図（１３）	A-62	劣化調査展開図（２）
A-13	現況 １階平面詳細図（１）	A-38	現況、改修後 展開図（１４）	A-63	１、２階家具キープラン
A-14	現況 １階平面詳細図（２）	A-39	現況、改修後 展開図（１５）	A-64	３階家具キープラン
A-15	現況 ２階平面詳細図（１）	A-40	現況、改修後 展開図（１６）	A-65	木製家具標準仕様書
A-16	現況 ２階平面詳細図（２）	A-41	現況、改修後 展開図（１７）	A-66	家具詳細図（１）
A-17	現況 ３階平面詳細図（１）	A-42	現況、改修後 展開図（１８）	A-67	家具詳細図（２）
A-18	現況 ３階平面詳細図（２）	A-43	現況、改修後 展開図（１９）	A-68	家具詳細図（３）
A-19	改修後 １階平面詳細図（１）	A-44	現況、改修後 展開図（２０）	A-69	家具詳細図（４）
A-20	改修後 １階平面詳細図（２）	A-45	現況、改修後 展開図（２１）	A-70	家具詳細図（５）
A-21	改修後 ２階平面詳細図（１）	A-46	現況、改修後 １階建具配置図	A-71	家具詳細図（６）
A-22	改修後 ２階平面詳細図（２）	A-47	現況、改修後 ２階建具配置図	A-72	家具詳細図（７）
A-23	改修後 ３階平面詳細図（１）	A-48	現況、改修後 ３階建具配置図		
A-24	改修後 ３階平面詳細図（２）	A-49	現況、改修後 建具表（１）		
A-25	現況、改修後 展開図（１）	A-50	現況、改修後 建具表（２）		

図面目録

[illegible]

7

4

錆止め塗料塗り

塗装改修工事

5

合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

6

6

クリヤラッカー塗り（CL）

7

7

フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）

8

8

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）

9

9

耐候性塗料塗り（DP）

10

10

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）

11

11

合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）

12

12

合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EPT）

13

13

ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）

14

14

オイルステイン塗り（OS）

15

15

木材保護塗装塗り（WP）

16

16

屋内水系塗料塗り

塗料種別

(表7.3.1)~(表7.3.2)

塗装面	種別	備考
鉄鋼面	※A種（屋外） ※B種（屋内） ・B種（EP-Gの場合）	
亜鉛めっき鋼面	※A種 ・B種 ・C種（EP-Gの場合）	

錆止め塗料塗り

(表7.3.3)~(表7.3.4)

塗装面	種別	備考
鉄鋼面	・A種 ・B種 ※C種	
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種 ※C種	
新規鋼製建具等亜鉛めっき鋼面	※A種 ※B種 ・C種	

(表7.4.1)~(表7.4.3)

塗装面	種別	塗装の種類	備考
木部	新規 ・A種 ・B種 ・C種	※1種 ・2種	
鉄鋼面	新規 ・A種 ・B種	※1種 ・2種	
亜鉛めっき鋼面	新規 ・A種 ・B種	※1種 ・2種	
鋼製建具面A種	亜鉛 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種	

(表7.5.1)

塗装面	種別	備考
木部	・A種 ※B種	

(表7.6.1)~(表7.6.2)

塗装面	種別	備考
木部	新規 ・A種 ・B種 ・C種	
鉄鋼面	亜鉛 ・A種 ※B種 ・C種	
鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面	新規 ・A種 ・B種	
亜鉛めっき鋼面	亜鉛 ・A種 ※B種 ・C種	

(表7.7.1)

塗装面	種別	備考
モルタル面	・A種 ※B種	
	・A種 ※B種	

(表7.8.1)~(表7.8.3)

塗装面	種別	塗料の種類	備考
鉄鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※上塗1級	外部点検通路
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種 ・C種	※上塗1級	
コンクリート面	・A種 ・B種 ・C種	※上塗1級	壁種
その他			

(表7.9.1)~(表7.9.4)

塗装面	種別	備考
木部	新規 ※A種 ・B種 ・C種	
鉄鋼面	新規 ・A種 ・B種	
亜鉛めっき鋼面	新規 ・A種 ※B種 ・C種	
コンクリート面	新規 ・A種 ・B種	内部壁
その他	亜鉛 ・A種 ※B種 ・C種	

(表7.10.1)

塗装面	種別	備考
	新規 ・A種 ・B種	
	亜鉛 ・A種 ※B種 ・C種	

(表7.11.1)

塗装面	種別	備考
	新規 ・A種 ・B種	
	亜鉛 ・A種 ・B種 ・C種	

(表7.12.1)

塗装面	種別	備考
木部	新規 ・A種 ・B種	
	亜鉛 ・A種 ※B種	

(表7.13.1)

塗装面	備考

(表7.14.1)

塗装面	種別	備考
・	・A種 ※B種	
・	・A種 ※B種	

屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りに適用する。

解体工事等仕様

1. 標準仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」及び同上監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」による。

2. 特記仕様

1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は◎印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

◎印と☒印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の解（ ）は、建築物解体工事共通仕様書、（標仕 ）は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）また改（ ）は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の当該項目、当該図、または当該表を示す。

4）形状寸法の単位は特記なきかぎり、ミリメートルとする。

① 現場代理人

現場代理人とは、工事請負規約書に規定する現場代理人という。

② 作業管理者

石綿作業主任者の資格を有する作業管理者とする。

改（9.1.2）

③ 除去処理作業管理者の選任

工事請負者は、除去作業管理者を選任し、除去工事現場に常駐させること。

除去作業管理者は、除去作業全般を統括すること。

④ 除去処理作業従事者の資格

除去作業従事者は、下記のあげる事前教育及び健康診断を受けた者で工事請負者の発行する作業手帳を有し、除去作業管理者の指示を受け作業を行うこと。

科目	範囲	時間
石綿等の有害性	石綿の性状、石綿による疾病の病理及び病状	0.5時間
石綿等の使用状況	石綿を含有する製品の種類及び用途、事前調査の方法	1時間
石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置	建築物又は工作物の解体等の作業の方法、湿潤化の方法 作業場所の隔離の方法、その他石綿等の粉じんの発散を抑制するための処置	1時間
保護器具の使用状況	保護器具の種類、性能、使用方法及び注意事項	0.5時間
その他石綿等のばく露の防止に關し必要な事項	労働安全衛生法（昭和47年法律57号）、労働安全衛生法施工令（昭和47年政令第318号）、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）及び石綿障害予防規則中の関係条項、石綿等による健康障害を防止するため当該関係条項、石綿等による健康障害を防止するため当該条項に付いて必要な事項	1時間

除去作業に従事する作業者は事前に、一般健康診断（石綿を取り扱う場合は6ヶ月ごと）、じん肺健康診断・アスベストに関する特化則による健康診断の実施については、下記の記載の場合は除くことができる。

ア. じん肺健康診断

・除去処理作業に従事する期間において、3年以内に診断を実施した者とする。

イ. 石綿障害予防規則による健康診断

・除去処理作業に従事する期間において、6ヶ月ごとに診断を実施した者とする。

⑤ 安全対策及び協議

安全衛生に関する管理者は、現場代理人が選任者になり、関係法令等に従ってこれを行う。また着工に先立って工期・工事方法及び安全のための立入禁止区域の設定等について当該施設関係者、監督員と十分に協議し施工計画に盛り込むこと。

施工の確認及び報告

（1）アスベスト管理地区を設定し、養生が完了した段階。

（2）アスベスト含有吹付け材の除去作業が完了した段階。

（3）アスベスト粉じん濃度の測定整備が完了した段階。

（4）内部足場を取り外す前の段階。

（5）その他監督員により指示のあった時。

アスベスト粉じん濃度の測定

（1）工事請負者は、除去処理工事の工事着工前、工事中及び除去完了後の作業所内周辺環境及び監督員が指示する箇所において空気中のアスベスト濃度測定を行うこと。

（2）測定方法はJIS K 3850-1（空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法）による。

（3）測定は、厚生労働省・都道府県基準局に登録されている作業測定機関又は、これと同等の技術を有するものに委託し、その測定機関が証明する測定結果を監督員に提出する。

⑨ アスベスト

① 施工調査

施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。

処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。

調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。

（1）アスベスト含有成形板使用部位の確認

（2）アスベスト含有成形板の種類、厚さ等の確認

（3）アスベスト含有成形板使用数量の確認

（4）施工範囲と工事管理区分の確認

（5）廃棄物の搬出方法について

② 施工計画書

（1）施工計画書

着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受ける。

なお、施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。

① 工事概要

ア. 工事名称

イ. 工事場所

ウ. 工事期間

エ. 工事内容

オ. その他

② 管理組織

③ 安全衛生管理及び飛散防止対策

④ 使用用具、器具類、材料及び調合

⑤ 工事の流れ

⑥ 仮設計画（足場、養生）

⑦ 作業要領（作業計画図面を含む。）

⑧ 確認、検査方法

⑨ 工事工程表

⑩ その他必要事項

（2）官公署その他への手続き等

一般建築工事の手続きのほか、地方公共団体が定めている手続きを行う。

③ 安全衛生管理

（1）建物内部で除去作業を行う場合は開閉部位（出入口、換気孔、窓等）は閉とし、ガラスの破損箇所等で閉となっている部分を、養生シート等で塞ぐものとする。

（2）建物外周部で除去作業を行う場合は、当該部分を養生シート等で囲う。

（3）施工区画入口に、「アスベスト含有成形板除去中、関係者以外立ち入り禁止」を、作業場所の出入口に呼吸用保護具着用を掲示する。

④ 除去処理工事

（1）アスベスト含有成形板の除去

（2）除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具等の搬出にさきが行う。

（3）除去は可能な限り破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として、「手ばらし」とする。

（4）除去作業中は、原則として散水その他により、アスベスト含有成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。

（5）アスベスト含有成形板の集積、運搬等

（6）除去したアスベスト含有成形板の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しない等のほか、粉じんの飛散防止に努める。

（7）細かく粉砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。

⑤ 検査及び後片付け

⑥ 施工記録

アスベスト除去写真撮影要領

① 除去着工前の清掃

② ビニール養生（床二重が分かる撮影・養生養生・機器養生等）

③ クリーンルームの撮影（設置状況、完了時）

④ 負圧除塵装置撮影（フィルター確認状況を含む）

⑤ 各種指示板等の撮影

⑥ 飛散抑制・防止剤噴霧施工時の写真

⑦ 負圧除塵装置撮影（フィルター確認状況を含む）

⑧ 袋詰め撮影

⑨ アスベスト除去後の確認時の撮影

⑩ 飛散防止剤の吹付け時の撮影

⑪ 産業廃棄物の処理状況の撮影

（保管状況、数量確認、積み込み、搬出、運搬、処理場搬入、荷下ろし、数量確認、退場の各状況）

⑫ 各指定段階の濃度測定時の撮影

⑬ 使用材料、配合状況及び使用機器の状況

⑭ その他、監督員が指示する箇所

記事

工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事

図面名 改修工事特記仕様書（4）

SCALE

図面番号 A-04

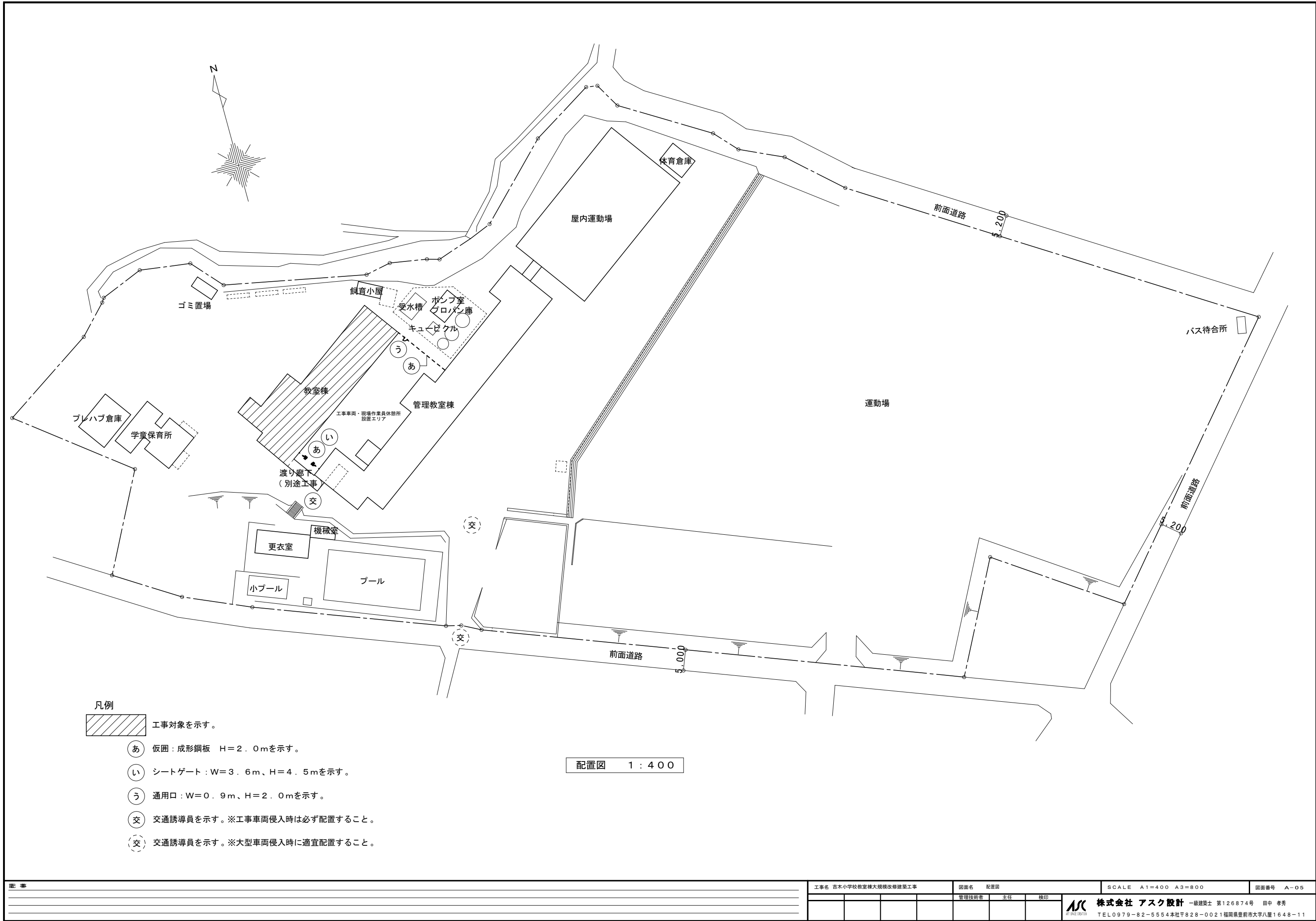
管理技術者

主任

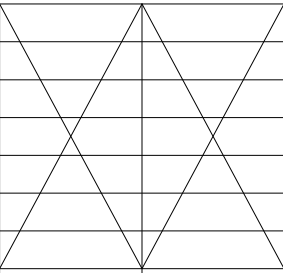
検印

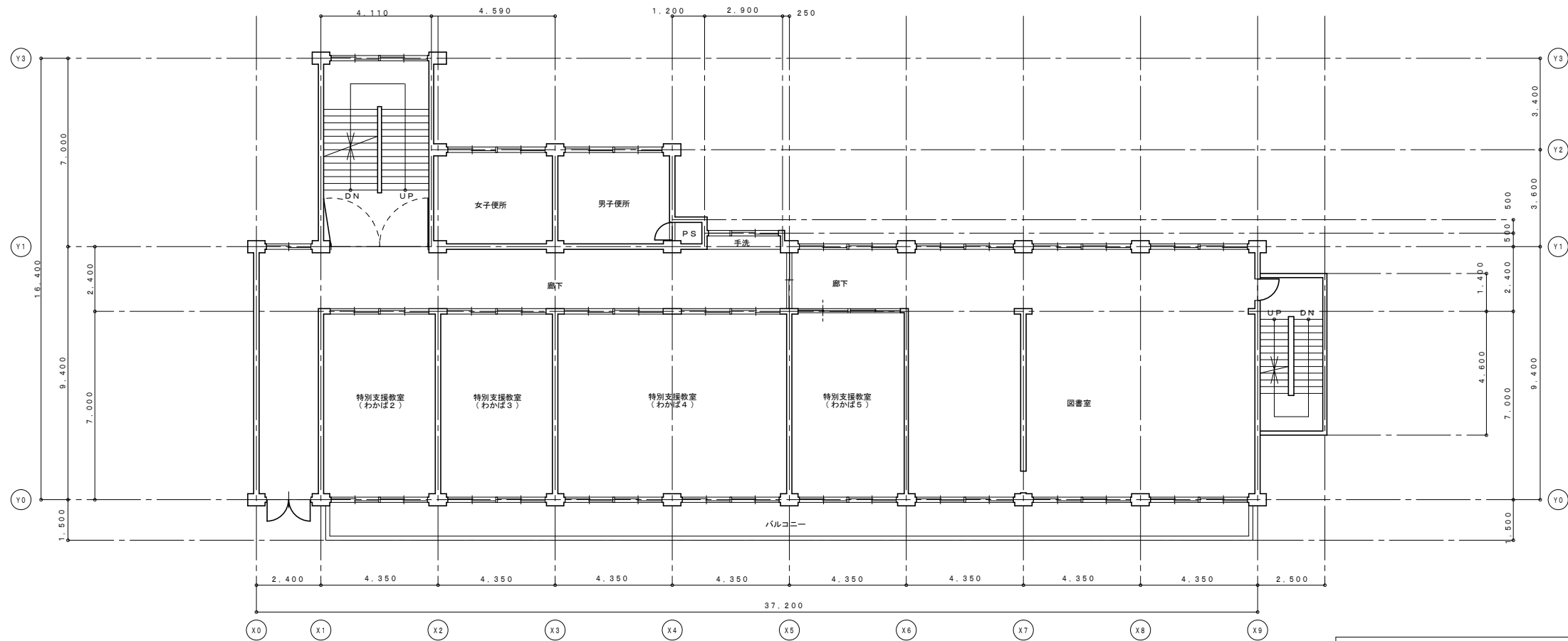
株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀

TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11

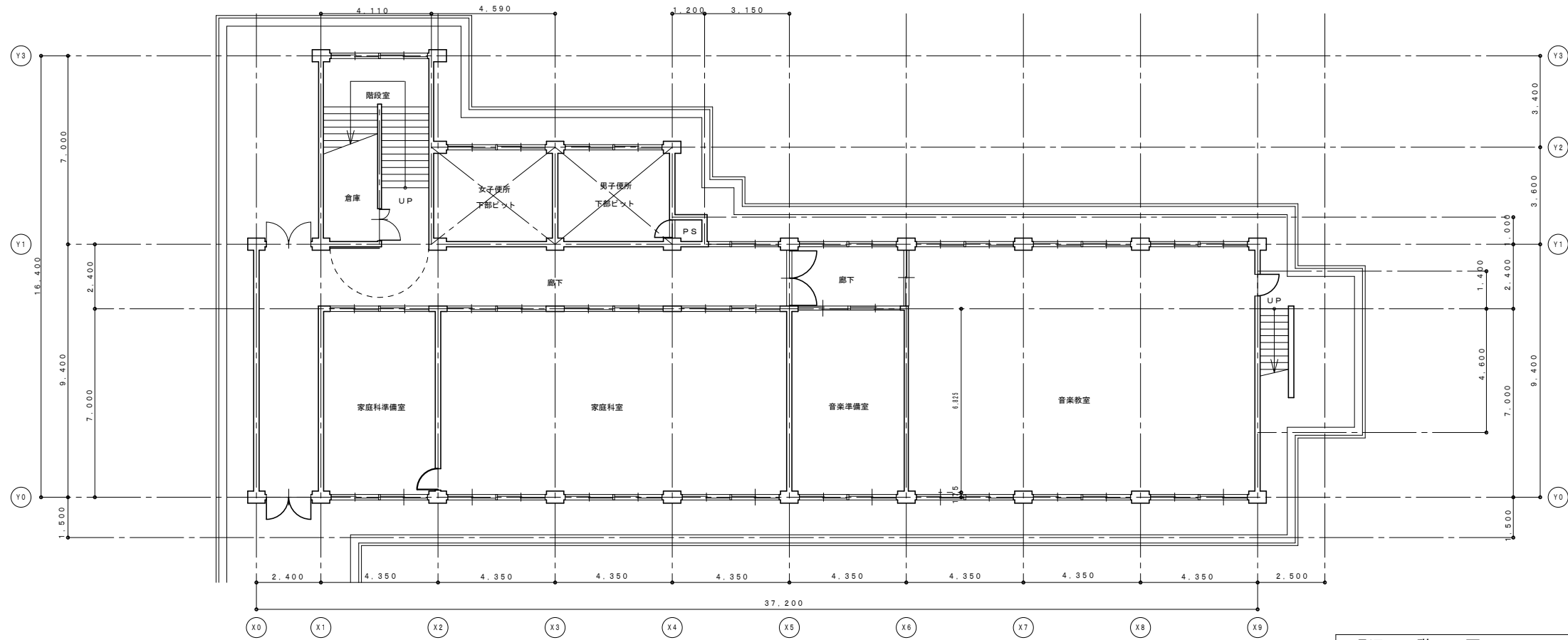


工 事	工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 配置図			SCALE A1=400 A3=800	図面番号 A-05
					管理技術者	主任	機印	<div>株式会社 アスク設計</div> <div>TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11</div>	

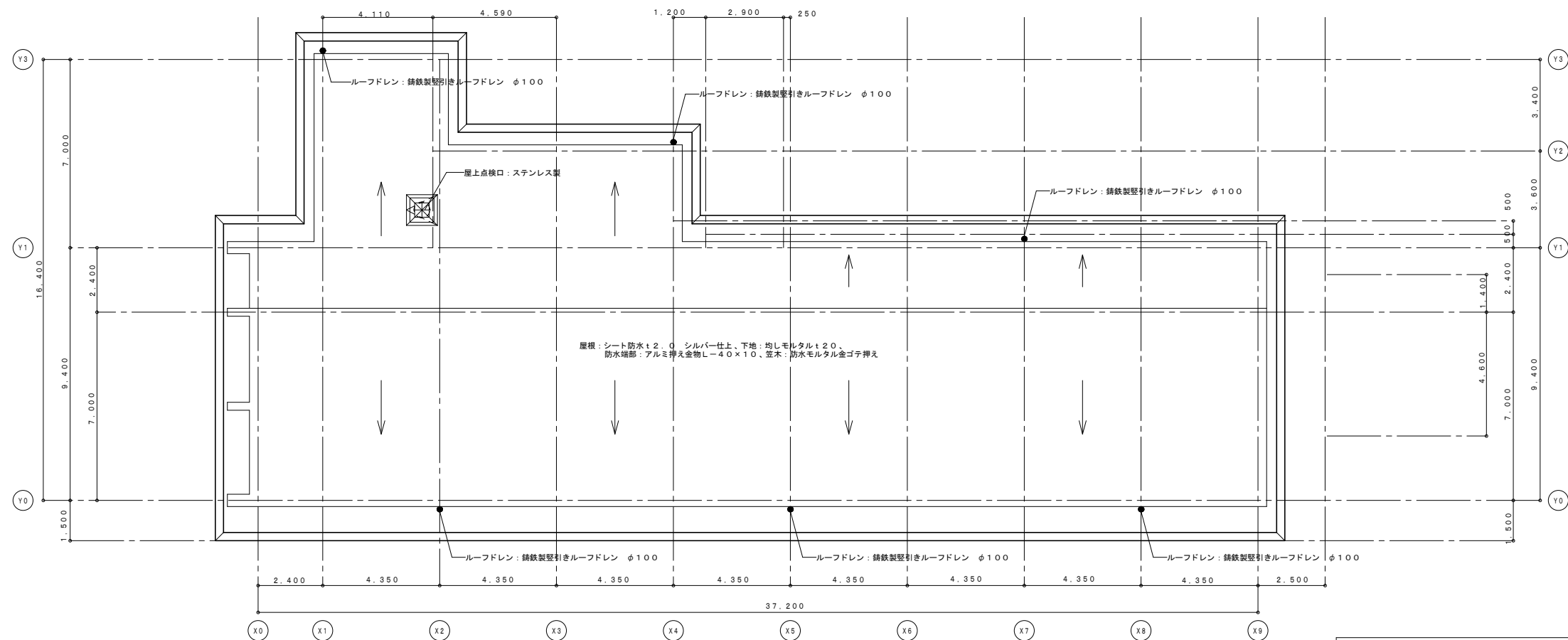
工 事 概 要					外 部 仕 上 表					表 記 凡 例											
工事名称		吉木小学校教室棟大規模改修建築工事			教 室 棟					■ 一 般 材 料		■塗料（現況）		■塗料（改修後）							
工事場所		福岡県筑紫野市吉木2526番地2			現 況			改 修 後		R C	鉄筋コンクリート		A C L	アクリル樹脂系クリヤー		E P G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗				
敷地面積		校舎：10.950㎡2、運動場：9.004㎡2			屋根	シート防水t2.0 シルバー仕上、下地：均しモルタルt20、防水端部：アルミ押え金物L=40×10、笠木：防水モルタル金ゴテ押え			屋根	S3S1工法、新規防水の工程S1→M2工法（遮熱仕様）、断熱材t25 防水端部：アルミ押え金物L=40×10、笠木：劣化部改修の上、遮膜防水X=2			C B	コンクリートブロック		A E P	合成樹脂エマルジョンペイント		E P T	合成樹脂エマルジョン模様塗り	
都市計画区域		○区域内（・市街化区域 ・市街化調整区域 ○未線引）・準都市計画地域・区域外			外壁	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 打継目地：20×20 P U=2、化粧目地：10×20・10×10			外壁	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE（遮熱仕様） 打継目地：20×20 P U=2打ち替え、化粧目地：現況のまま			L G S	軽量鉄骨		V E	溶剤系塩化ビニル樹脂系塗料		E P	合成樹脂エマルジョンペイント	
用途地域		・1低 ・2低 ・1中 ・2中 ・1住 ・2住 ・準住			バルコニー	床：防水モルタル金ゴテ押え（目地切）、巾木：防水モルタル金ゴテ押え、手摺壁：コンクリート打ち放し（B種）の上アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル、笠木：防水モルタル金ゴテ押え			バルコニー	床：塩ビシート貼り（ノンスリップ）、巾木：現況のまま 手摺壁：高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 笠木：劣化部改修の上、遮膜防水X=2			W	木		S O P	合成樹脂調合ペイント		N A D	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	
		・近商 ・商業 ・準工 ・工業 ・工事 ○指定なし			軒裏	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル			軒裏	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、外装薄塗材E									U C	ウレタン樹脂ワニス塗り	
防火地域		・防火 ・準防火 ・法22条区域 ○指定なし			柱型	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル			柱型	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE									S O P	合成樹脂調合ペイント	
指定建ぺい率		60%			梁型	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 天端：防水モルタル金ゴテ押え			梁型	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 天端：劣化部改修の上、遮膜防水X=2											
指定容積率		200%			建具	アルミ製建具（シルバー）、スチール製建具			建具	アルミ製同開き扉（シルバー）：撤去新設、スチール製建具：撤去新設 ※空調室の外部に面するガラス面については、遮熱シート貼り			国土交通省認定不燃材料				国土交通省認定耐火仕様				
工事範囲		教室棟※補助事業			巾木	モルタル金ゴテ押え H=400			巾木	現況のまま			G B-R	石膏ボードt=9.5		準不燃：QM-9828同等品		耐火造骨 間仕切壁	L G S 65（チドリ）、グラスウール t=50（24kg/m3） 下地耐火1時間：F P 060NP-9073 強化石膏ボードt=12.5+普通硬質石膏ボードt=9.5		
工事種別		大規模改修			ルーフトレン	鋼鉄製堅引きルーフトレン φ100			ルーフトレン	改修用ルーフトレン φ100			G B-R-H	普通硬質石膏ボードt=9.5・12.5		不燃：NM-9645同等品					
延べ面積 （建築基準法）		教室棟	渡り廊下			壁 樋	硬質塩ビ管 φ100、養生管 白ガス管 φ125		壁 樋	硬質塩ビ管 φ100：DP塗装、養生管 白ガス管 φ125：DP塗装		G B-D	化粧石膏ボードt=9.5		準不燃：QM-0524同等品						
3階	410.634	――	渡 り 廊 下					※外壁改修に先立ち卒業記念壁画については保存を行うため事前に督員へ報告を行うこと。					F K		ケイ酸カルシウム板t=5		不燃：NM-2695同等品				
2階	410.684	48.500	現 況			改 修 後			参考仕様				消防法								
1階	410.634	48.500	屋根			防水モルタル金ゴテ押え			屋根	劣化部改修の上、遮膜防水X=2 アルミ製開放廊下新設、基礎：遮膜防水X=2			屋根	シート防水：田島ルーフィング（株）スタイロエスⅡ・カネライトフォームスーパーE=Ⅲ同等品							
合計	1231.52	97.000	外壁			コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 打継目地：20×20 P U=2、化粧目地：10×20			外壁	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 打継目地：20×20 P U=2打ち替え、化粧目地：現況のまま			バルコニー	塩ビシート：田島ルーフィング（株）SAND/Hexa同等品							
建築面積 （建築基準法）	436.024	97.000	柱型			コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル			柱型	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE			遮熱シート	3M スコッチテントNano800S同等品							
			梁型			コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 天端：防水モルタル金ゴテ押え			梁型	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 天端：劣化部改修の上、遮膜防水X=2											
			巾木			モルタル金ゴテ押え H=400			巾木	現況のまま											
			2 F床 1 F床			防水モルタル金ゴテ押え モルタル金ゴテ押え			2 F床 1 F床	床：塩ビシート貼り（ノンスリップ） 床：塩ビシート貼り（ノンスリップ）											
			ルーフトレン 壁 樋			鋼鉄製堅引きルーフトレン φ100 硬質塩ビ管 φ100、養生管 白ガス管 φ125			ルーフトレン 壁 樋	改修用ルーフトレン φ100 硬質塩ビ管 φ100：DP塗装、養生管 白ガス管 φ125：DP塗装											
内部仕上表																		※（AS）は、アスベスト含有を示す。 ※音楽教室の接着剤については、集塵装置付サンダー工法にて撤去する。 ※家庭科教室、家庭科準備室の接着剤については、集塵装置付サンダー工法にて撤去する。			
階	室 名		床		巾木		腰壁		壁		柱型		天井		梁型	天井高	備考				
1	改 修 前	音楽教室	フローリングt15 PU塗装（接着剤AS）撤去 手洗：ビニル床シート（防滑）（接着剤AS）撤去		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修 一部ABパネルt25 OP塗装撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	ABパネルt30 OP	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後	図書室	複合フローリングt15 手洗：ビニル床シート（防滑）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	S O P塗装	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	音楽準備室	フローリングブロックt15 PU塗装研磨		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後	相談室	PU塗装（3回塗）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	家庭科教室	エポキシ樹脂塗床t2.0（AS）撤去		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		ビニル床シートt2.0（抗菌）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
2	改 修 前	家庭科準備室	エポキシ樹脂塗床t2.0（AS）撤去		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		ビニル床シートt2.0（抗菌）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	図書室	フローリングt15 PU塗装		ソフト巾木 H=100撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後	多目的室	現況のまま		ソフト巾木 H=100	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	特別支援教室 （わかば5）	フローリングt15 PU塗装撤去		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		複合フローリングt15		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
3	改 修 前	特別支援教室 （わかば4）	フローリングブロックt15 PU塗装研磨		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		PU塗装（3回塗）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	特別支援教室 （わかば3）	フローリングブロックt15 PU塗装研磨		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		PU塗装（3回塗）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	特別支援教室 （わかば2）	フローリングブロックt15 PU塗装研磨		木製 H=100 OP撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後		PU塗装（3回塗）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
共通	改 修 前	外国語教室	フリーアクセスフロアH=100、置敷セッティングフロア		ソフト巾木 H=100撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9撤去	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.000					
	改 修 後	音楽教室・音楽準備室・園工準備室	現況のまま		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装 音楽室B面：吸音用あなき石膏ボードt9.5		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	ロックウール化粧紙吸音板t12、下張：GB-R	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	理科教室	エポキシ樹脂塗床t2.0研磨		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後	理工室	ビニル床シートt2.0（耐薬品）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	理科準備室	エポキシ樹脂塗床t2.0研磨		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	3.020					
	改 修 後	理科準備室・廊下	ビニル床シートt2.0（耐薬品）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
共通	改 修 前	暗室	エポキシ樹脂塗床t2.0		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	2.500					
	改 修 後		現況のまま		現況のまま	――	――		――	――	――	現況のまま	――		――						
	改 修 前	廊下	弾性ウレタン系塗床t3研磨		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	化粧せっこうボードt9	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	2.640					
	改 修 後		ビニル床シートt2.0（防滑）		木製 H=100 UC	杉小巾板t9 UC（県産材）、胴縁24×45@455	E P-G塗装		E P-G塗装	E P-G塗装	E P-G塗装	現況のまま	E P-G塗装		E P-G塗装						
	改 修 前	階段	1、2階：弾性ウレタン系塗床t3研磨 3階：ビニル床シートt2.0（防滑）撤去		モルタル金ゴテ目地切 H=100 A E P	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修	1、2階：化粧せっこうボードt9 3階：E P-G塗装 1、2階：E P-G塗装 3階：現況のまま	モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修		モルタル金ゴテ押え A E P劣化部改修						
	改 修 後		ビニル床シートt2.0（防滑）		E P-G塗装	――	――		――	――	――	現況のまま	――		――						
共通	改 修 前	階段下倉庫	防水モルタル金ゴテ押え		モルタル金ゴテ目地切 H=100	――	――		コンクリート打ち放し	――	――	コンクリート打ち放し	――		――	1.825 ？					
	改 修 後		現況のまま		現況のまま	――	――		現況のまま	――	――	現況のまま	――		――	3.650					
	改 修 前	男子・女子便所	ビニル床シートt2（抗菌・防滑）		ビニル床シートt2立上 H=100	陶器質100角タイル張り	モルタル金ゴテ押え E P-G		――	――	――	化粧せっこうボードt9									



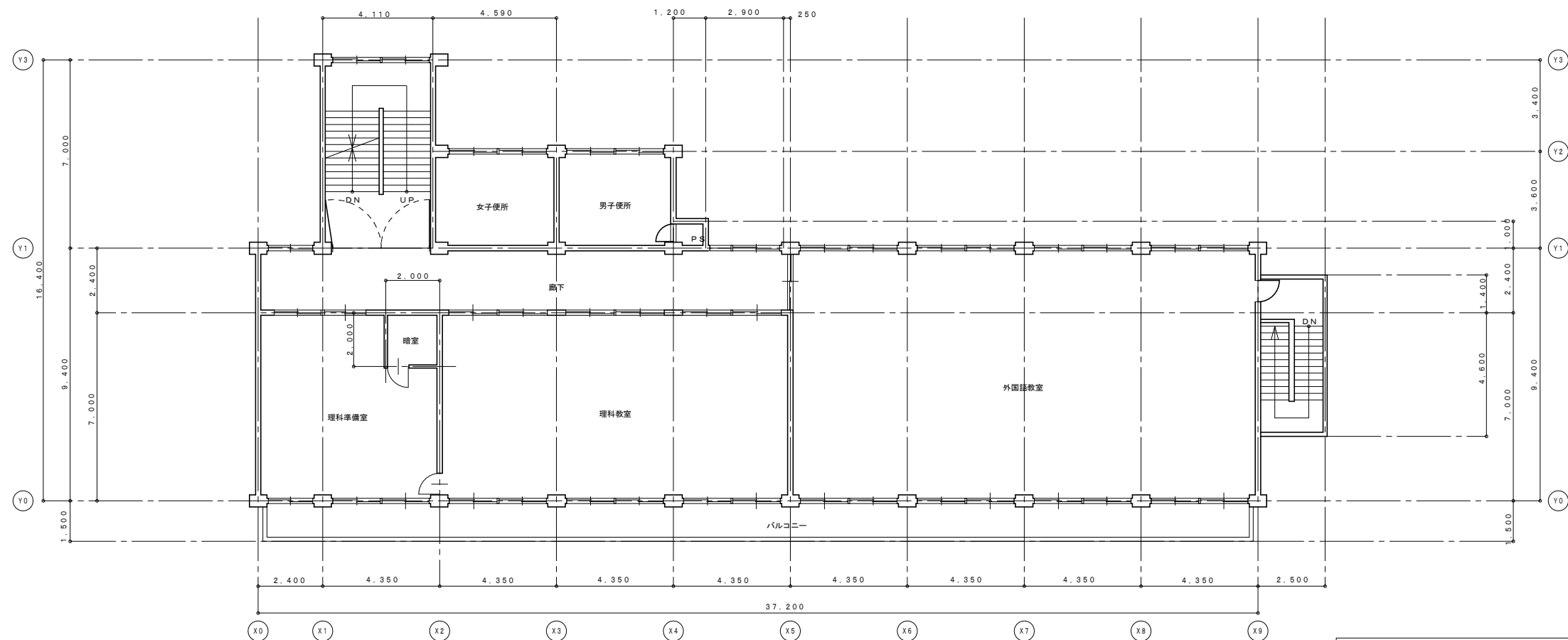
現況 2階平面図 1 : 100



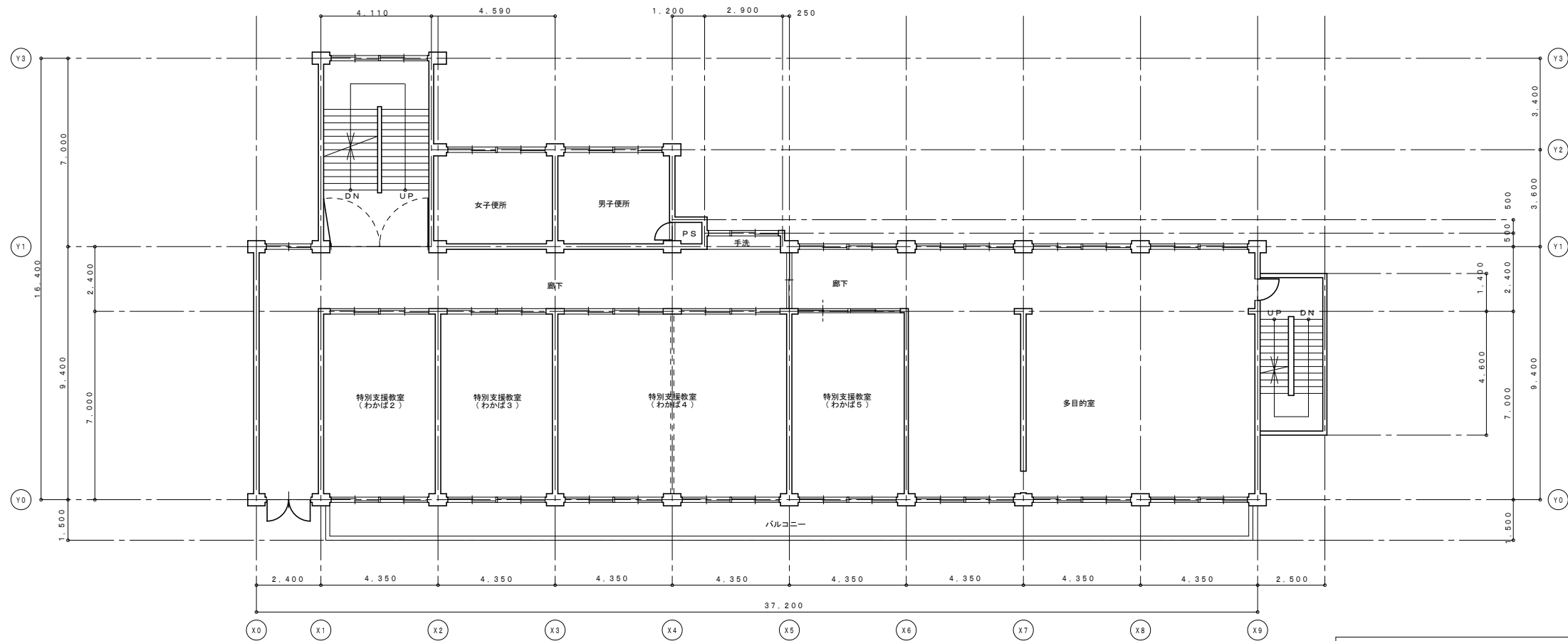
現況 1階平面図 1 : 100



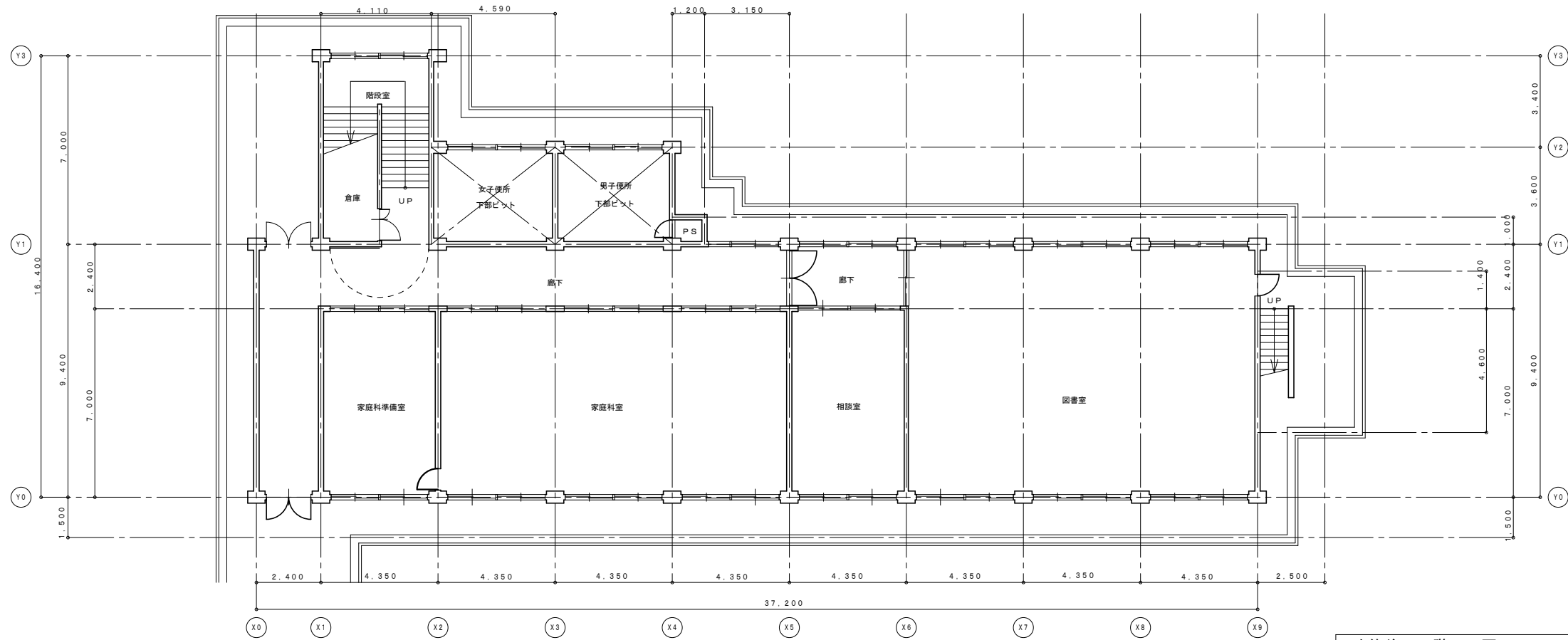
現況 R階平面図 1 : 100



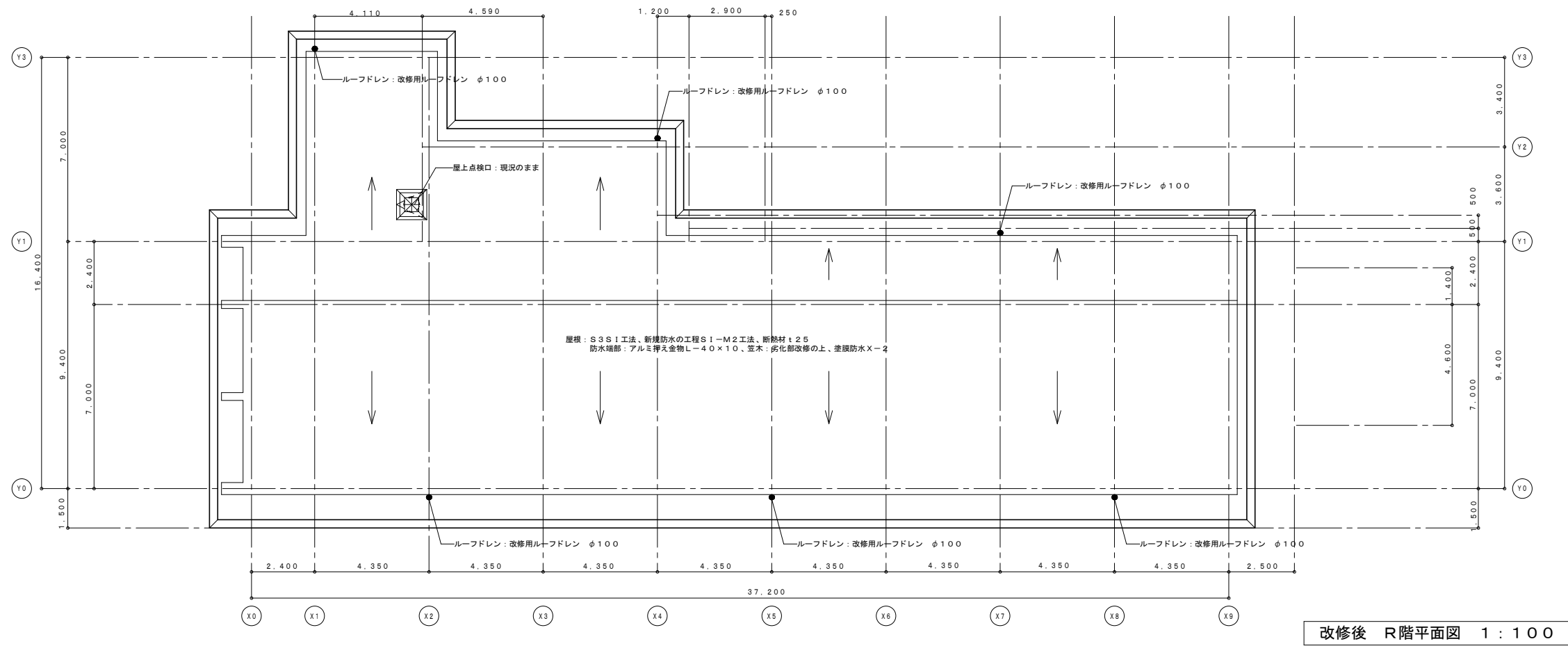
現況 3階平面図 1 : 100



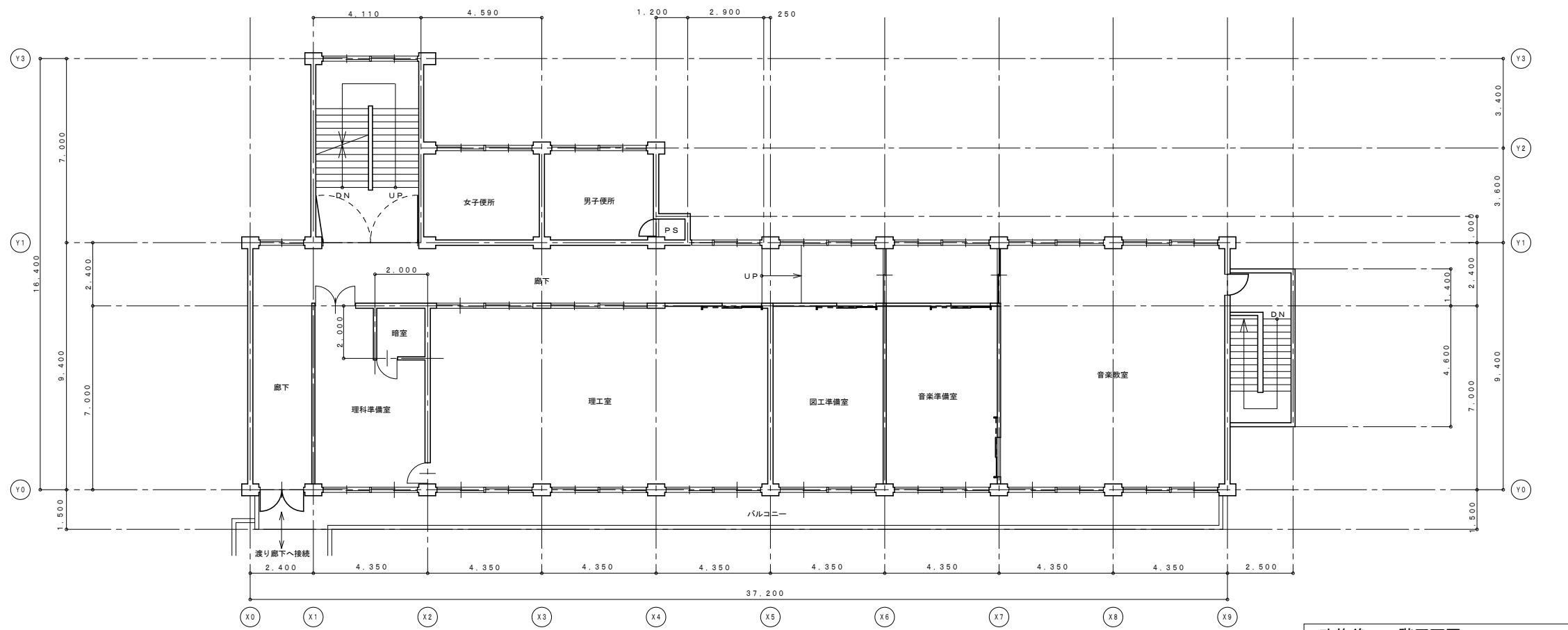
改修後 2階平面図 1 : 100



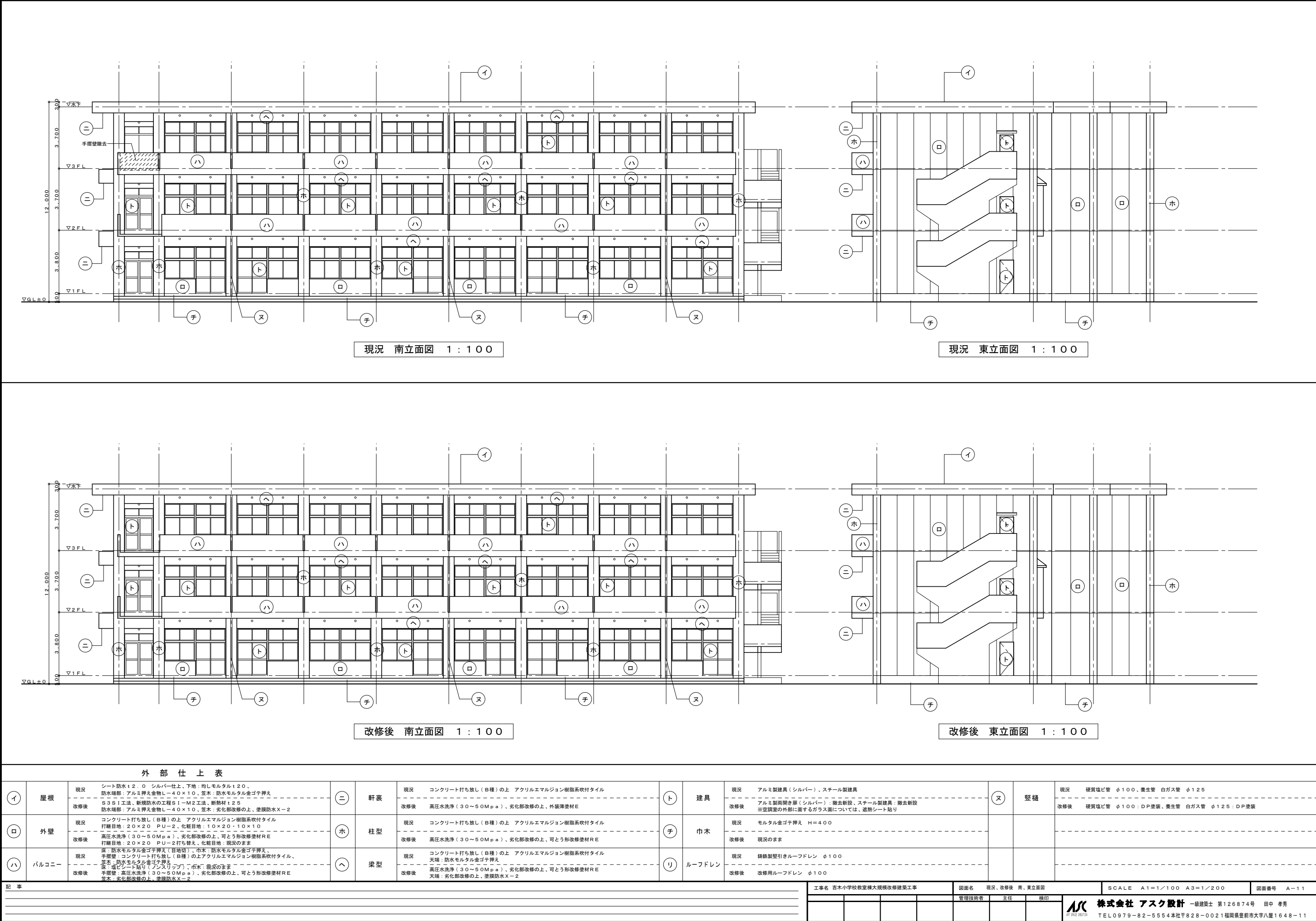
改修後 1階平面図 1 : 100



改修後 R階平面図 1:100



改修後 3階平面図 1:100



改修後 南立面図 1 : 100

改修後 東立面図 1 : 100

外部仕上表															
イ	屋根	現況	シート防水t2.0 シルバー仕上、下地：均しモルタルt20、防水端部：アルミ押え金物L-40×10、笠木：防水モルタル金ゴテ押え	ニ	軒裏	現況	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル	ト	建具	現況	アルミ製建具（シルバー）、スチール製建具	ヌ	縦樋	現況	硬質塩ビ管 φ100、養生管 白ガス管 φ125
		改修後	S3S1工法、新規防水の工程S1-M2工法、断熱材t25 防水端部：アルミ押え金物L-40×10、笠木：劣化部改修の上、塗膜防水X-2			改修後	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、外装薄塗材E			改修後	アルミ製建具（シルバー）：撤去新設、スチール製建具：撤去新設 ※空調室の外壁に面するガラス面については、遮熱シート貼り			改修後	硬質塩ビ管 φ100：DP塗装、養生管 白ガス管 φ125：DP塗装
ロ	外壁	現況	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 打継目地：20×20 PU-2、化粧目地：10×20・10×10	ホ	柱型	現況	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル	チ	巾木	現況	モルタル金ゴテ押え H=400				
		改修後	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 打継目地：20×20 PU-2打ち替え、化粧目地：現況のまま			改修後	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE			改修後	現況のまま				
ハ	バルコニー	現況	床：防水モルタル金ゴテ押え（目地切）、巾木：防水モルタル金ゴテ押え、手摺壁：コンクリート打ち放し（B種）の上アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル、笠木：防水モルタル金ゴテ押え	ヘ	梁型	現況	コンクリート打ち放し（B種）の上 アクリルエマルジョン樹脂系吹付タイル 天端：防水モルタル金ゴテ押え	リ	ルーフトレン	現況	鉄鉄製壁引きルーフトレン φ100				
		改修後	床：塩ビシート貼り（フッ素リップ）、巾木：現況のまま、手摺壁：高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 笠木：劣化部改修の上、塗膜防水X-2			改修後	高圧水洗浄（30～50Mpa）、劣化部改修の上、可とう形改修塗材RE 天端：劣化部改修の上、塗膜防水X-2			改修後	改修用ルーフトレン φ100				

記事

工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事

図面名 現況、改修後 南、東立面図

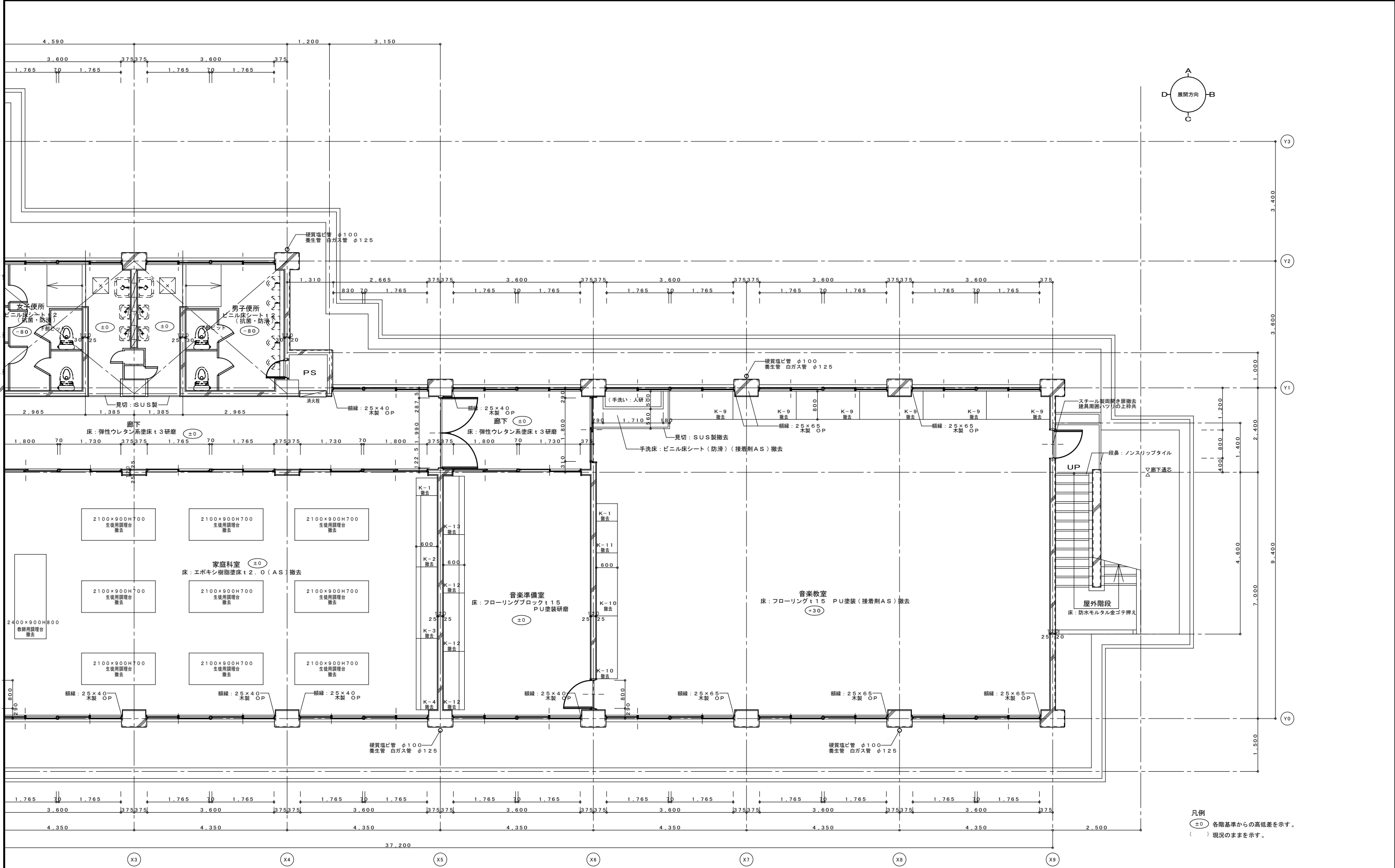
SCALE A1=1/100 A3=1/200

図面番号 A-11

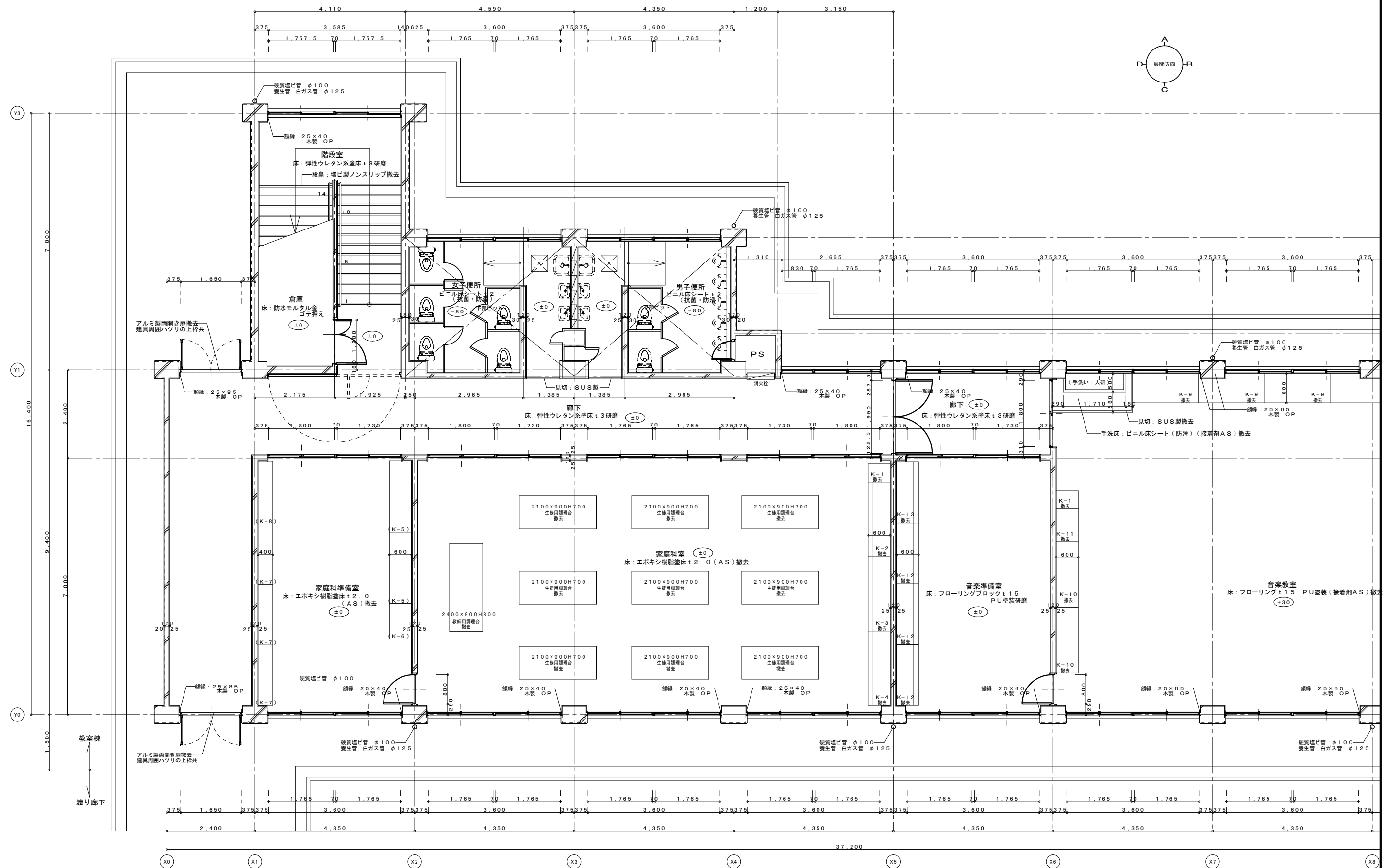
管理技術者 主任 機印

株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀

TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11

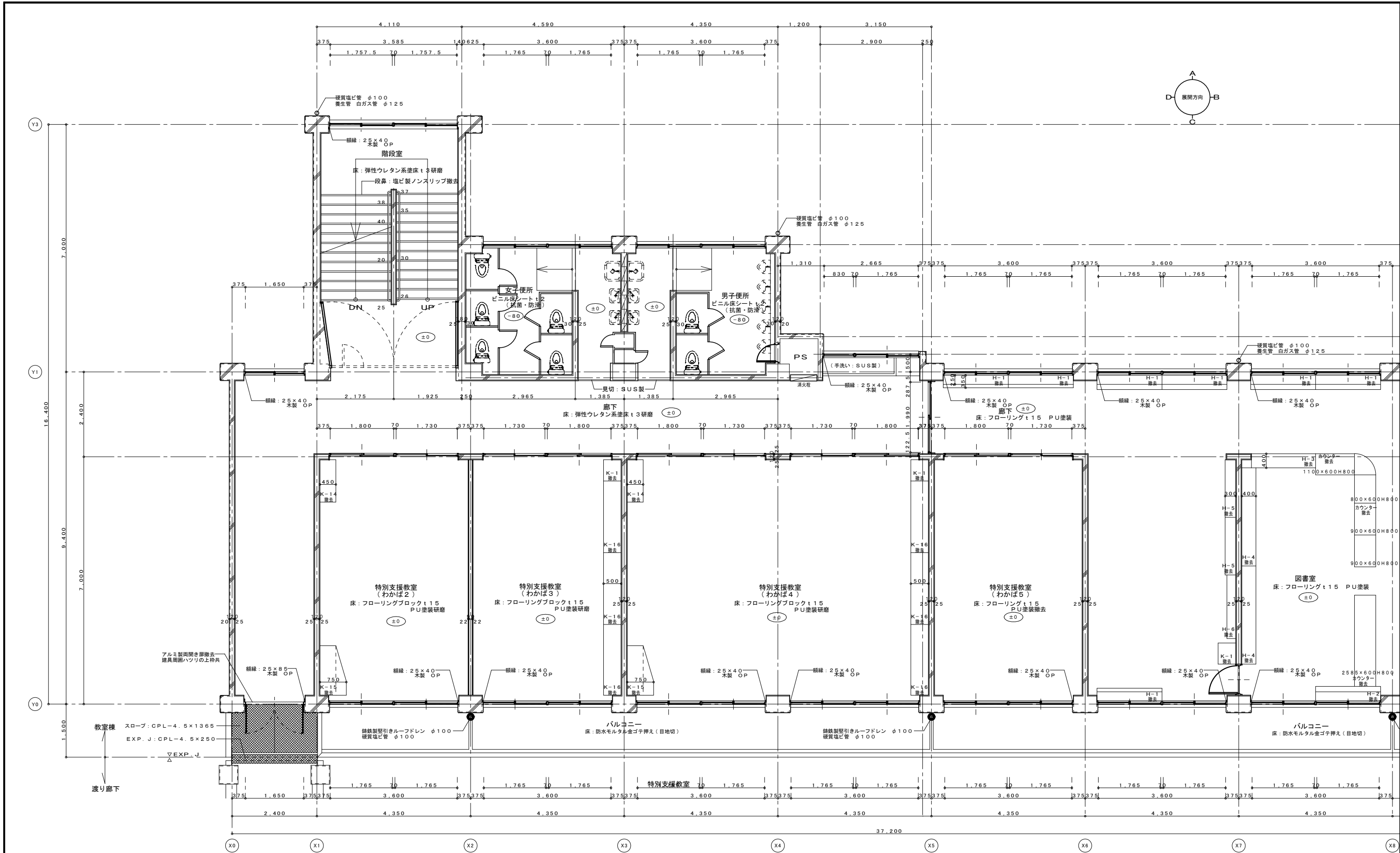


現況 1階平面詳細図 1 : 50



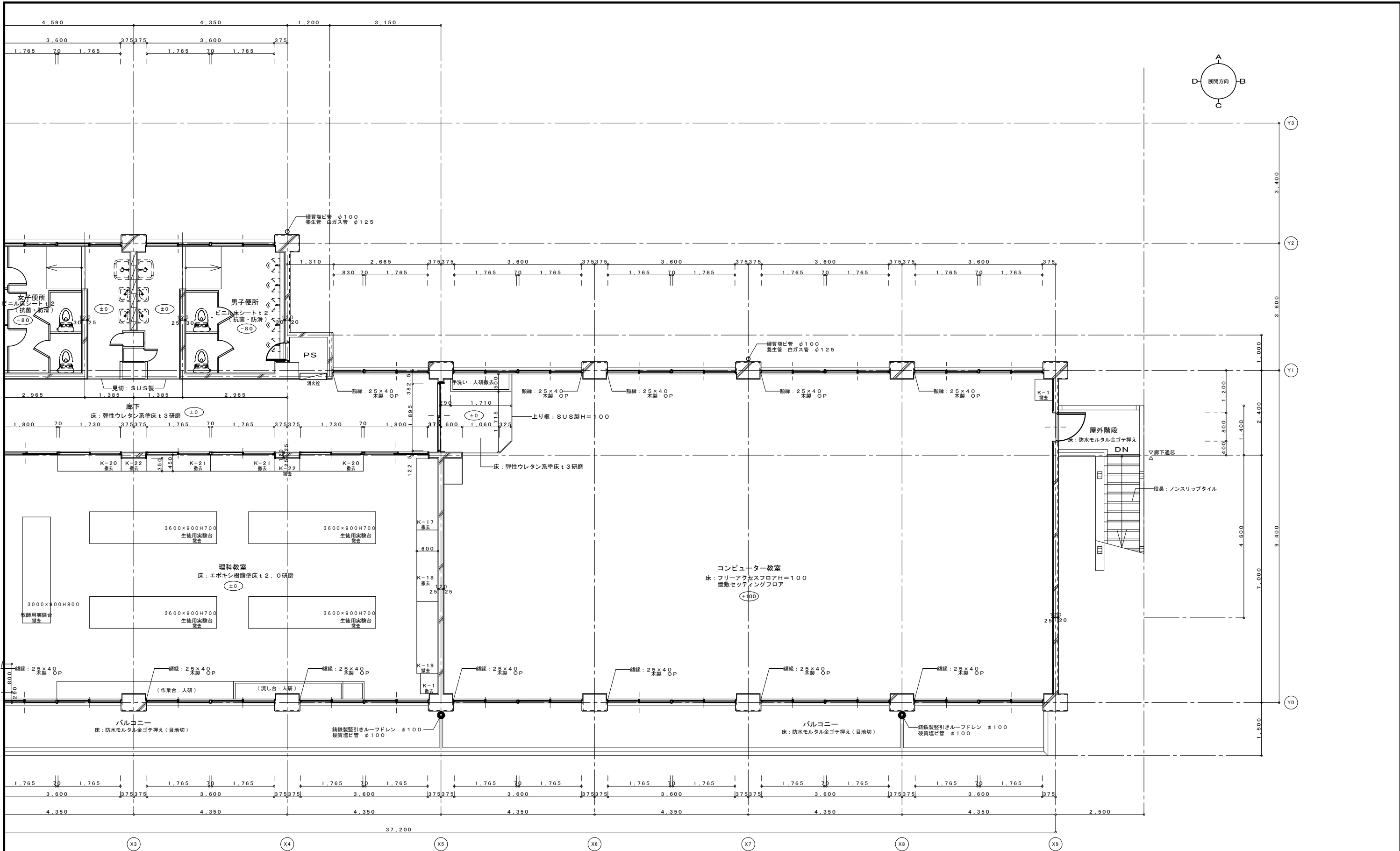
現況 1階平面詳細図 1:50

凡例
±0 各階基準からの高低差を示す。
() 現況のままを示す。




現況 2階平面詳細図 1 : 50

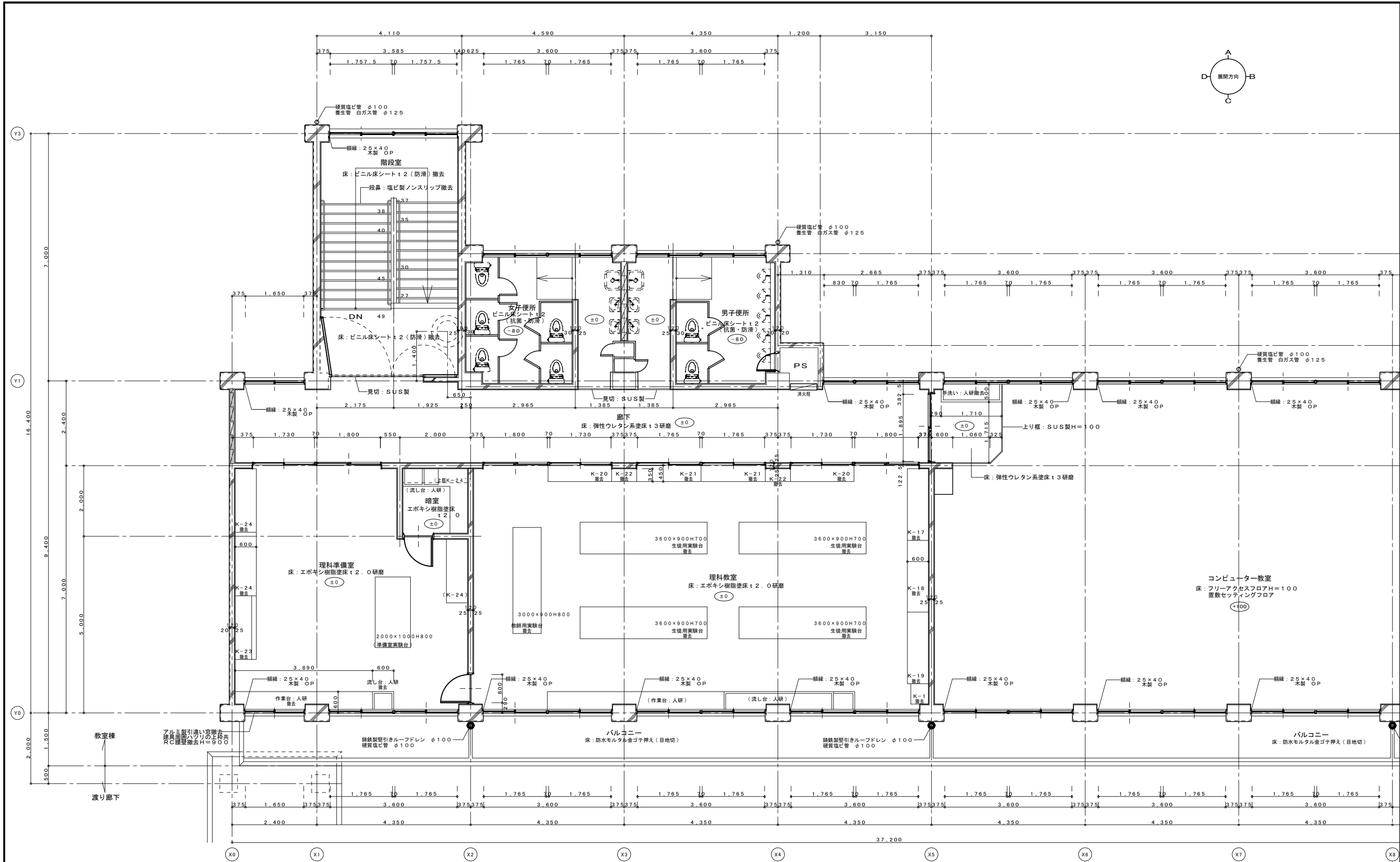
凡例
±0 各階基準からの高低差を示す。
() 現況のまますを示す。



現況 3階平面詳細図 1 : 50

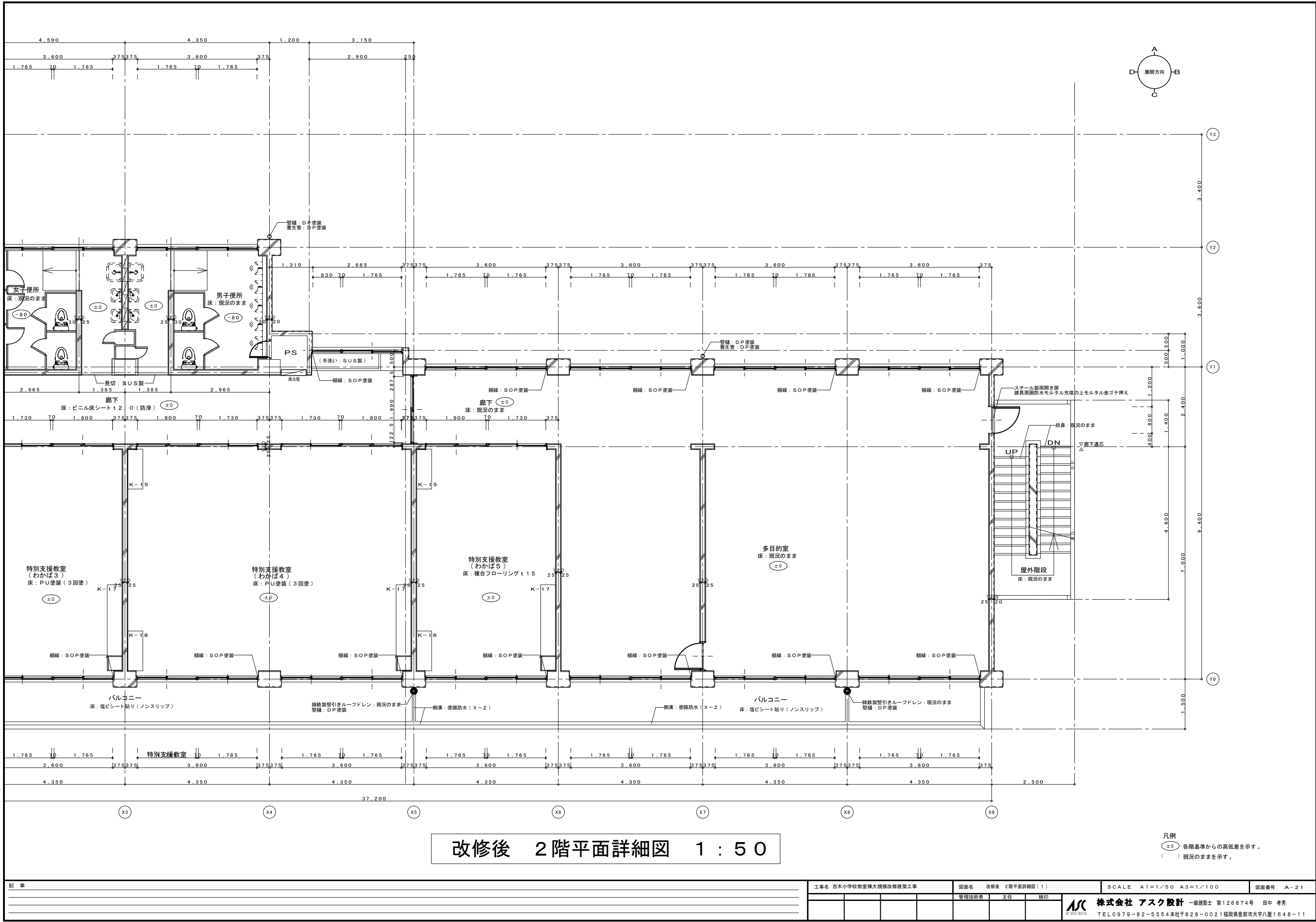
凡例
±0 各階基準からの高低差を示す。
() 現況のまますを示す。

記 事	工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況 3階平面詳細図(1)			SCALE A1=1/50 A3=1/100		図面番号 A-17
					管理技術者	主任	機印		株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀 TEL0979-82-5554 本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11	



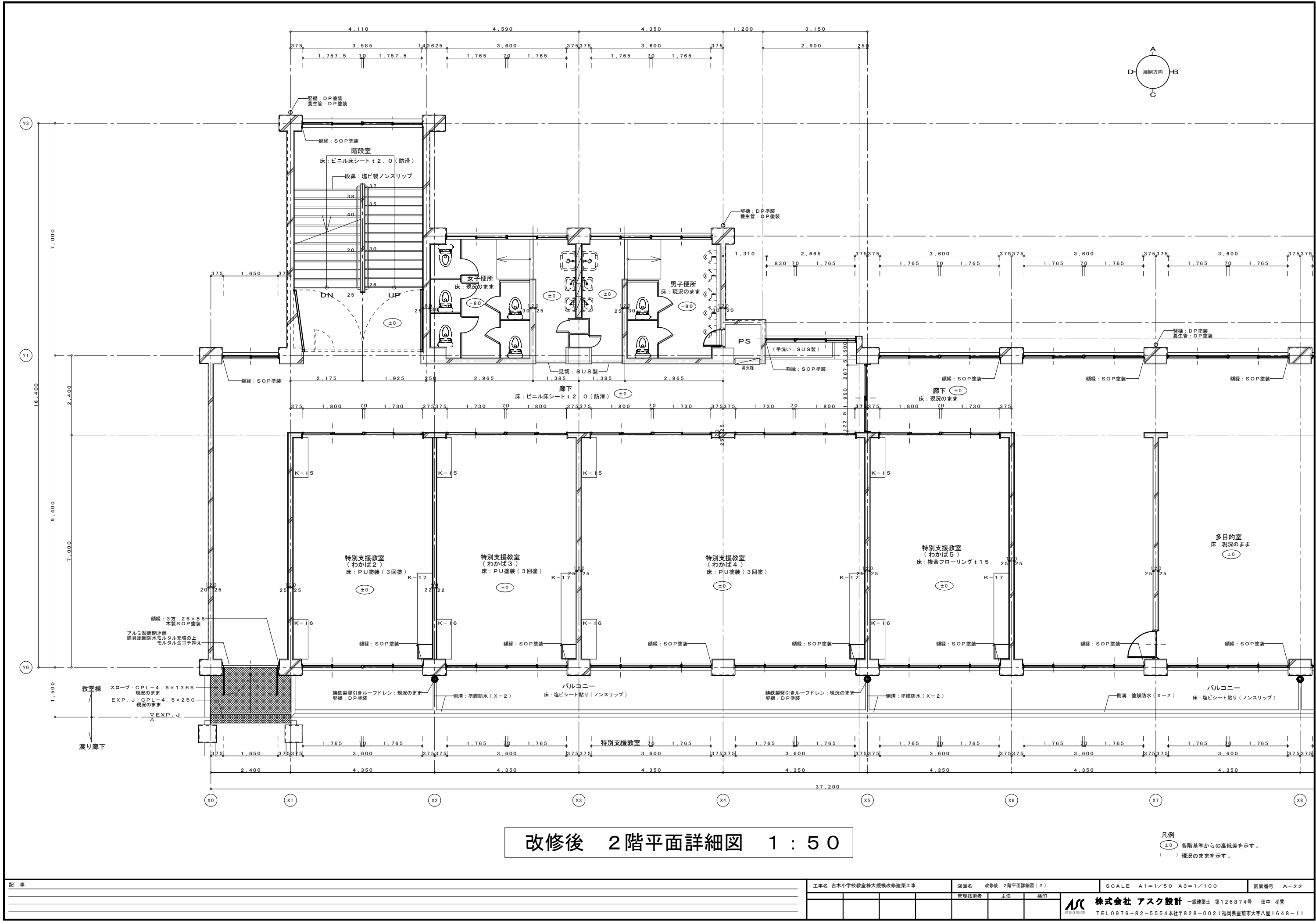
現況 3階平面詳細図 1 : 50

凡例
±0 各階基準からの高低差を示す。
() 現況のままを示す。

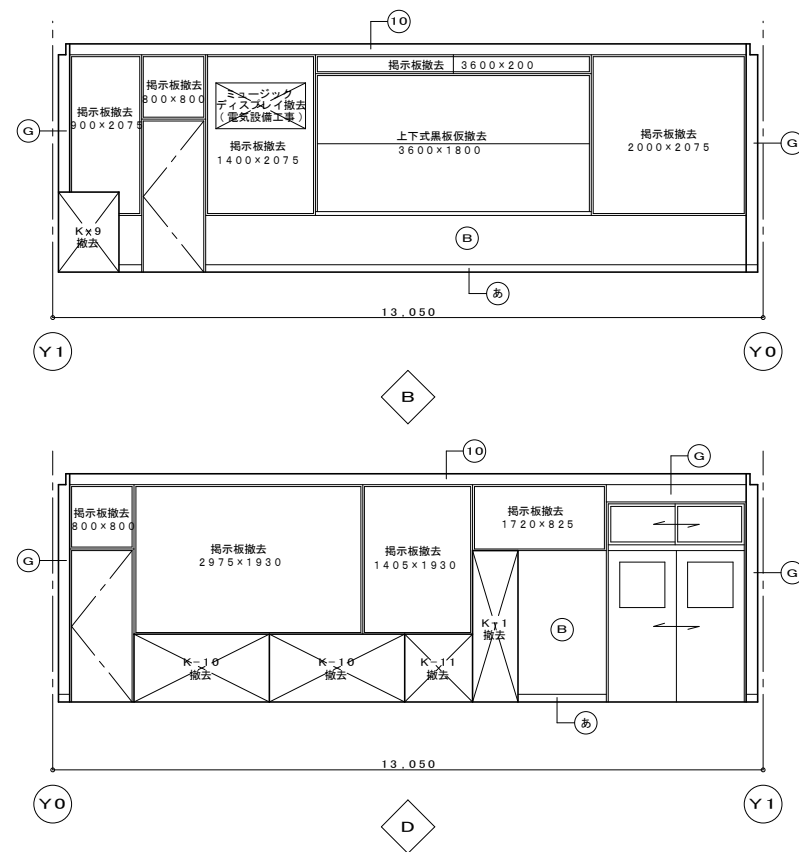
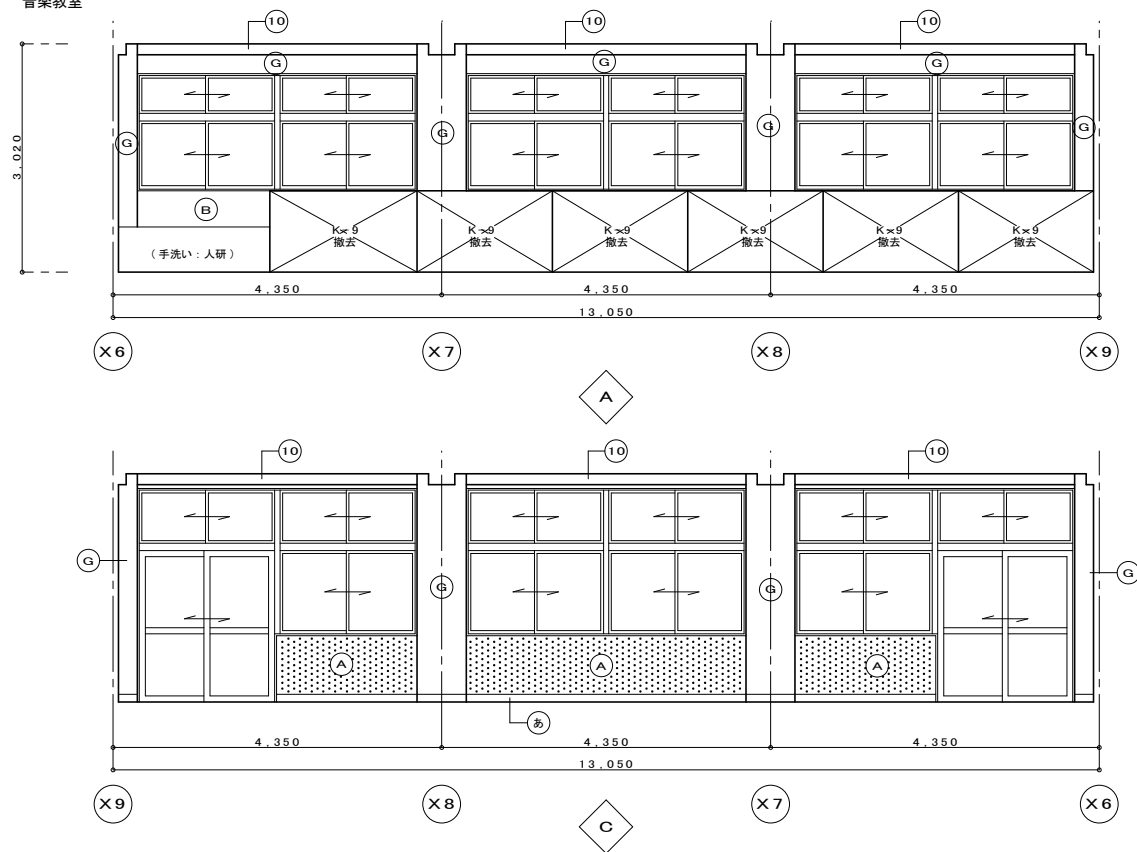


記 事

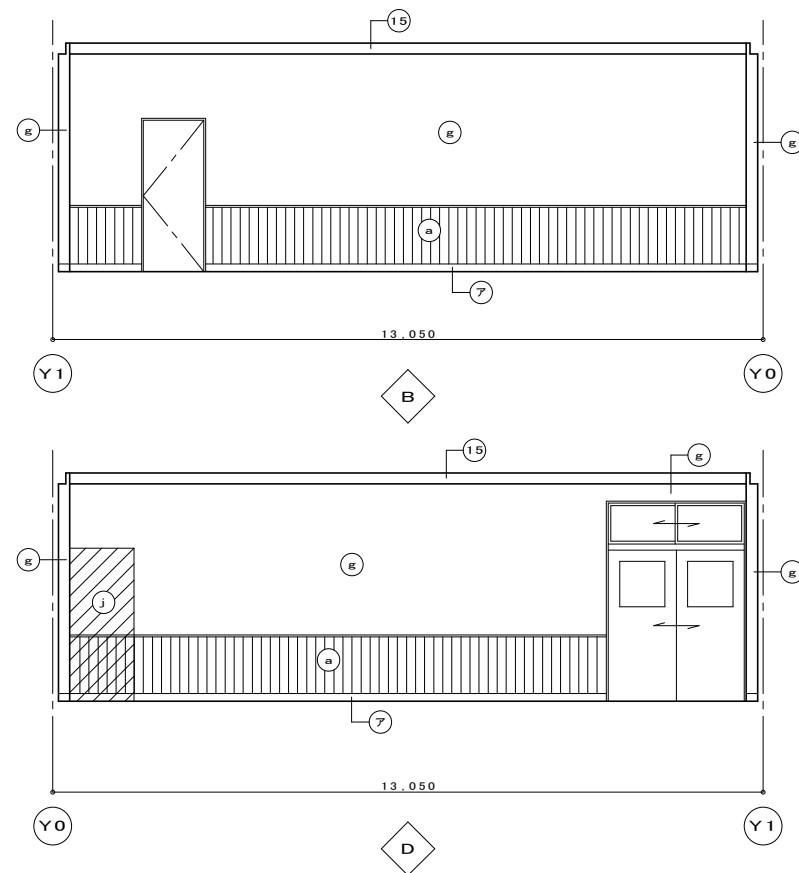
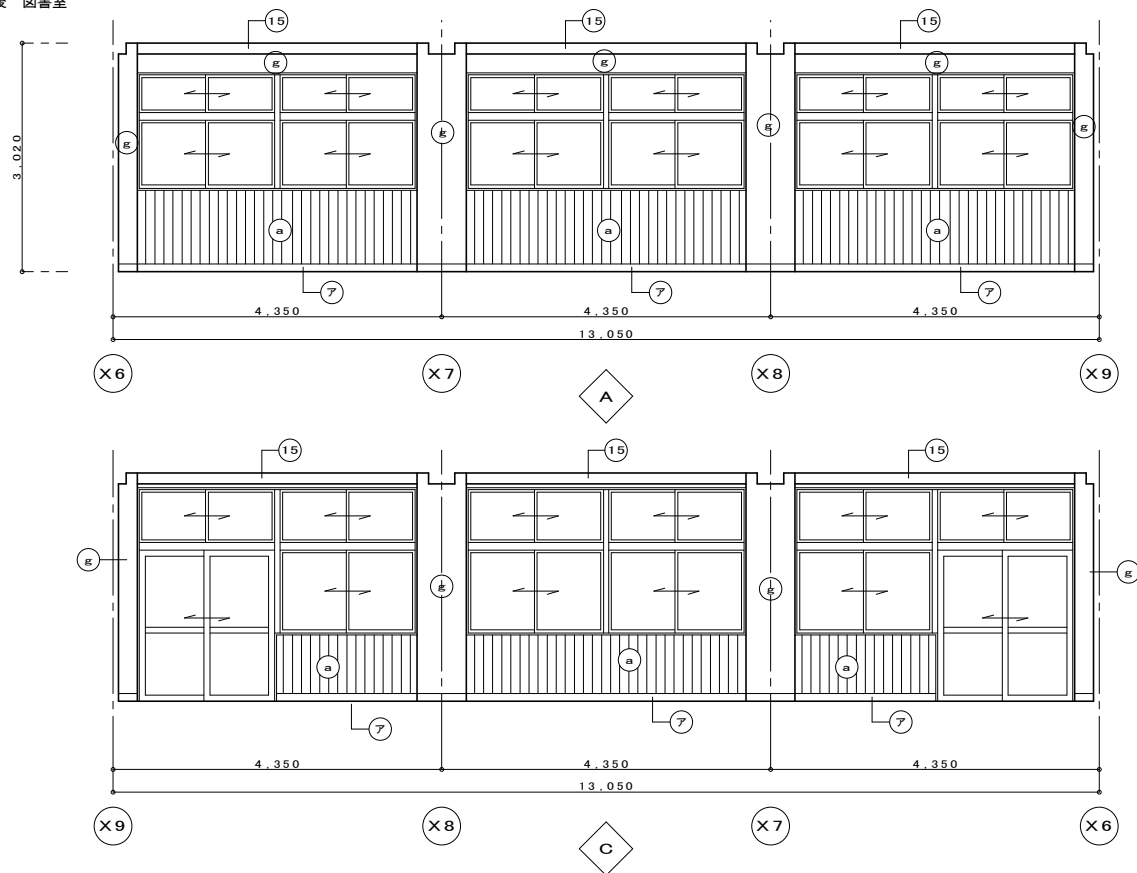
工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 改修後 2階平面詳細図(1)			SCALE A1=1/50 A3=1/100		図面番号 A-21	
				管理技術者	主任	機印		株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀 TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11		



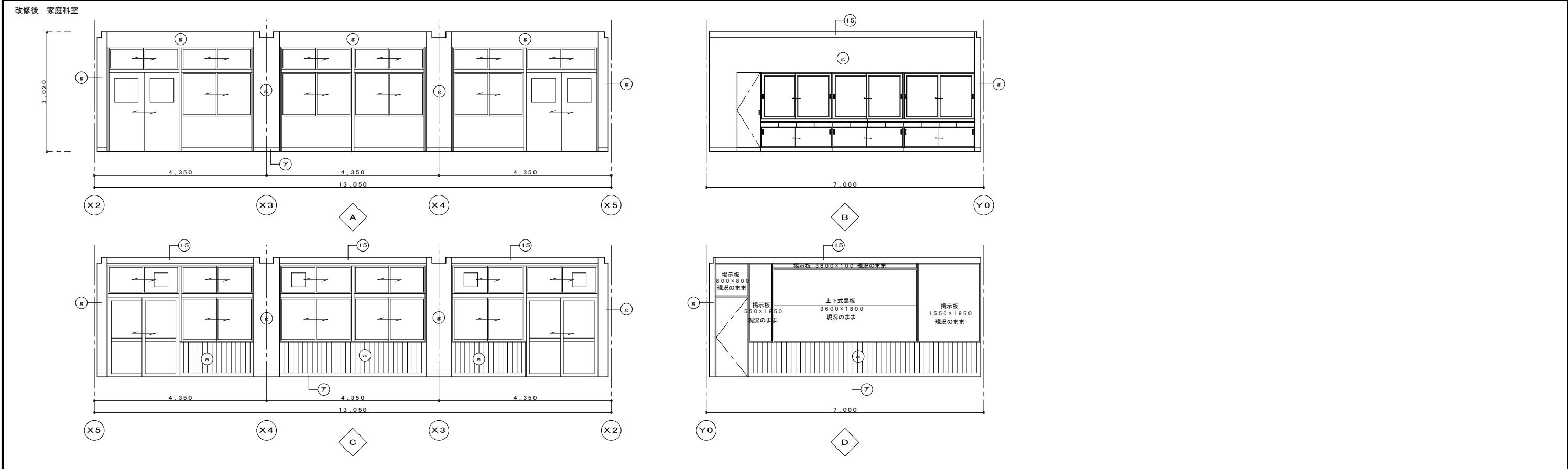
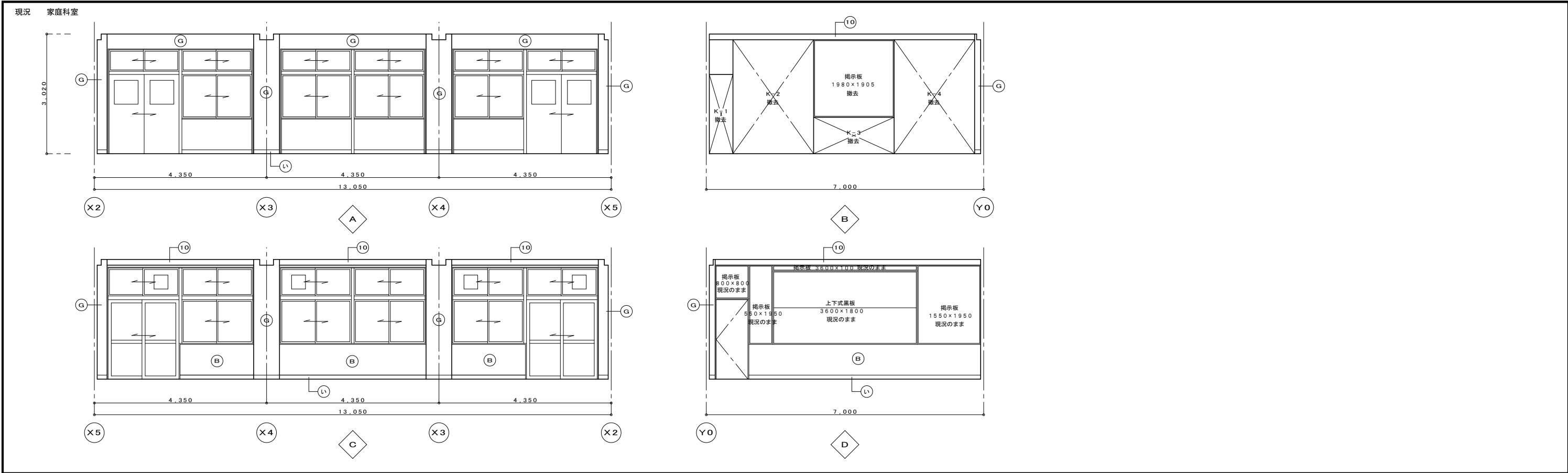
現況 音楽教室



改修後 図書室

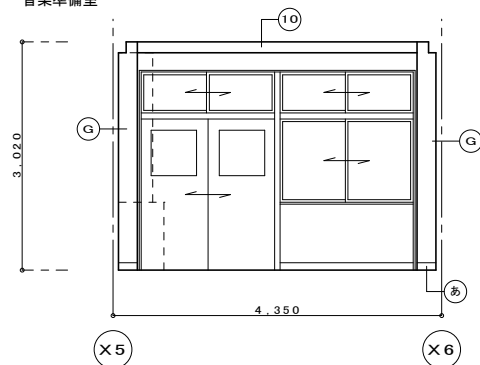


巾木			腰壁			壁・柱型			梁型		
	現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後
①	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	①	ABパネル t 25 OP撤去	①	杉小巾板 t 9 UC (興産材)、 胴縁 24×45 @455	①	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	⑩	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修
②	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	②	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	②	_____	②	コンクリート打ち放し	⑪	_____
③	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	③	_____	③	化粧乾式酸カルシウム板 t 5 (接着貼)	③	モルタル金ゴテ押え EP-G		
④	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	④	陶器質 100角タイル張り撤去			④	_____		
⑤	ビニル床シート t 2 立上 H=100							⑤	石膏ボード t 12.5+9.5 EP-G塗装 吸音用あなき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25 (24kg/m3)		
記 事											
						工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事		図面名 現況、改修後 展開図 (1)		SCALE A1=1/50 A3=1/100	
								図面番号 A-25			
						管理技術者		主任		検印	
								</			

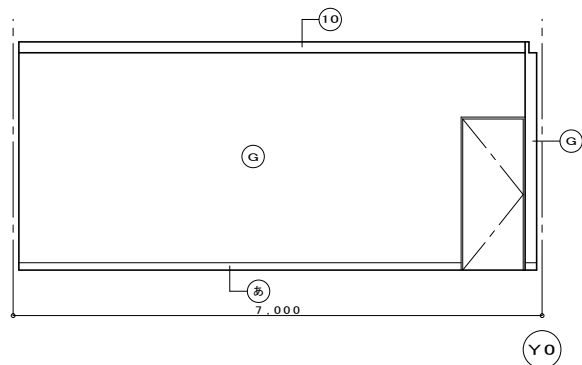


巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	ア	ABパネル t25 OP撤去	あ	杉小巾板 t9 UC (県産材)、 鋼線 2.4 x 4.5 @ 4.5	ガ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		ハ	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質 100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5 + 9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5 + 9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t2.5 (2.4kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(2)			
								SCALE A1=1/50 A3=1/100				図面番号 A-26			
								管理技術者 主任 機印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11							

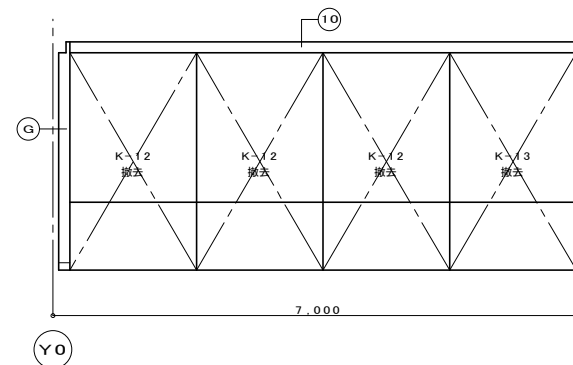
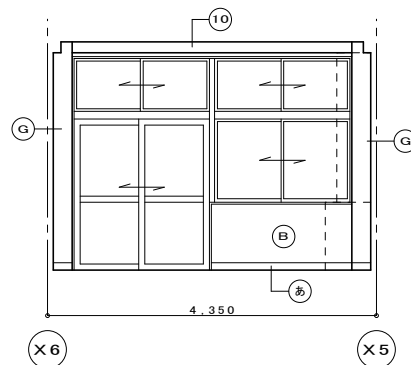
現況 音樂準備室



A

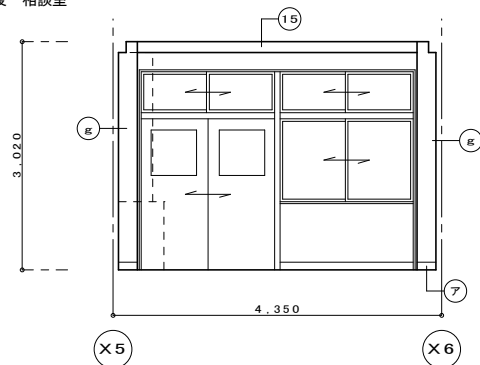


B

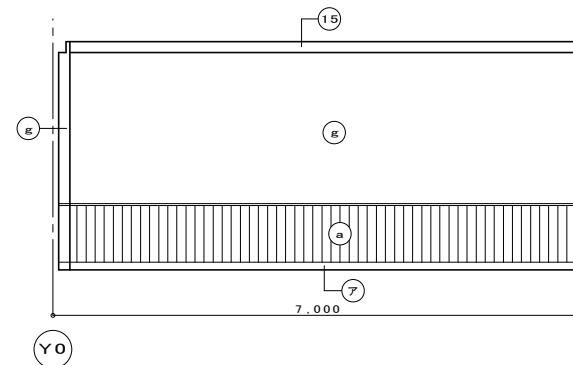
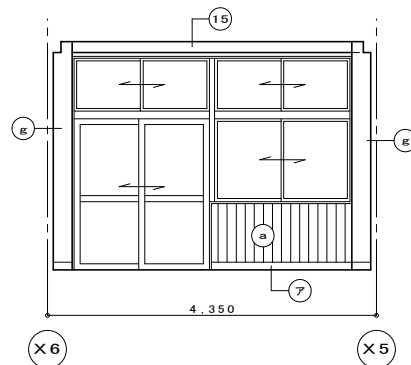
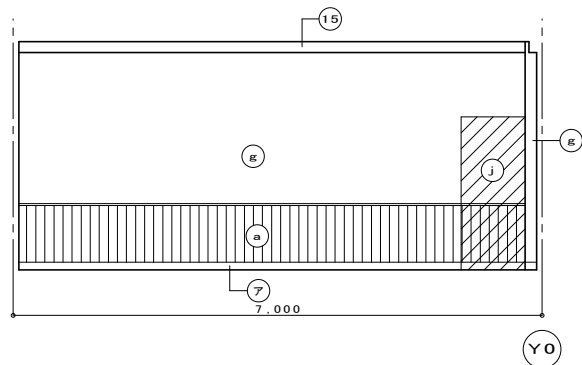


D

改修後 相談室

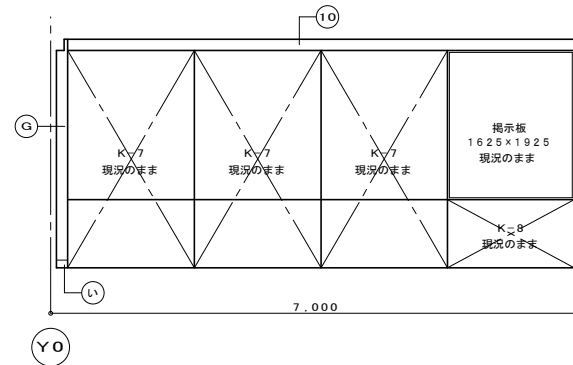
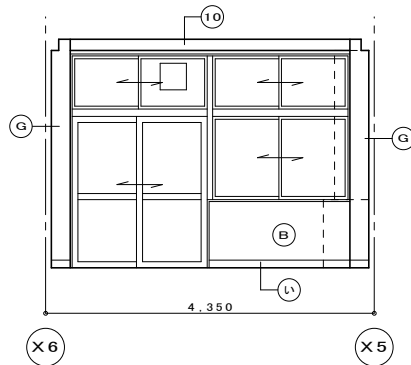
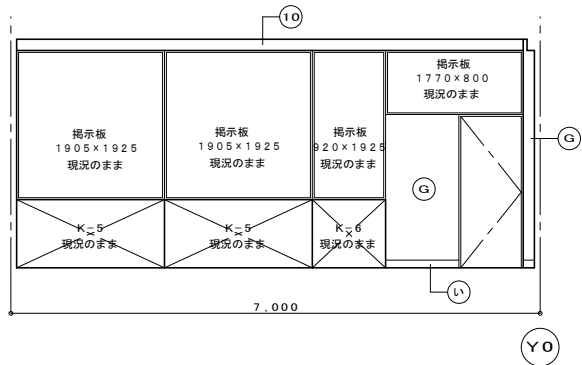
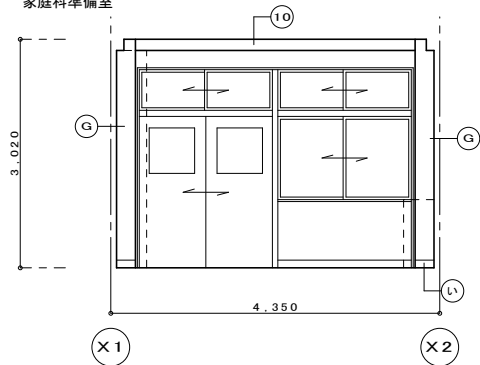


A



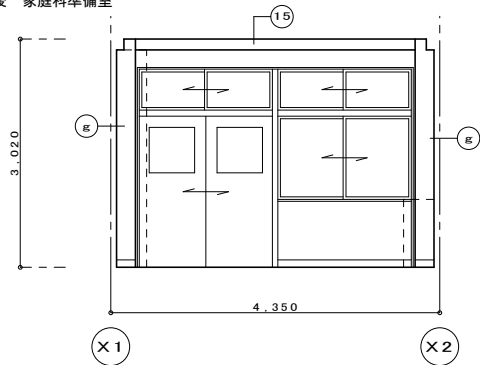
D

現況 家庭科準備室

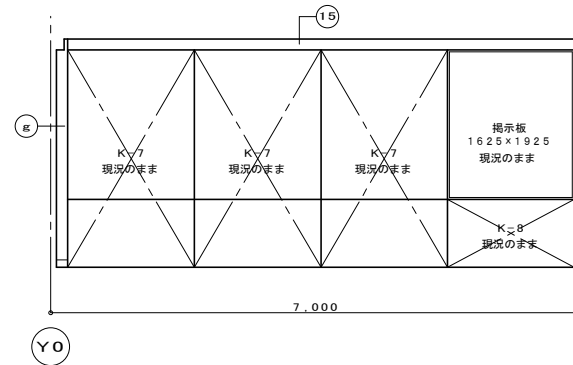
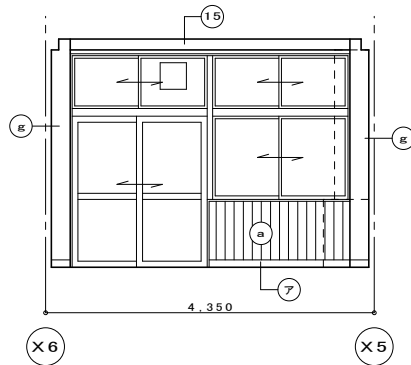
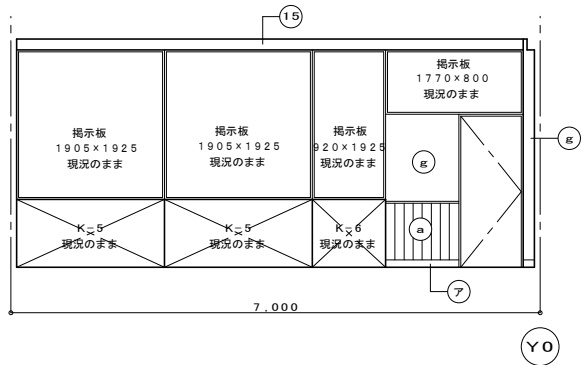


D

改修後 家庭科準備室



A



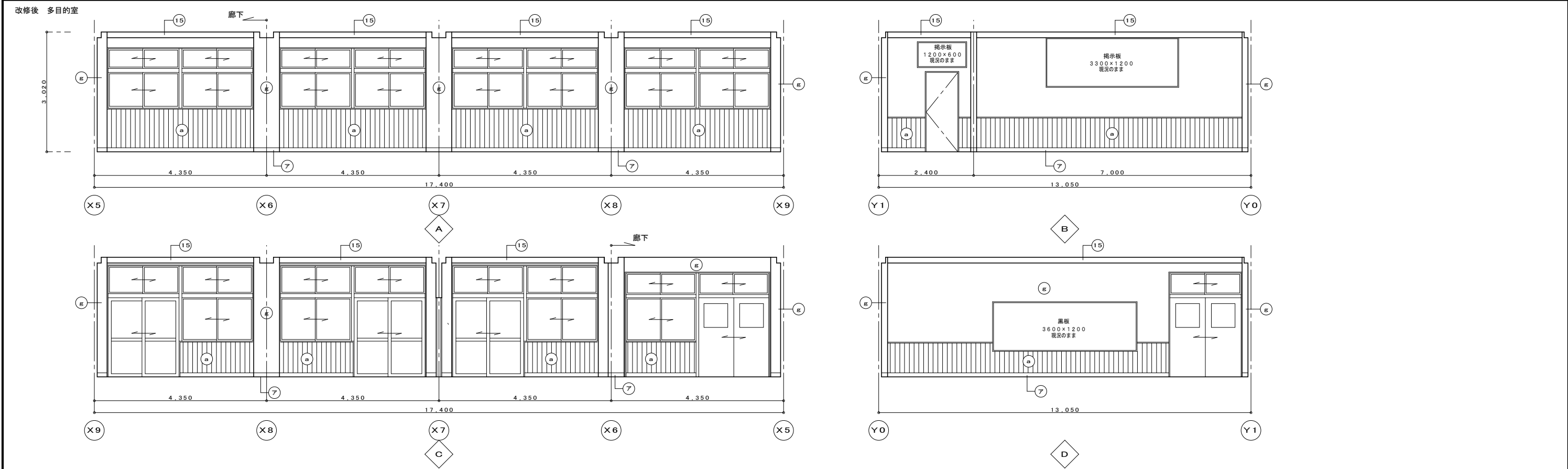
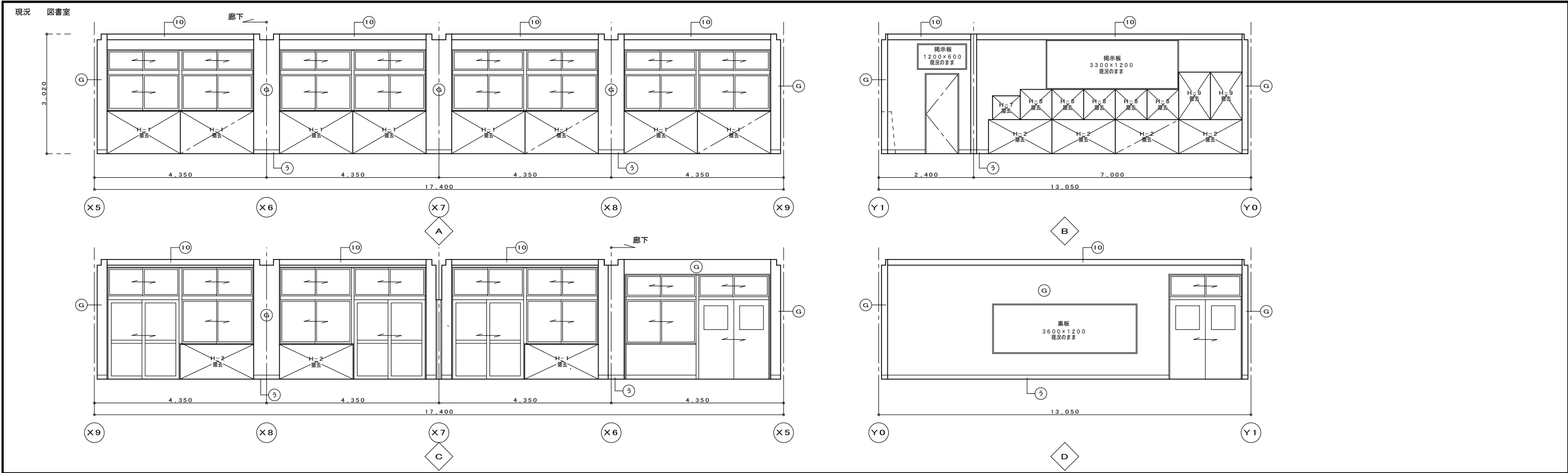
D

巾木			腰壁			壁・柱型			梁型		
	現況	改修後		現況	改修後		現況	改修後		現況	改修後
(あ)	木製 H=100 OP撤去	(ア) 木製 H=100 UC	(A)	ABパネルt25 OP撤去	(a) 杉小巾板 t9 UC(県産材)、 胴縁 24×45@455	(G)	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	(g) EP-G塗装	(10)	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	(15) EP-G塗装
(い)	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	(イ) ソフト巾木 H=100	(B)	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	(b) _____	(H)	コンクリート打ち放し	(h) 現状のまま	(現)	_____	(現) _____
(う)	ソフト巾木 H=100撤去	(ウ) EP-G塗装	(C)	_____	(c) 化粧ケイ酸カルシウム板 t5(接着貼)	(I)	モルタル金ゴテ押え EP-G	(i) _____			
(え)	モルタル金ゴテ目地切 H=100	(現) 現状のまま	(D)	陶器質100角タイル張り撤去		(J)	_____	(j) 石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装			
(お)	ビニル床シート t2立上 H=100					(K)	吸音用あなき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25(24kg/m3)	(k) _____			

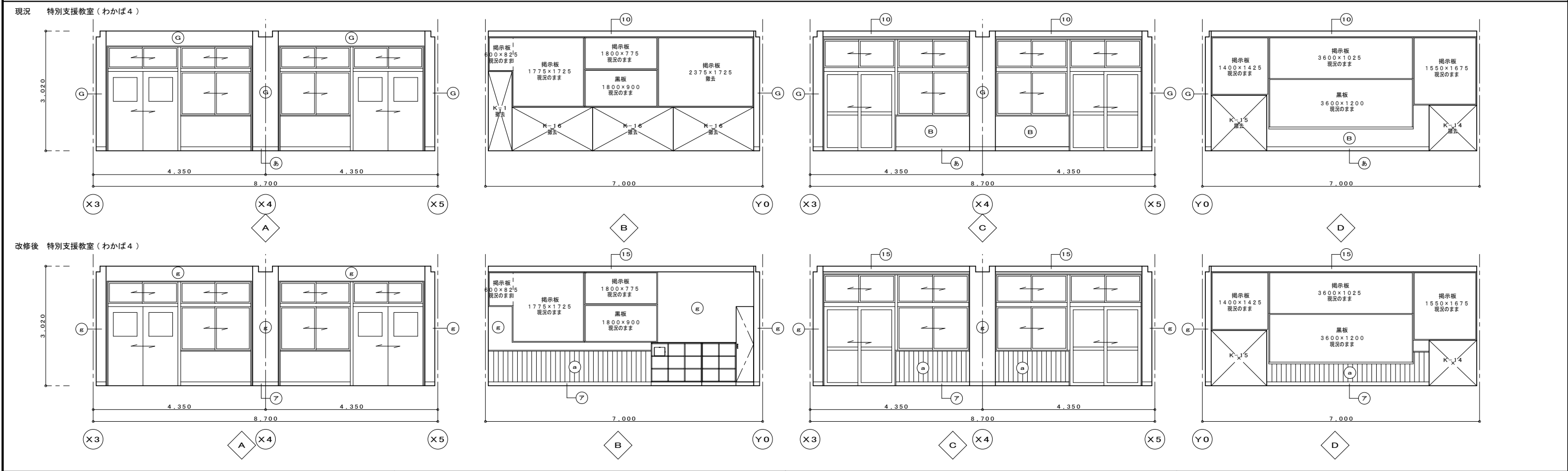
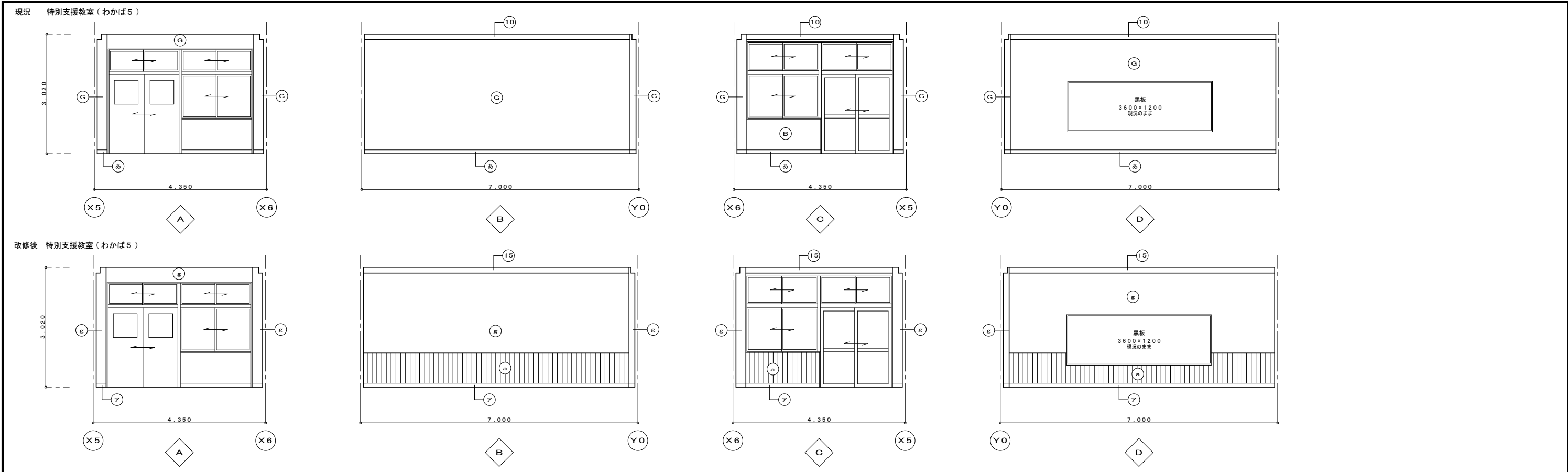
記 事

工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事						図面名 現況、改修後 展開図(3)			SCALE A1=1/50 A3=1/100		図面番号 A-27	
						管理技術者			主任		検印	

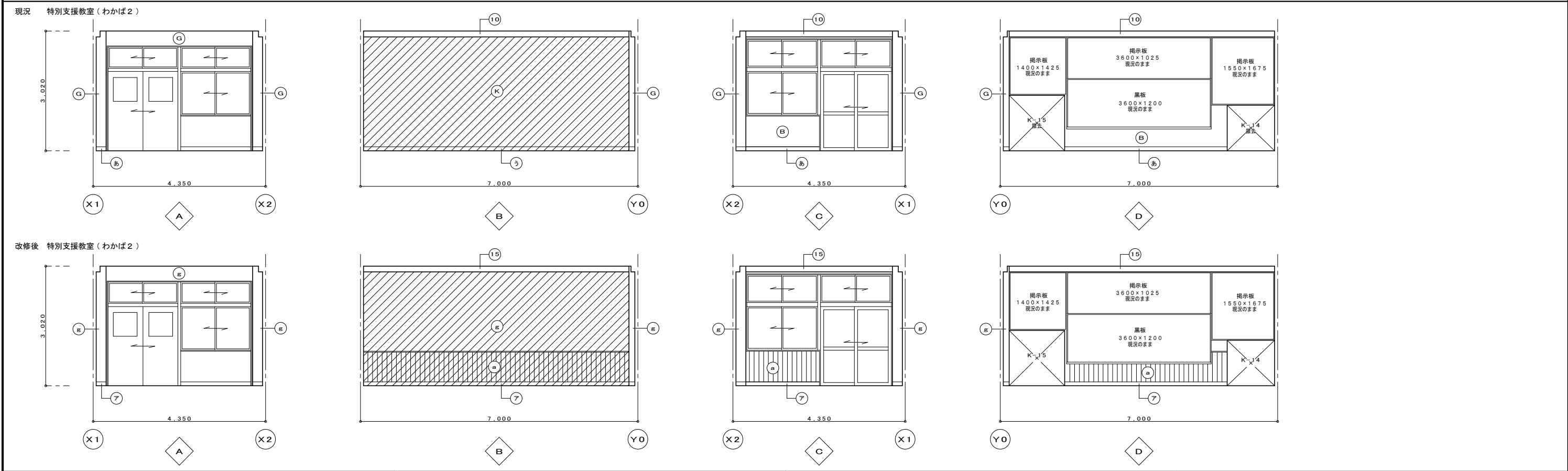
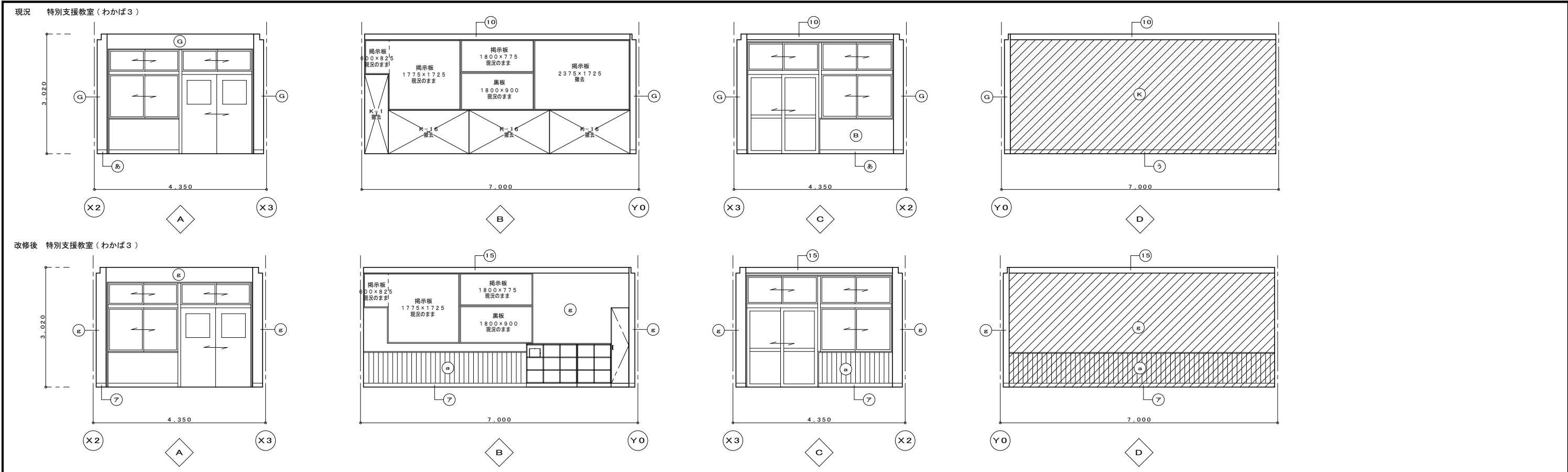
株式会社 アスク設計 一般建築士 第126874号 田中 孝秀
 TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-1



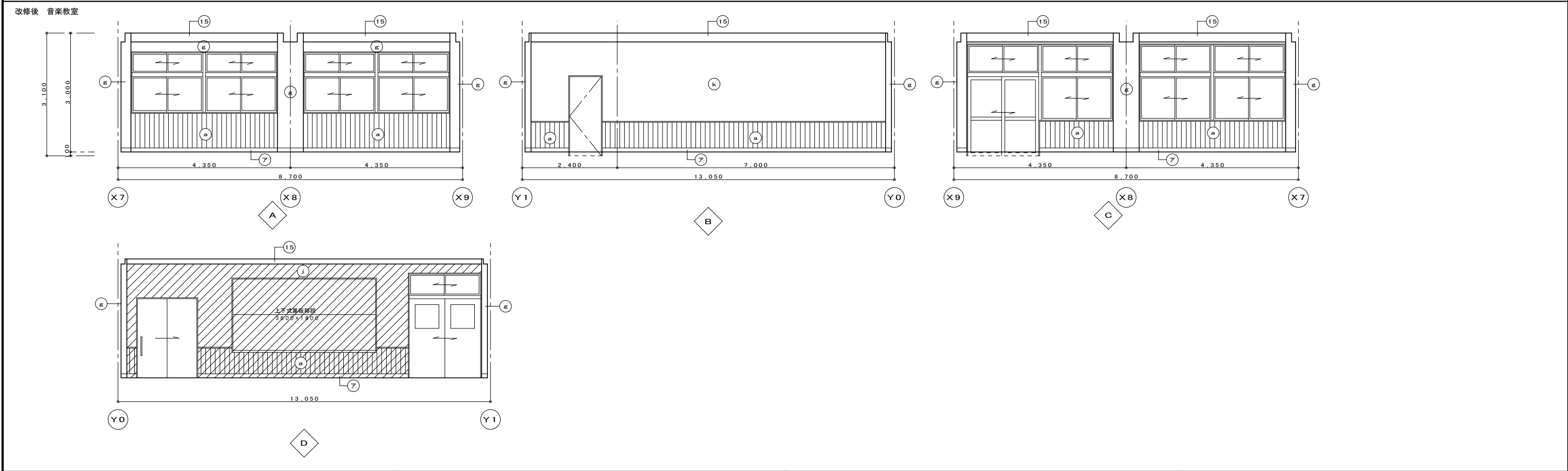
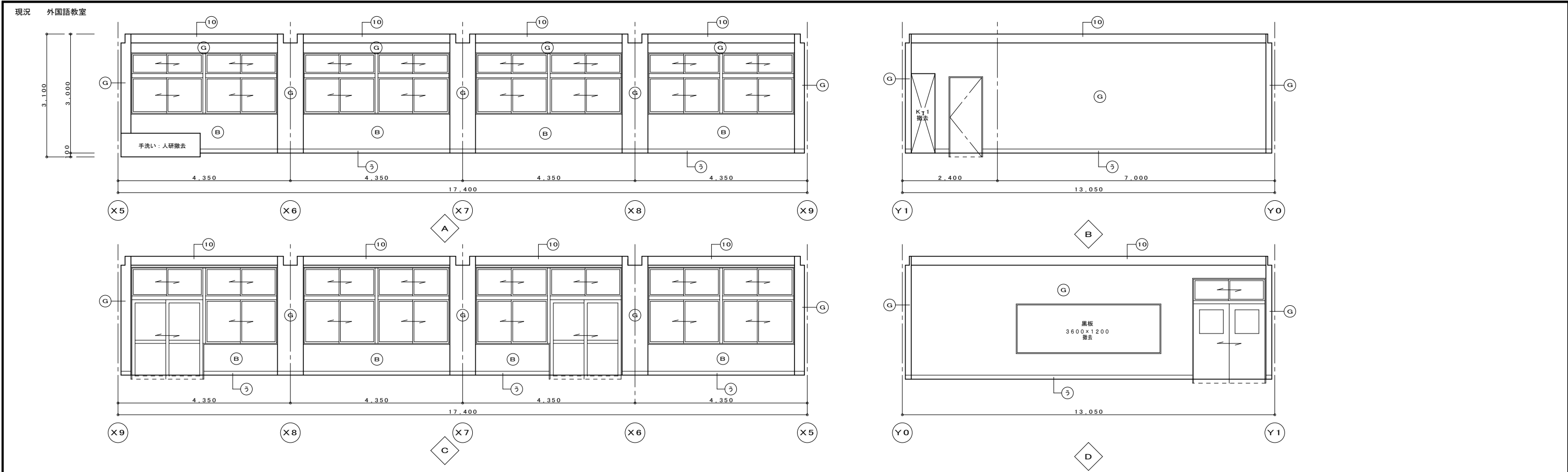
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
ア	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC (県産材)、鋼線 2.4×4.5@455	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
イ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
ウ	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
エ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
オ	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(4)			
								管理技術者				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
												図面番号 A-28			
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11			



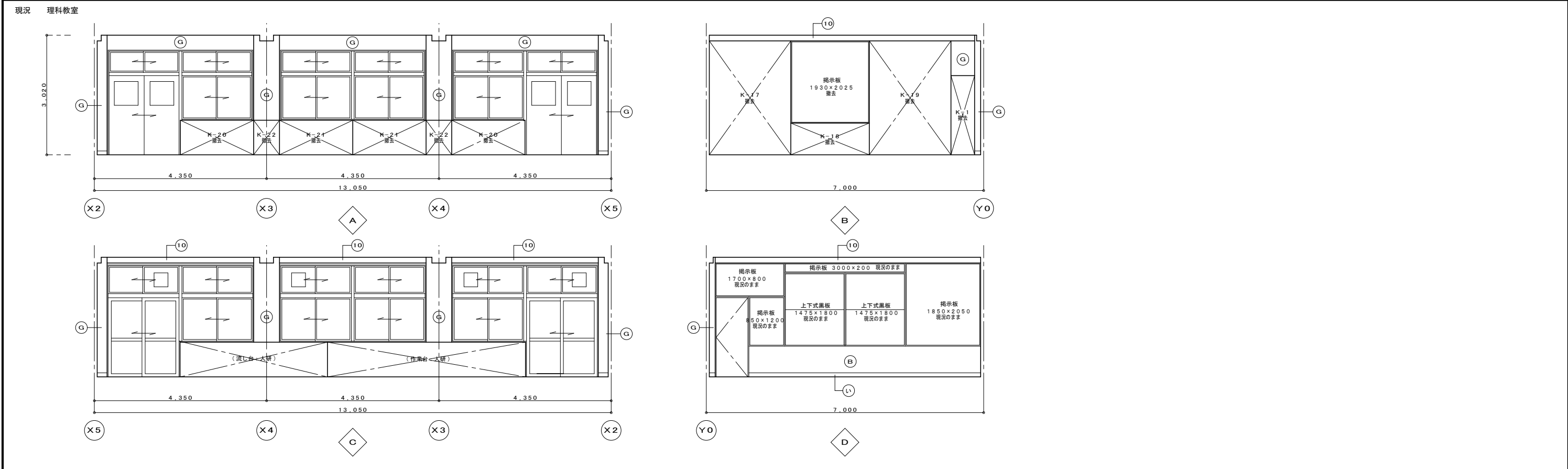
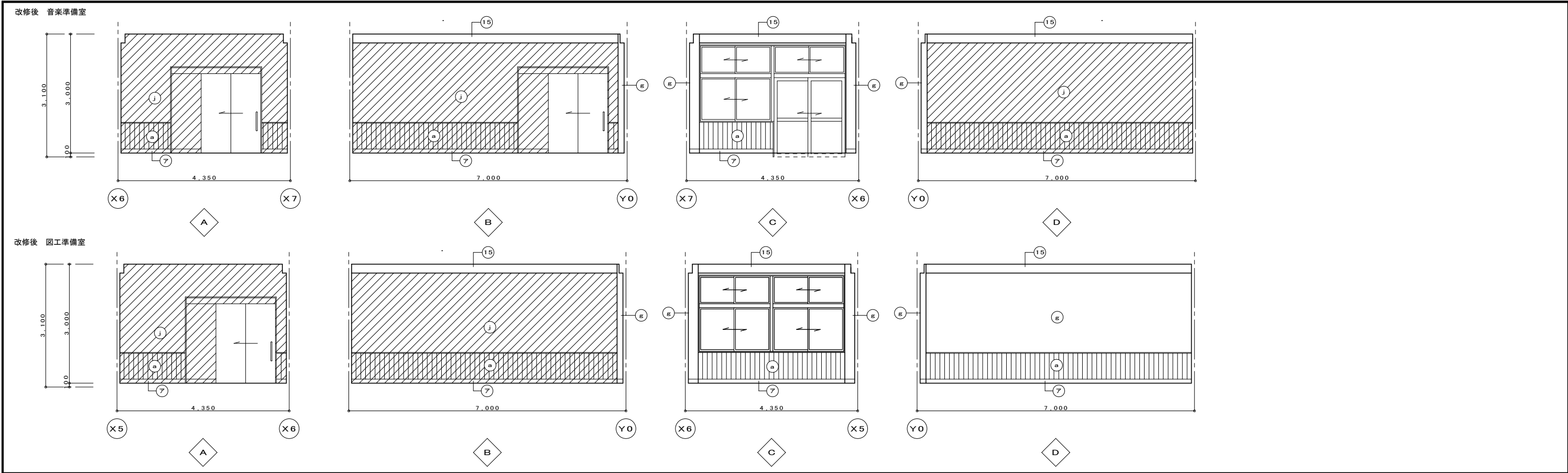
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ａ	ＡＢパネル t 25 OP撤去	ａ	杉小巾板 t 9 UC（県産材）、 鋼線 2.4×4.5@455	Ｇ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｇ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ｂ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｂ		Ｈ	コンクリート打ち放し	ｈ	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ｃ		ｃ	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5（接着貼）	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	い					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ｄ	陶器質 100角タイル張り撤去			Ｊ		じ	石膏ボード t 12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t 2立上 H=100							Ｋ	石膏ボード t 12.5+9.5 クロス貼	く	吸音用あななき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25（24kg/m3）				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図（５）			
								図面番 現況、改修後 展開図（５）				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
								管理技術者 主任 機印				図面番号 A-29			
								株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀				TEL 0979-82-5554 本社 〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11			



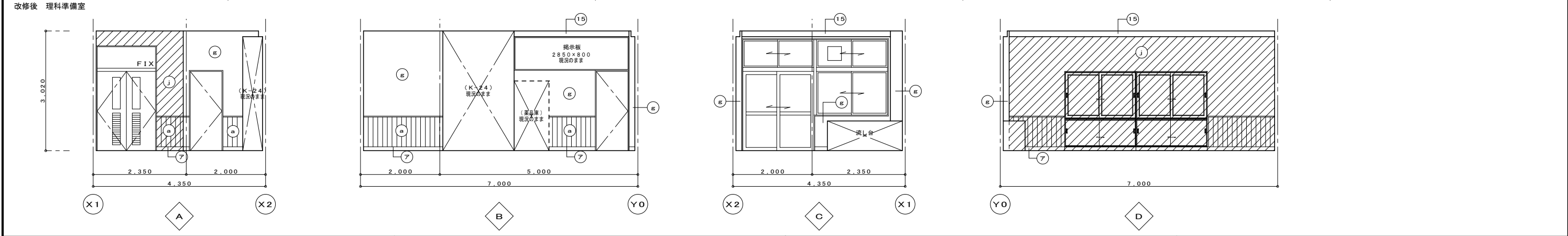
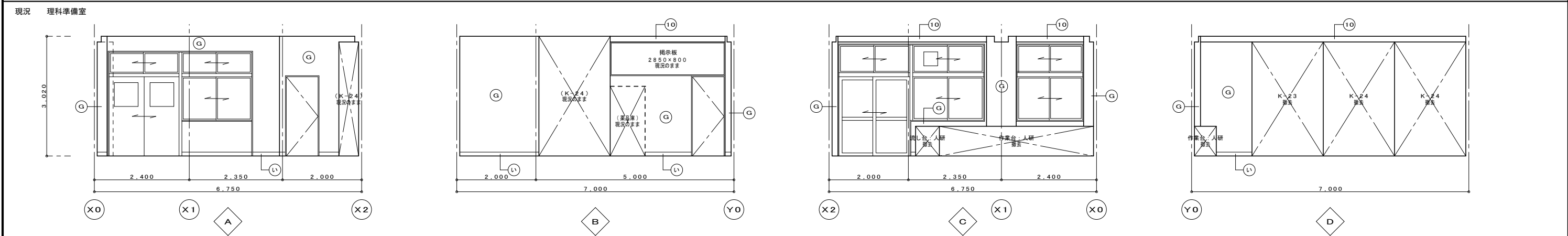
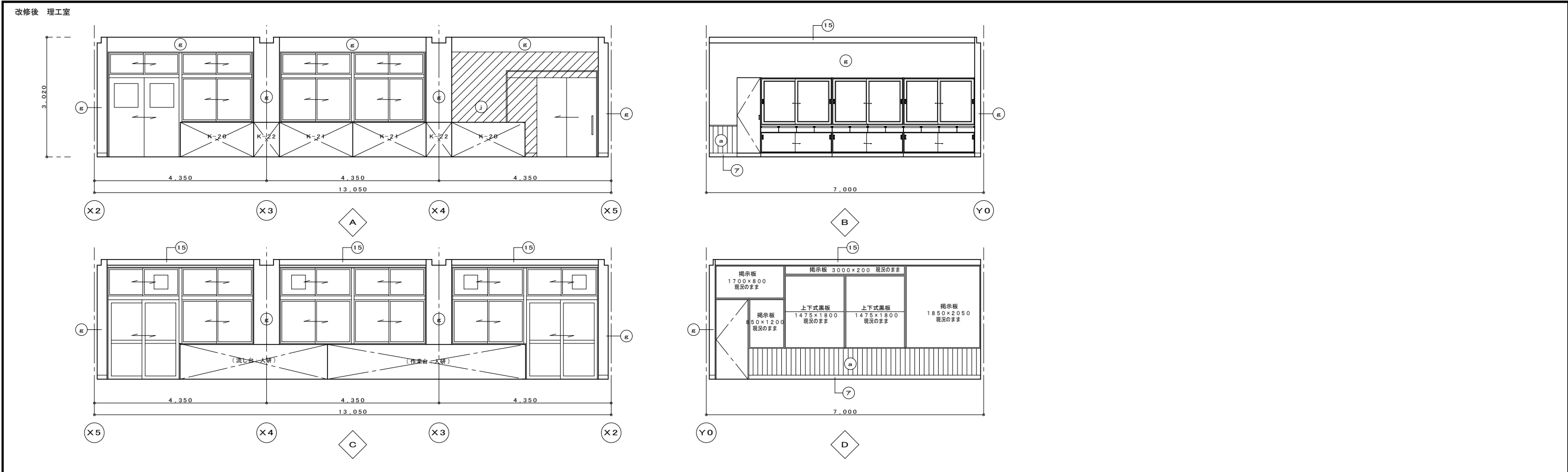
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ａ	ＡＢパネル t 25 OP撤去	ａ	杉小巾板 t 9 UC（県産材）、鋼線 2.4×4.5@455	Ｇ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｇ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ｂ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｂ		Ｈ	コンクリート打ち放し	ｈ	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ｃ		ｃ	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5（接着貼）	1	モルタル金ゴテ押え EP-G	1					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ｄ	陶器質 100角タイル張り撤去			Ｊ		ｊ	石膏ボード t 12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t 2立上 H=100							Ｋ	石膏ボード t 12.5+9.5 クロス貼	ｋ	吸音用あなき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25（24kg/m3）				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図（６）			
								図面番号 A-30				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
								管理技術者 主任 機印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11							



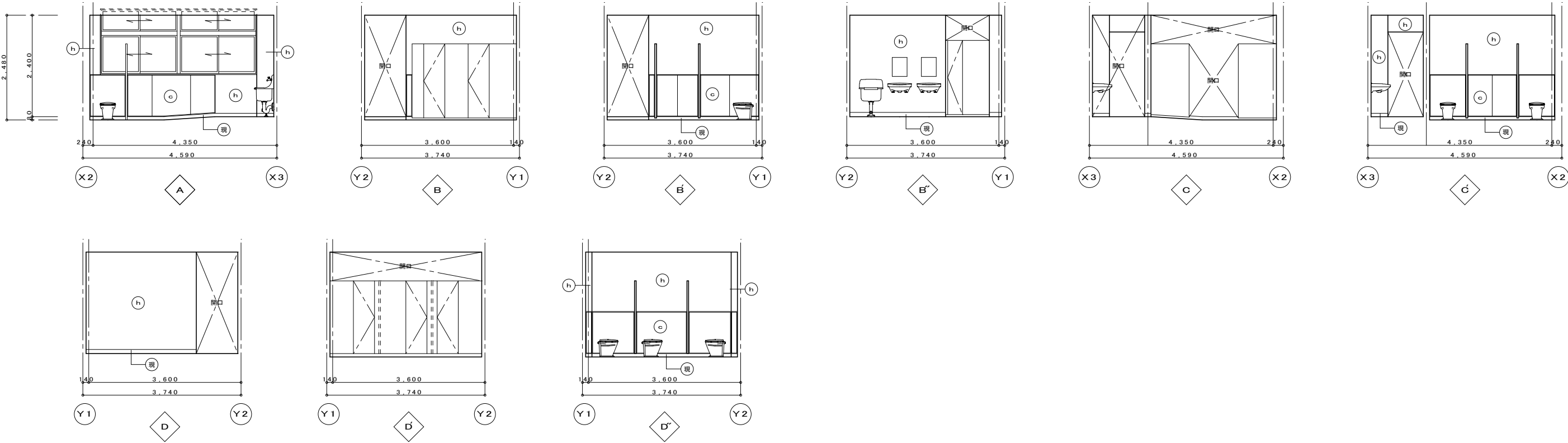
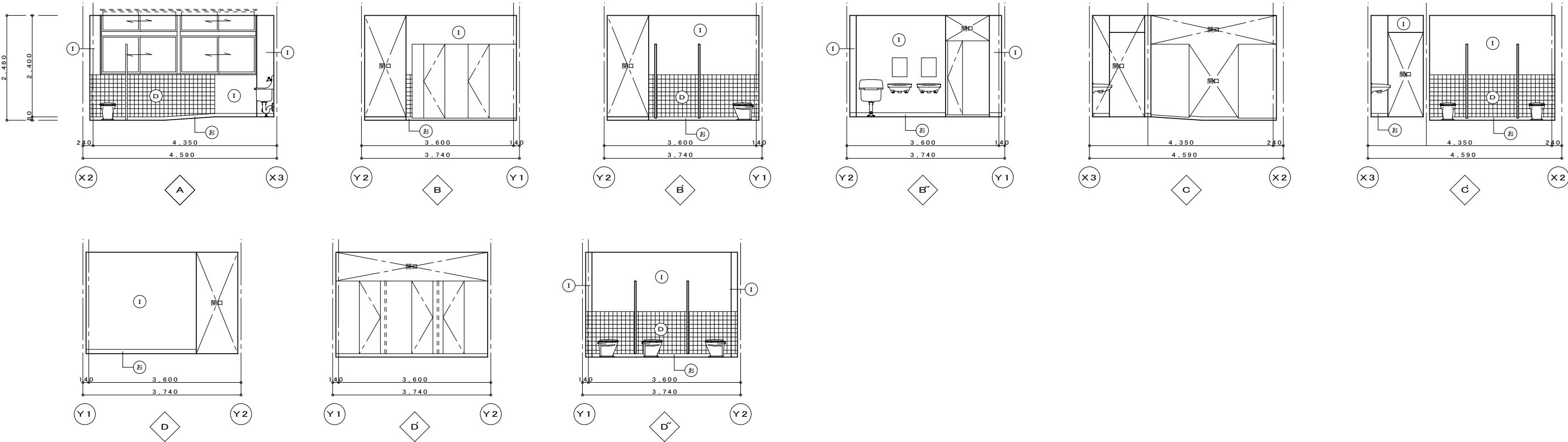
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
Ⓐ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ⓐ	ABパネル t25 OP撤去	Ⓐ	杉小巾板 t9 UC(県産材)、 鋼線 2.4×4.5@455	Ⓐ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓐ	EP-G塗装	Ⓐ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓐ	EP-G塗装
Ⓐ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ⓑ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓑ		Ⓑ	コンクリート打ち放し	Ⓑ	現況のまま	Ⓑ		Ⓑ	
Ⓑ	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ⓒ		Ⓒ	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	Ⓒ	モルタル金ゴテ押え EP-G	Ⓒ		Ⓒ		Ⓒ	
Ⓒ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ⓓ	陶器質100角タイル張り撤去	Ⓓ		Ⓓ		Ⓓ	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装	Ⓓ		Ⓓ	
Ⓓ	ビニルシート t2立上 H=100							Ⓔ		Ⓔ	吸音用あななき石膏ボード t9.5 EP-G塗装	Ⓔ		Ⓔ	
								Ⓕ	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	Ⓕ	グラスウール t25 (24kg/m3)	Ⓕ		Ⓕ	
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(7)			
								管理技術者				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
												図面番号 A-31			
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11			



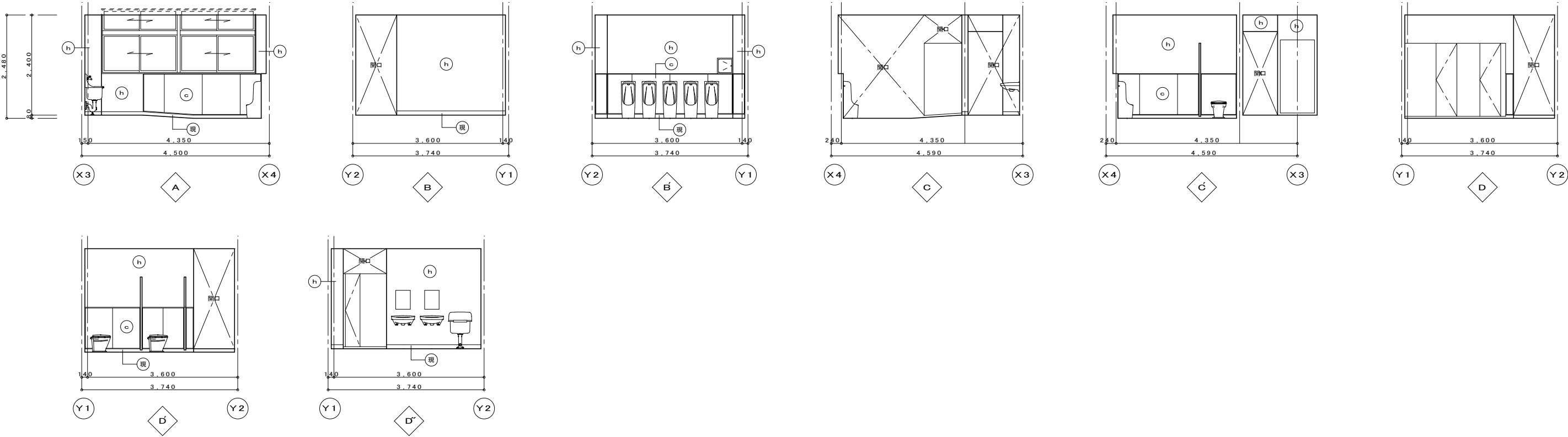
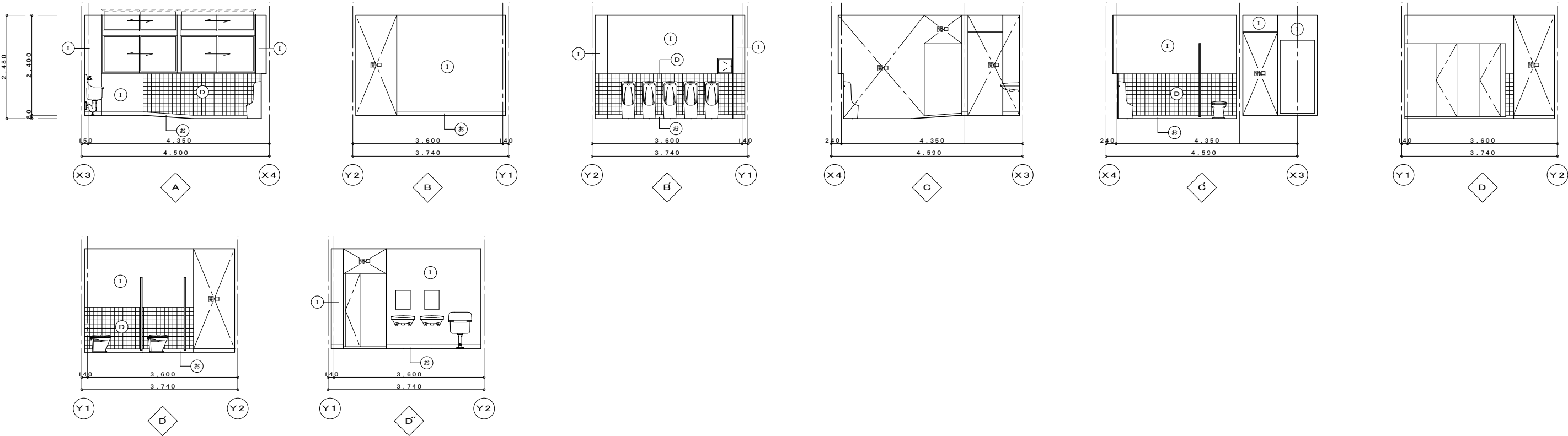
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
Ⓐ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ⓐ	ABパネル t25 OP撤去	Ⓐ	杉小巾板 t9 UC (県産材)、鋼線 2.4×4.5@455	Ⓐ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓐ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
イ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ⓑ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓑ		Ⓑ	コンクリート打ち放し	Ⓑ	現況のまま	現		現	
Ⓛ	ソフト巾木 H=100撤去	Ⓛ	EP-G塗装	Ⓒ		Ⓒ	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	Ⓒ	モルタル金ゴテ押え EP-G	Ⓒ					
Ⓨ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ⓓ	陶器質 100角タイル張り撤去			Ⓓ		Ⓓ	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
Ⓨ	ビニル床シート t2立上 H=100							Ⓔ		Ⓔ	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装				
								Ⓕ	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	Ⓕ	グラスウール t25 (2.4kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(8)			
								SCALE A1=1/50 A3=1/100				図面番号 A-32			
								管理技術者 主任 機印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11							




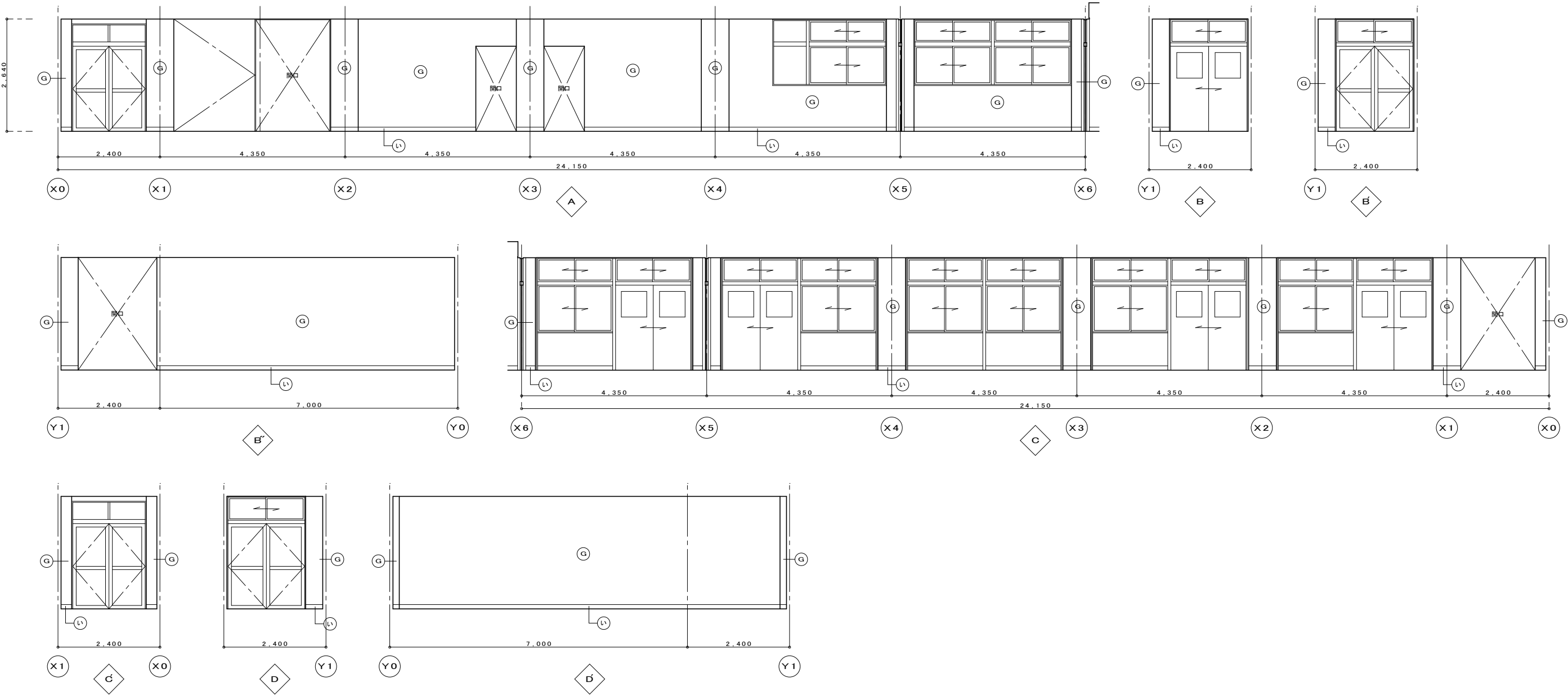
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
ア	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC(県産材)、鋼線 2.4×4.5@455	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
イ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
ウ	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
エ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
オ	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(9)			
								管理技術者				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
								図面番号 A-33				図面番号 A-33			
								株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀				TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11			



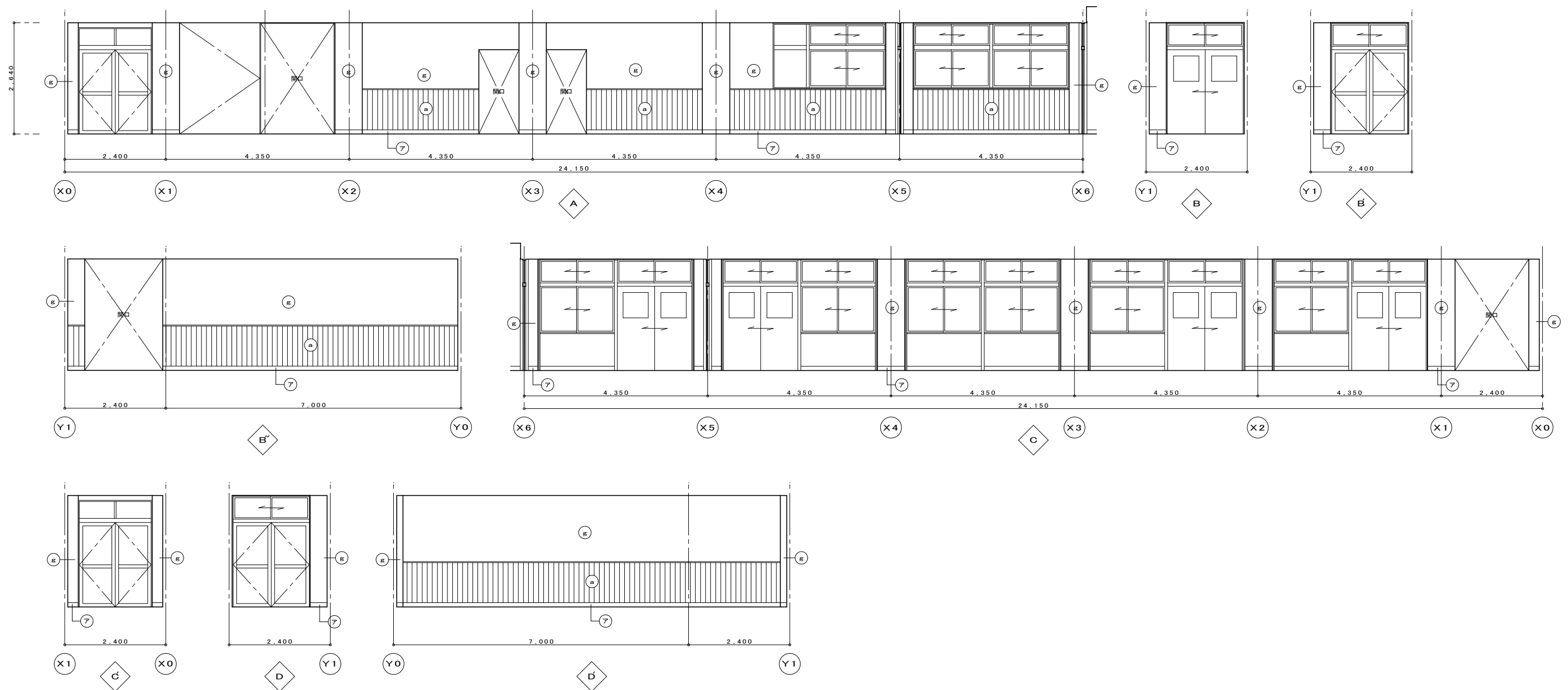
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	ア	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC (県産材)、網織 2.4×4.5@455	ガ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	イ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		ハ	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	ウ		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	1	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	現				2		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							3	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (2.4kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (10)			図面番号 A-34
												SCALE A1=1/50 A3=1/100			
												管理技術者 主任 横印			
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11			



巾木				腰壁				壁・柱型				梁型									
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後							
㊦	木製 H=100 OP撤去	㊦	木製 H=100 UC	㊦	ABパネル t 25 OP撤去	㊦	杉小巾板 t 9 UC (県産材)、 網縁 2.4 x 4.5 @ 4.55	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装						
㊧	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	㊧	ソフト巾木 H=100	㊧	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊧		㊧	コンクリート打ち放し	㊧	現況のまま	㊧		㊧							
㊨	ソフト巾木 H=100撤去	㊨	EP-G塗装	㊨		㊨	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5 (接着貼)	㊨	モルタル金ゴテ押え EP-G	㊨		㊨		㊨							
㊩	モルタル金ゴテ目地切 H=100	㊩	現況のまま	㊩	陶器質 100 角タイル張り撤去	㊩		㊩		㊩	石膏ボード t 12.5 + 9.5 EP-G塗装	㊩		㊩							
㊪	ビニル床シート t 2 立上 H=100	㊪		㊪		㊪		㊪	石膏ボード t 12.5 + 9.5 クロス貼	㊪	吸音用あななき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25 (24kg/m3)	㊪		㊪							
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (11)		SCALE A1=1/50 A3=1/100		図面番号 A-35					
												管理技術者 主任 横印									
																				 株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀 TEL0979-82-5554 本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11	




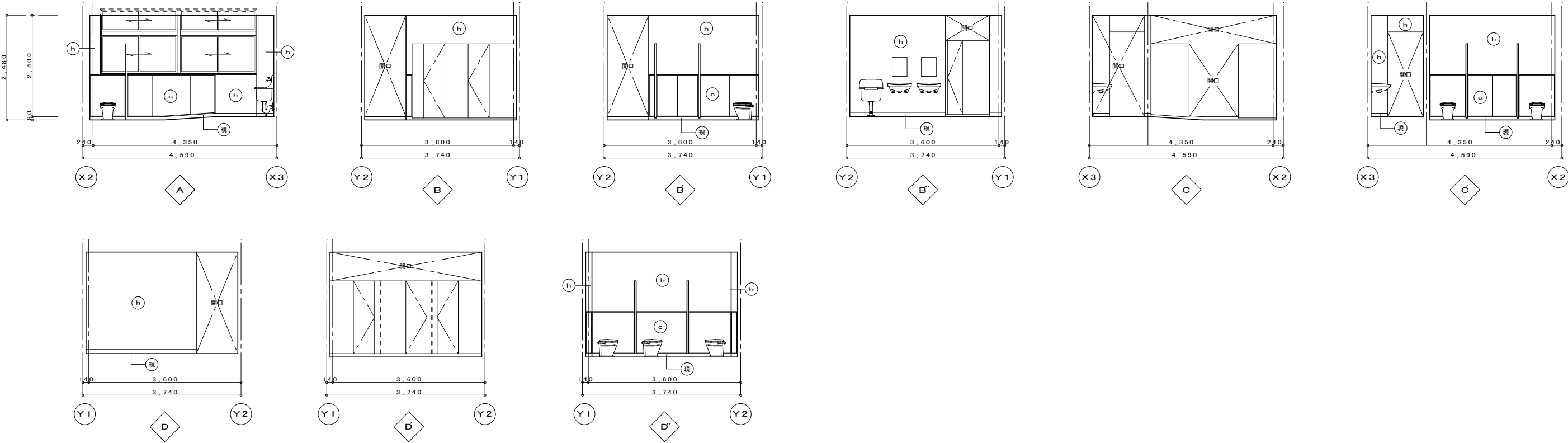
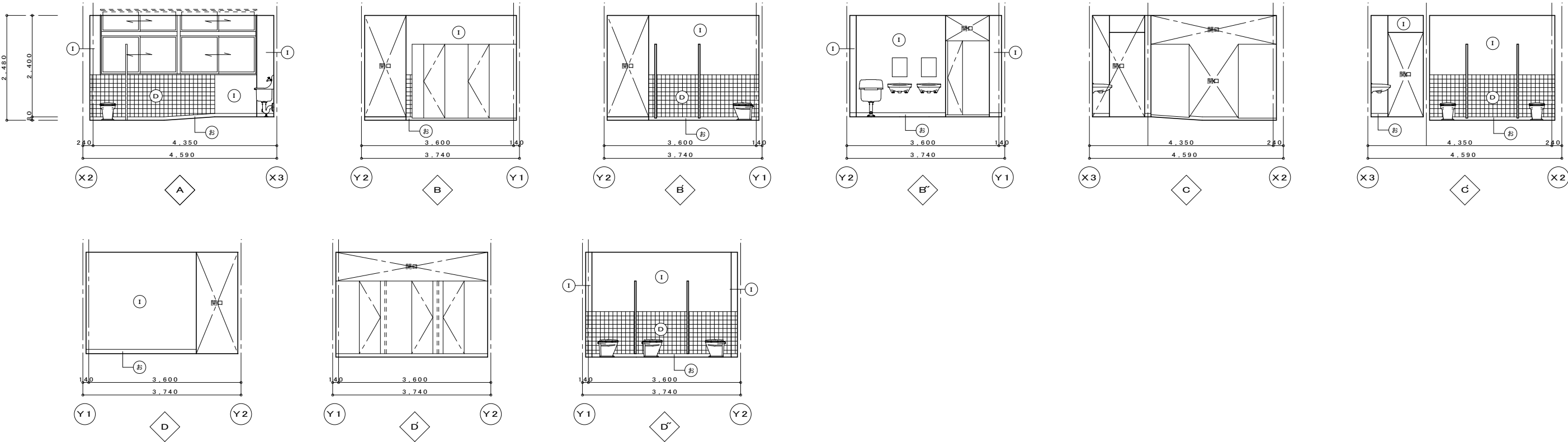
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC (県産材)、網縁 24×45@455	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (12)			図面番号 A-36
												管理技術者 主任 横印			
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11			



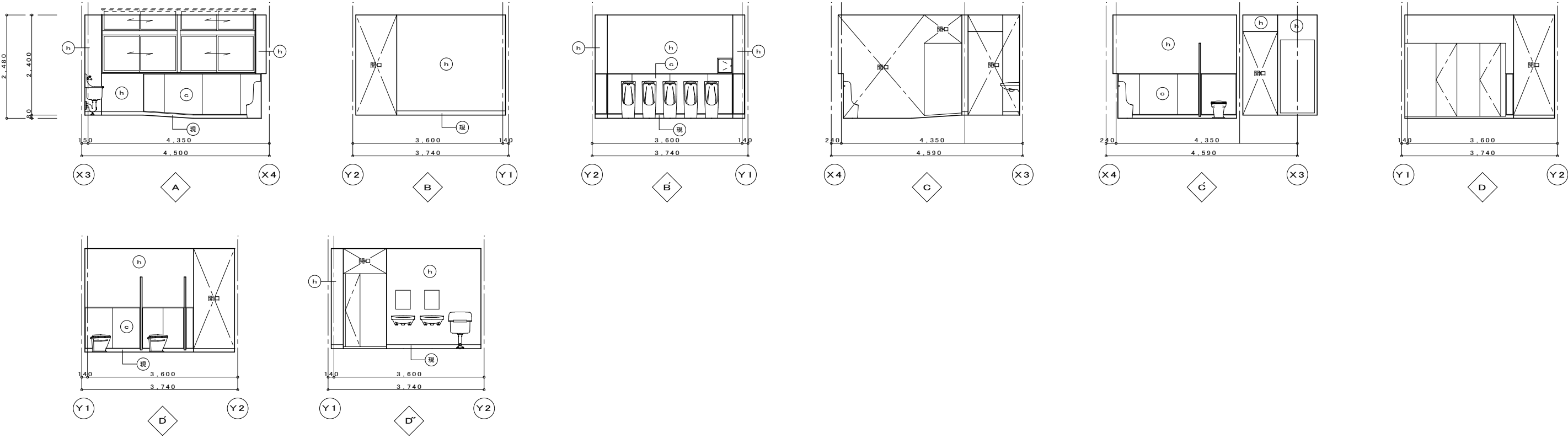
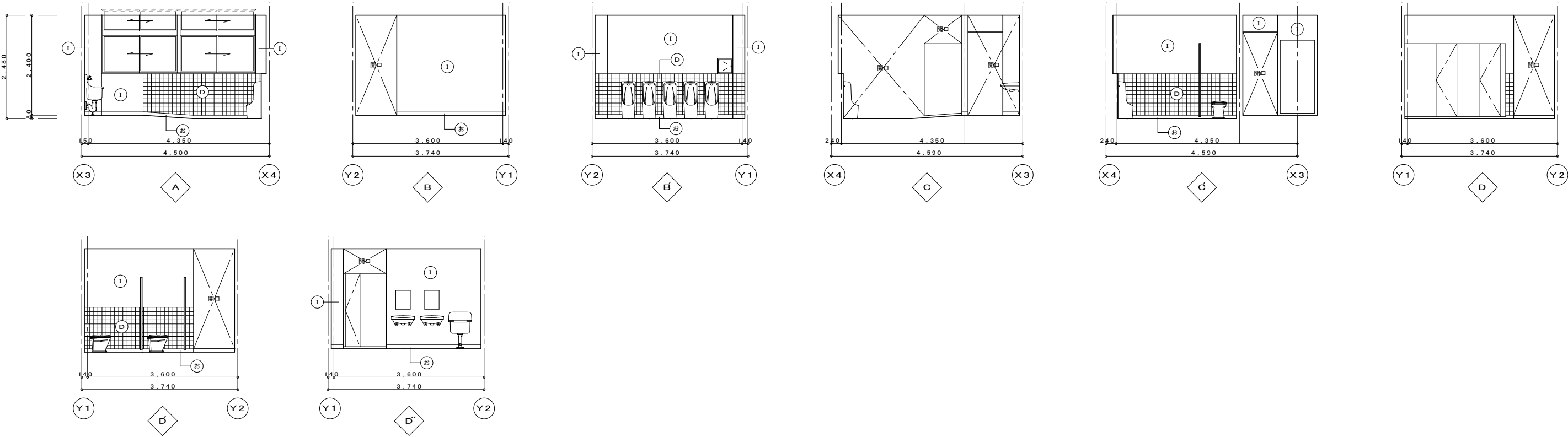
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
㊦	木製 H=100 OP撤去	㊦	木製 H=100 UC	㊦	ABパネル t 25 OP撤去	㊦	杉小巾板 t 9 UC (県産材)、 鋼縁 24×45 @455	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装
㊧	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	㊧	ソフト巾木 H=100	㊧	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊧	_____	㊧	コンクリート打ち放し	㊧	現況のまま	㊧	_____	㊧	_____
㊨	ソフト巾木 H=100撤去	㊨	EP-G塗装	㊨	_____	㊨	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5 (接着貼)	㊨	モルタル金ゴテ押え EP-G	㊨	_____				
㊩	モルタル金ゴテ目地切 H=100	㊩	現況のまま	㊩	陶器質 100角タイル張り撤去			㊩	_____	㊩	石膏ボード t 12.5 + 9.5 EP-G塗装				
㊪	ビニル床シート t 2立上 H=100							㊪	石膏ボード t 12.5 + 9.5 クロス貼	㊪	吸音用あなあき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25 (24kg/m3)				

記 事	工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (13)				SCALE A1=1/50 A3=1/100				図面番号 A-37	
					管理技術者				主任				検印	

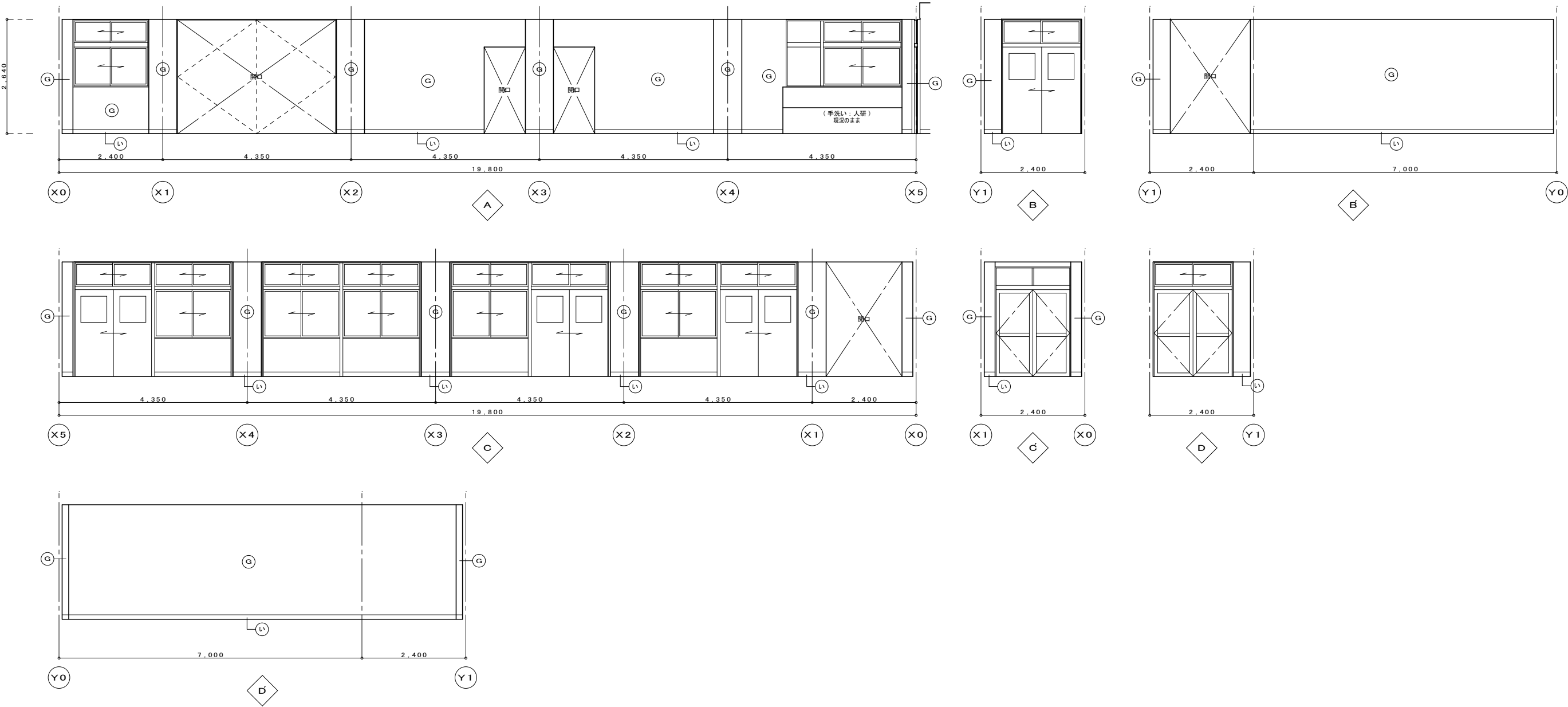
**株式会社 アスク設計** 一級建築士 第126874号 田中 孝秀
TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11



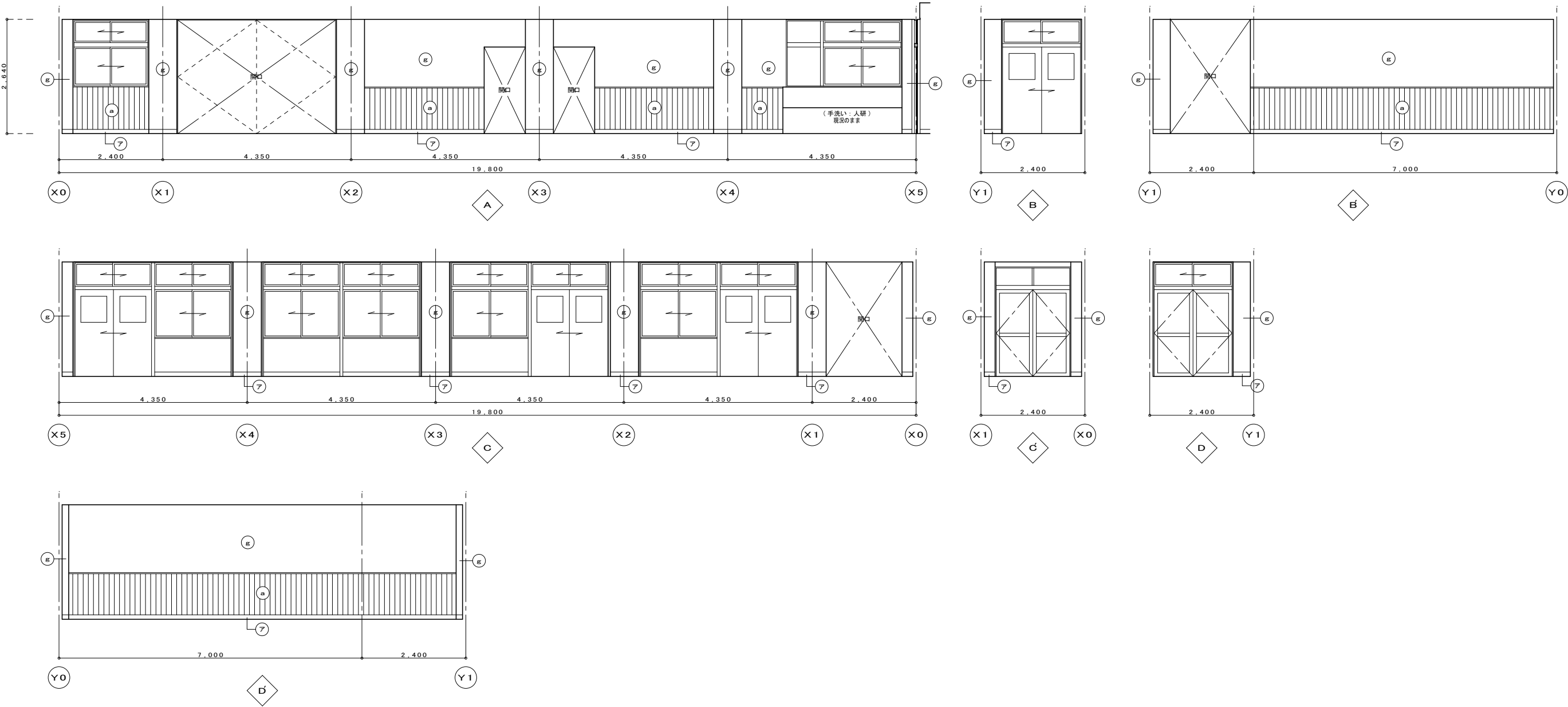
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ａ	ＡＢパネル t 25 OP撤去	ａ	杉小巾板 t 9 UC (県産材)、 鋼線 2.4×4.5@455	Ｇ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｇ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ｂ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	ｂ		Ｈ	コンクリート打ち放し	ｈ	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ｃ		ｃ	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	い					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ｄ	陶器質 100角タイル張り撤去			Ｊ		じ	石膏ボード t 12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t 2立上 H=100							Ｋ	石膏ボード t 12.5+9.5 クロス貼	く	吸音用あなあき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (14)			
								SCALE A1=1/50 A3=1/100				図面番号 A-38			
								管理技術者 主任 横印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11							



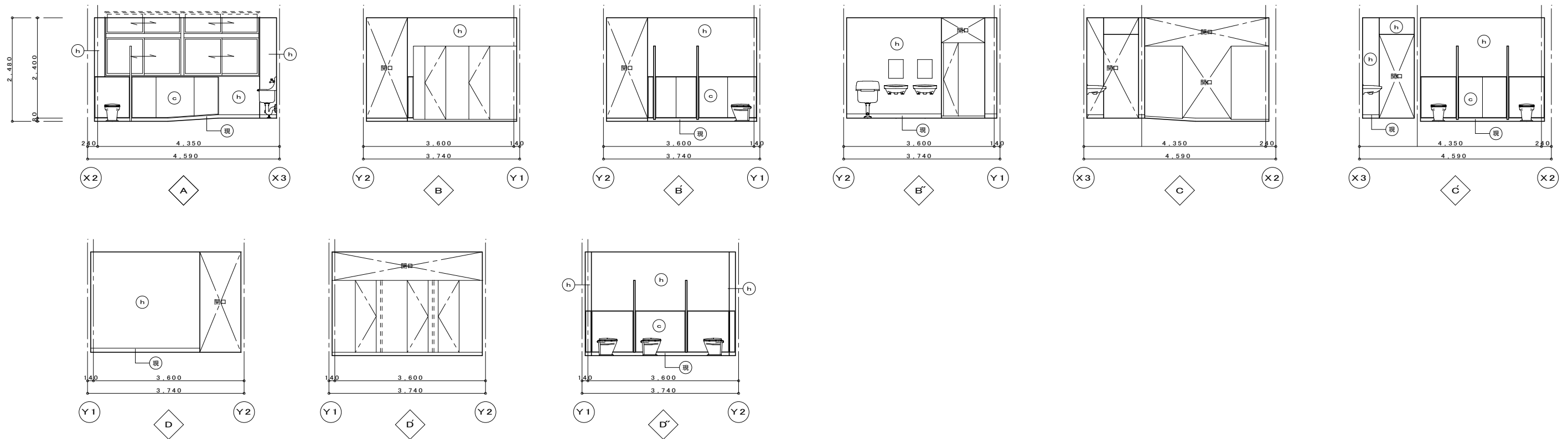
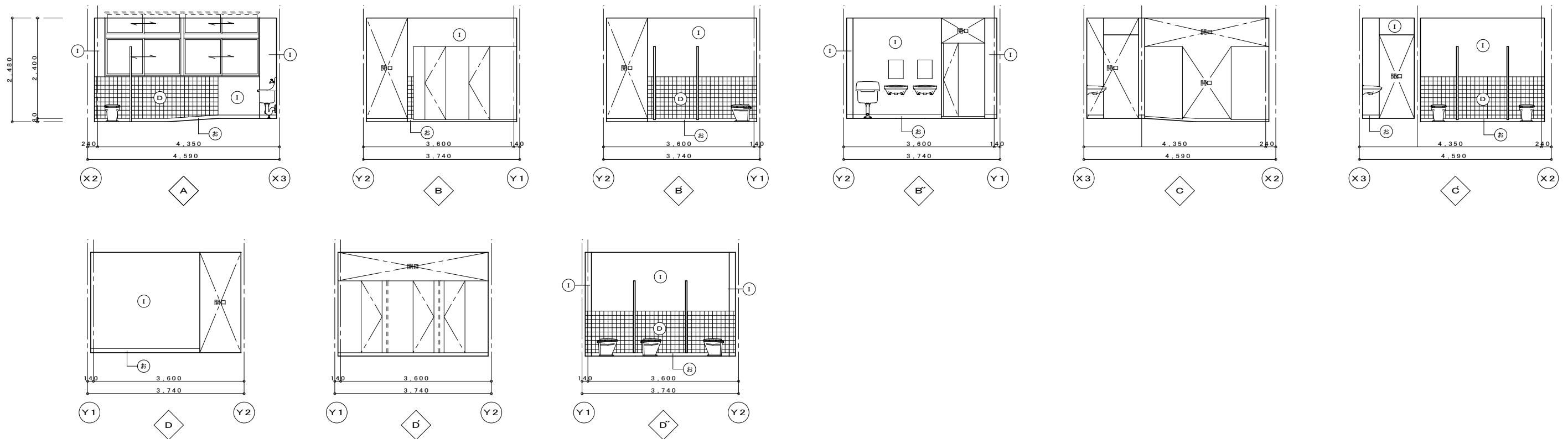
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC (県産材)、 網織 2.4×4.5@4.55	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あななき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (15)			図面番号 A-39
								管理技術者 主任 横印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11							



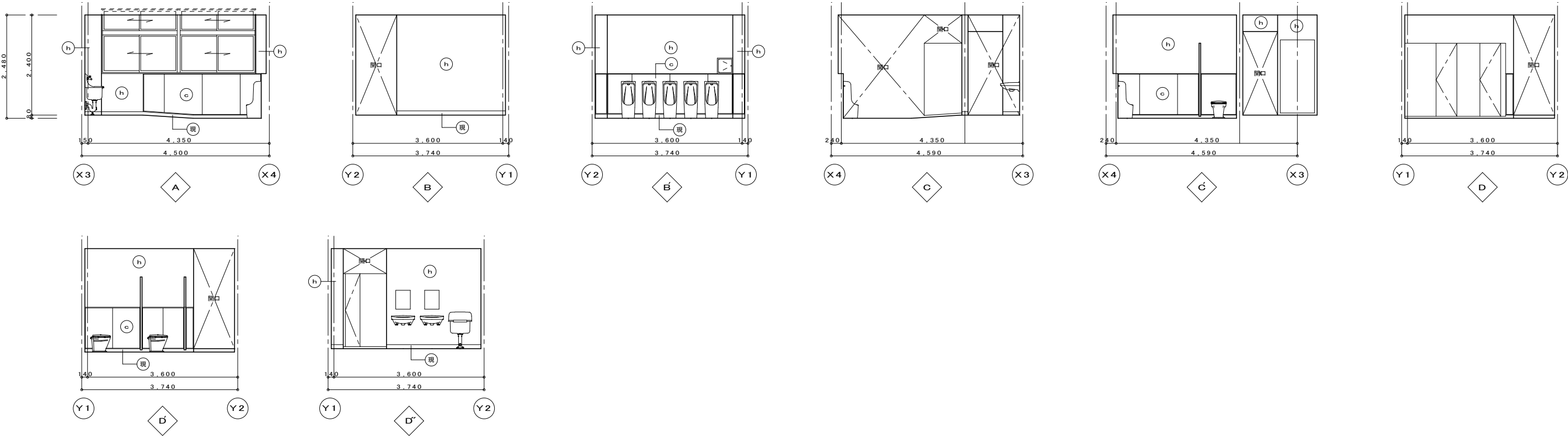
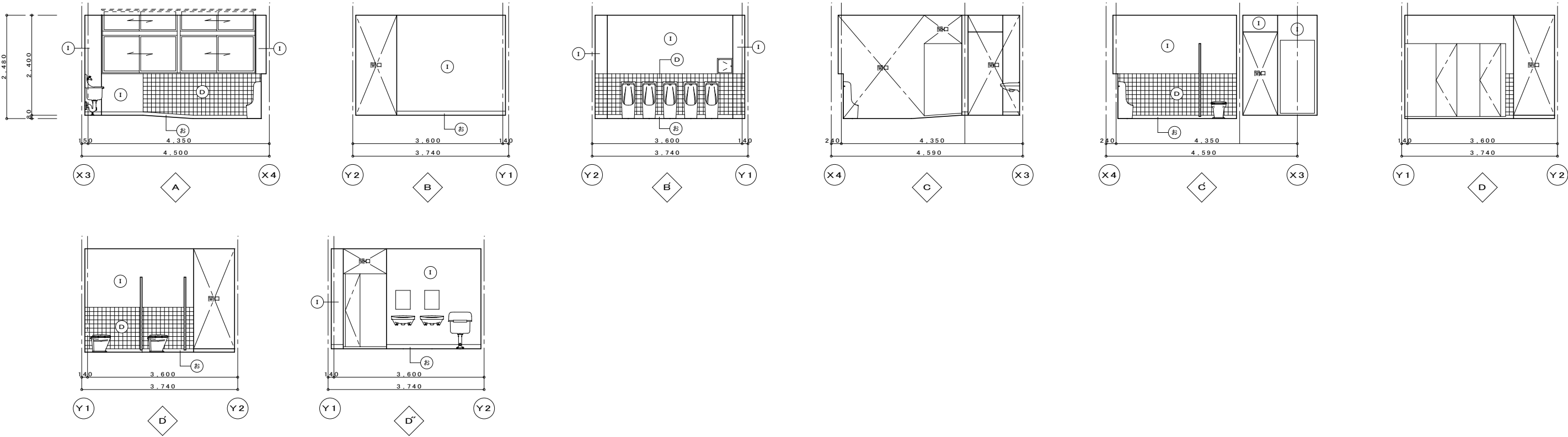
巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
Ⓐ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ⓐ	ABパネル t25 OP撤去	Ⓐ	杉小巾板 t9 UC (県産材)、 網縁 24×45@455	Ⓐ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓐ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
イ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ⓑ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓑ	_____	Ⓑ	コンクリート打ち放し	Ⓑ	現況のまま	現	_____	現	_____
ウ	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ⓒ	_____	Ⓒ	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	Ⓒ	モルタル金ゴテ押え EP-G	Ⓒ	_____				
エ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ⓓ	陶器質100角タイル張り撤去			Ⓓ	_____	Ⓓ	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
オ	ビニル床シート t2立上 H=100							Ⓔ	_____	Ⓔ	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装				
								Ⓕ	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	Ⓕ	グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (16)			SCALE A1=1/50 A3=1/100
												図面番号 A-40			
												管理技術者 主任 機印			
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11			



巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
Ⓐ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	Ⓐ	ABパネル t25 OP撤去	Ⓐ	杉小巾板 t9 UC (県産材)、 網縁 24×45@455	Ⓐ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓐ	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
イ	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	Ⓑ	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	Ⓑ	_____	Ⓑ	コンクリート打ち放し	Ⓑ	現況のまま	現	_____	現	_____
ウ	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	Ⓒ	_____	Ⓒ	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	Ⓒ	モルタル金ゴテ押え EP-G	Ⓒ	_____		_____		_____
エ	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	Ⓓ	陶器質100角タイル張り撤去			Ⓓ	_____	Ⓓ	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
オ	ビニル床シート t2立上 H=100							Ⓔ	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	Ⓔ	吸音用あなき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (17)			
								SCALE A1=1/50 A3=1/100				図面番号 A-41			
								管理技術者 主任 機印				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11							

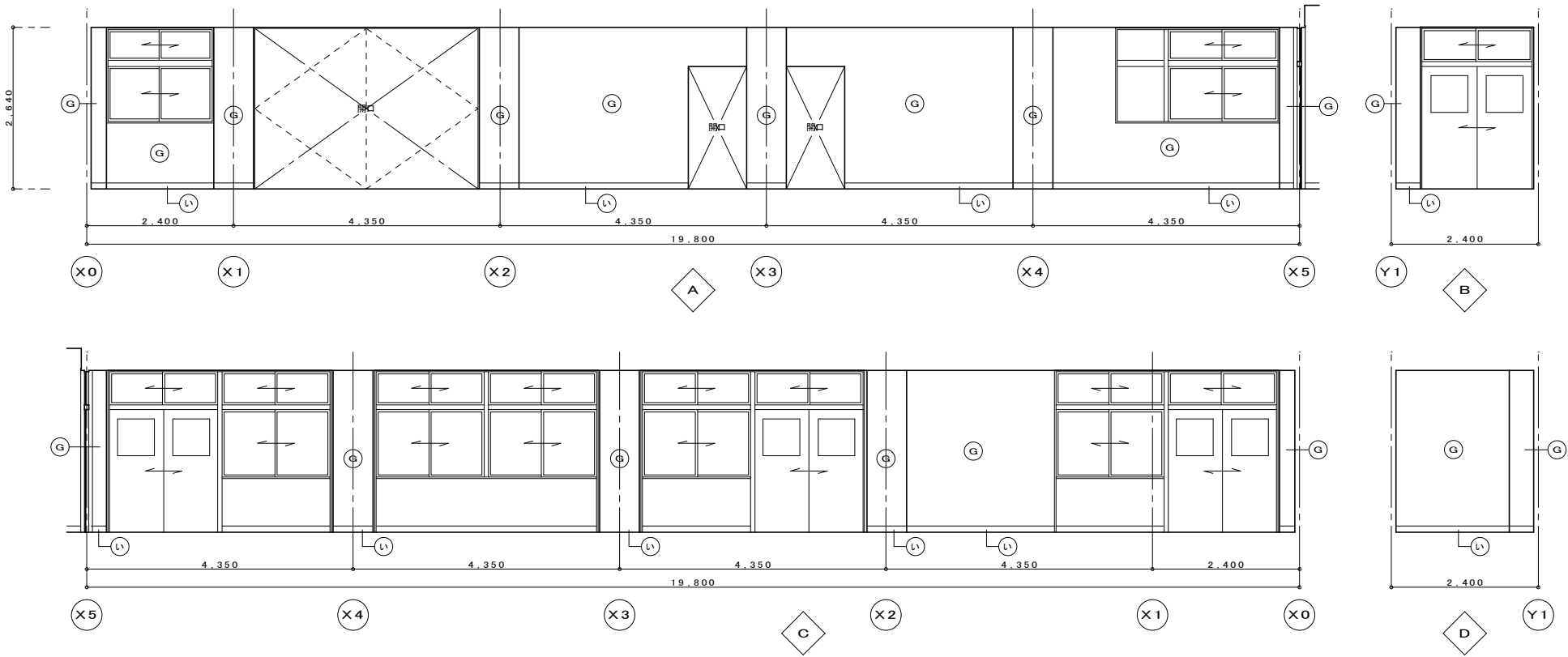


巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
㊦	木製 H=100 OP撤去	㊦	木製 H=100 UC	㊦	ABパネル t 25 OP撤去	㊦	杉小巾板 t 9 UC (県産材)、 鋼縁 24×45@455	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装	㊦	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊦	EP-G塗装
㊧	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	㊧	ソフト巾木 H=100	㊧	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㊧		㊧	コンクリート打ち放し	㊧	現況のまま	㊧		㊧	
㊨	ソフト巾木 H=100撤去	㊨	EP-G塗装	㊨		㊨	化粧ケイ酸カルシウム板 t 5 (接着貼)	㊨	モルタル金ゴテ押え EP-G	㊨					
㊩	モルタル金ゴテ目地切 H=100	㊩	現況のまま	㊩	陶器質 100角タイル張り撤去			㊩		㊩	石膏ボード t 12.5+9.5 EP-G塗装				
㊪	ビニル床シート t 2立上 H=100							㊪	石膏ボード t 12.5+9.5 クロス貼	㊪	吸音用あなあき石膏ボード t 9.5 EP-G塗装 グラスウール t 25 (24kg/m3)				
記 事															
図面名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事															
図面名 現況、改修後 展開図 (18)															
SCALE A1=1/50 A3=1/100															
図面番号 A-42															
管理技術者															
主任															
検印															
株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀															
TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11															

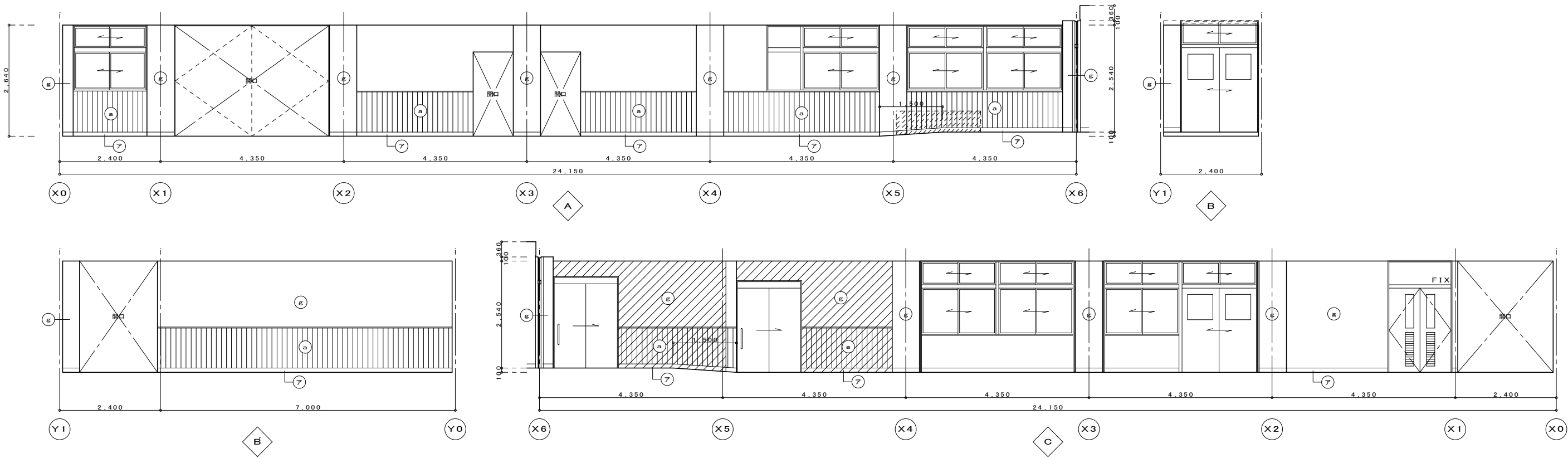


巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC (県産材)、 網縁 24×45@455	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5 (接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あななき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25 (24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図 (19)			図面番号 A-43
												管理技術者	主任	機印	
												株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
												TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11			

現況 3階 廊下

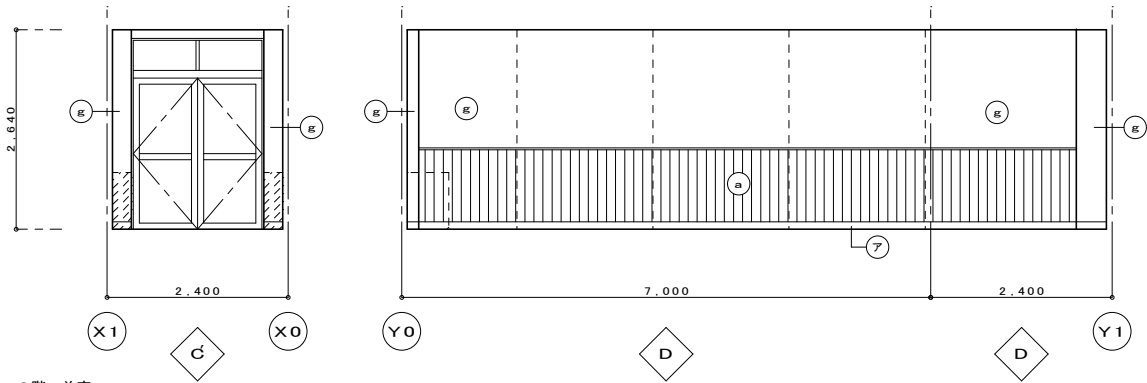


改修後 3階 廊下

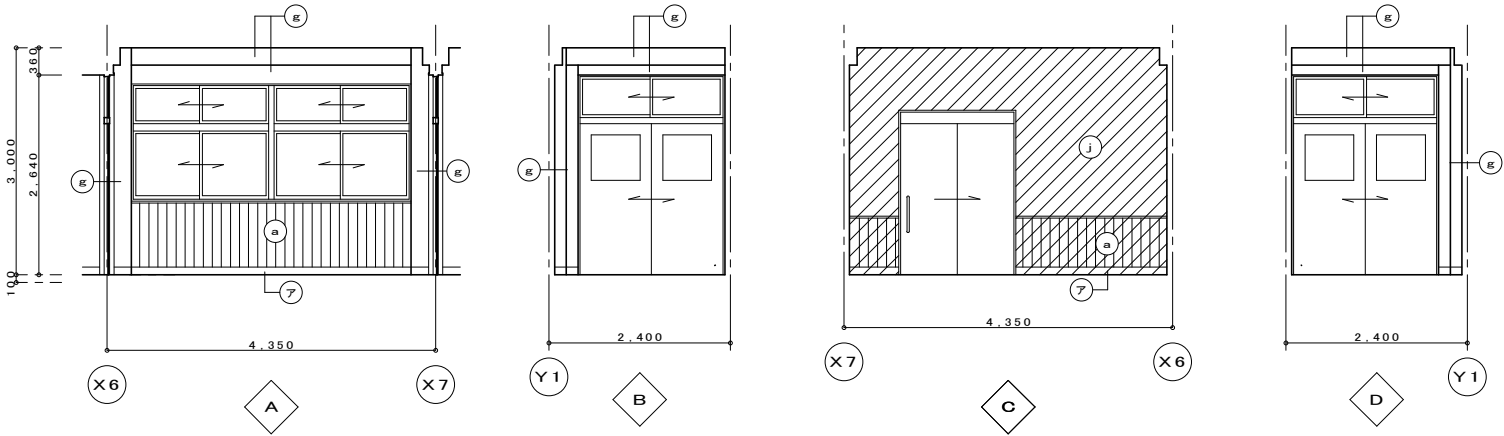


巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
あ	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	A	ABパネル t25 OP撤去	a	杉小巾板 t9 UC(県産材)、網縁24×45@455	G	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	g	EP-G塗装	10	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	15	EP-G塗装
い	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	B	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	b		H	コンクリート打ち放し	h	現況のまま	現		現	
う	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	C		c	化粧ケイ酸カルシウム板 t5(接着貼)	I	モルタル金ゴテ押え EP-G	i					
え	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	D	陶器質100角タイル張り撤去			J		j	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
お	ビニル床シート t2立上 H=100							K	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	k	吸音用あなあき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25(24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(20)			
								管理技術者 主任 横印				SCALE A1=1/50 A3=1/100			
								図面番号 A-44				株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀			
								TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11							

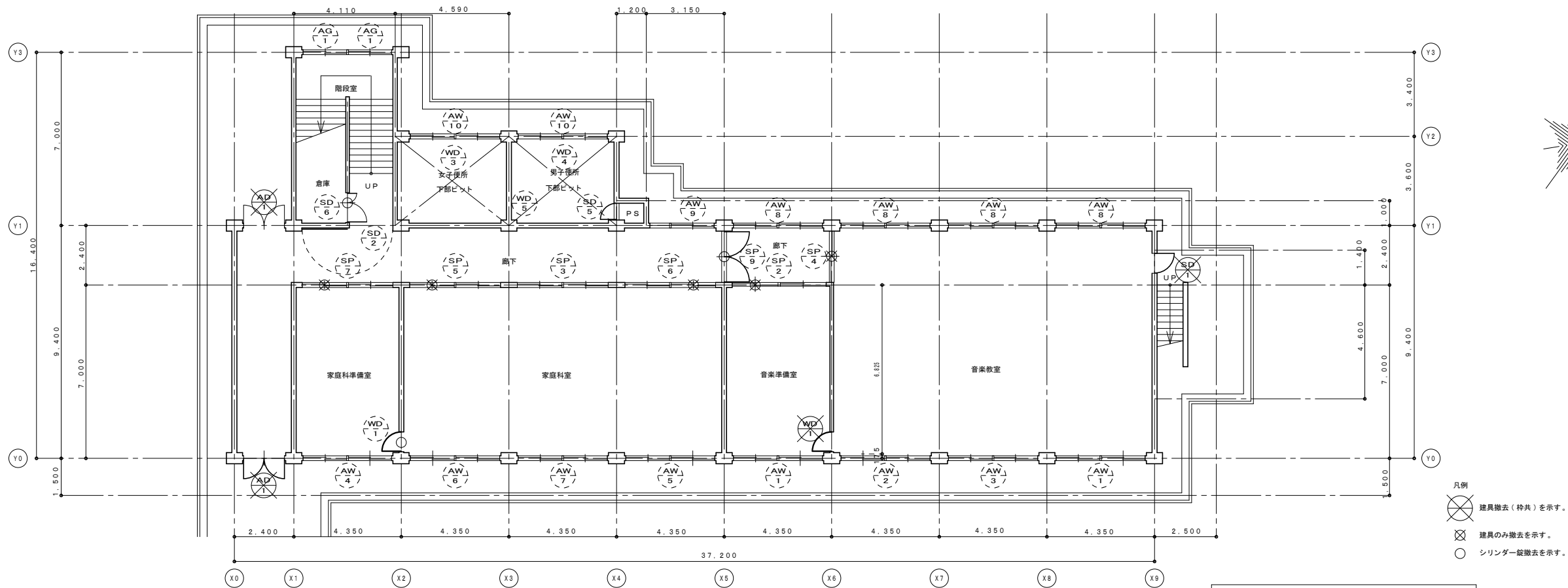
改修後 3階 廊下



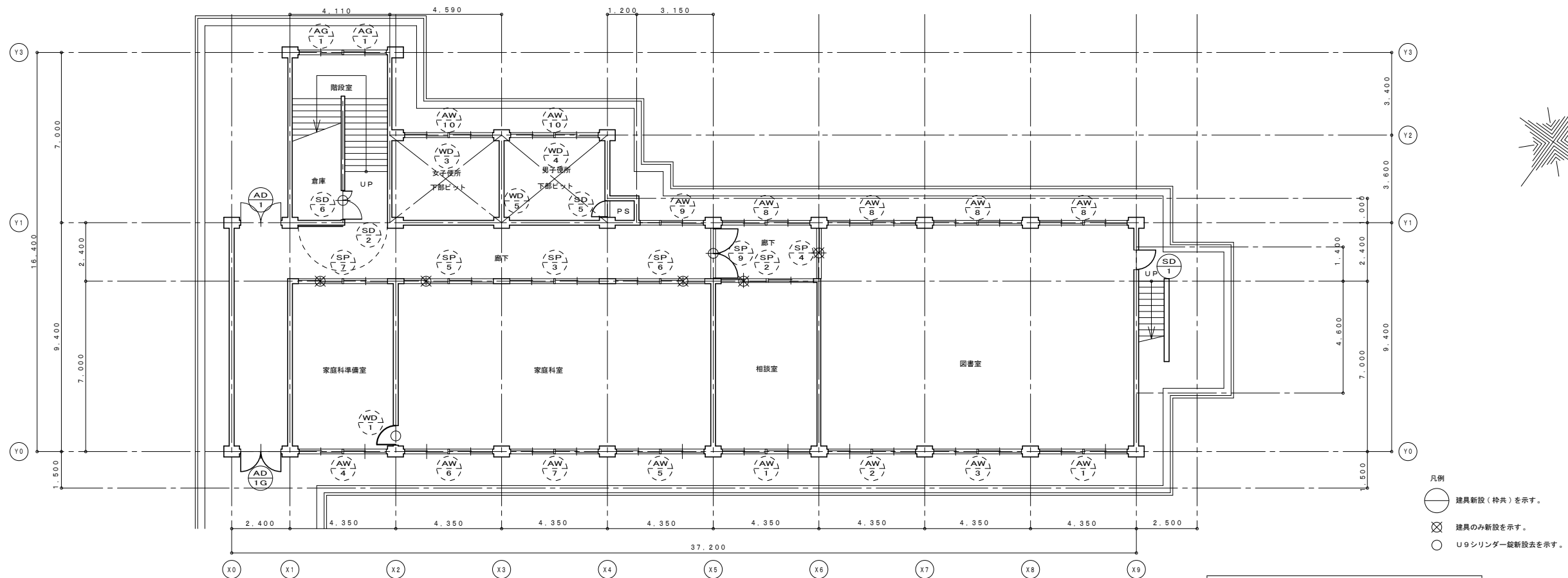
改修後 3階 前室



巾木				腰壁				壁・柱型				梁型			
現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後		現 況		改 修 後	
㉓	木製 H=100 OP撤去	ア	木製 H=100 UC	㉑	ABパネル t25 OP撤去	㉒	杉小巾板 t9 UC(県産材)、 鋼線24×45@455	㉑	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㉒	EP-G塗装	㉑	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㉒	EP-G塗装
㉒	モルタル金ゴテ目地切 H=100 AEP	イ	ソフト巾木 H=100	㉒	モルタル金ゴテ押え AEP劣化部改修	㉓	_____	㉒	コンクリート打ち放し	㉓	現況のまま	㉒	_____	㉓	_____
㉑	ソフト巾木 H=100撤去	ウ	EP-G塗装	㉓	_____	㉔	化粧ケイ酸カルシウム板 t5(接着貼)	㉑	モルタル金ゴテ押え EP-G	㉒	_____				
㉒	モルタル金ゴテ目地切 H=100	現	現況のまま	㉔	陶器質100角タイル張り撤去			㉒	_____	㉓	石膏ボード t12.5+9.5 EP-G塗装				
㉓	ビニル床シート t2立上 H=100							㉓	石膏ボード t12.5+9.5 クロス貼	㉔	吸音用あなき石膏ボード t9.5 EP-G塗装 グラスウール t25(24kg/m3)				
記 事								工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 展開図(21)			SCALE A1=1/50 A3=1/100
								管理技術者			主任	機印			図面番号 A-45
															株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀
															TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11



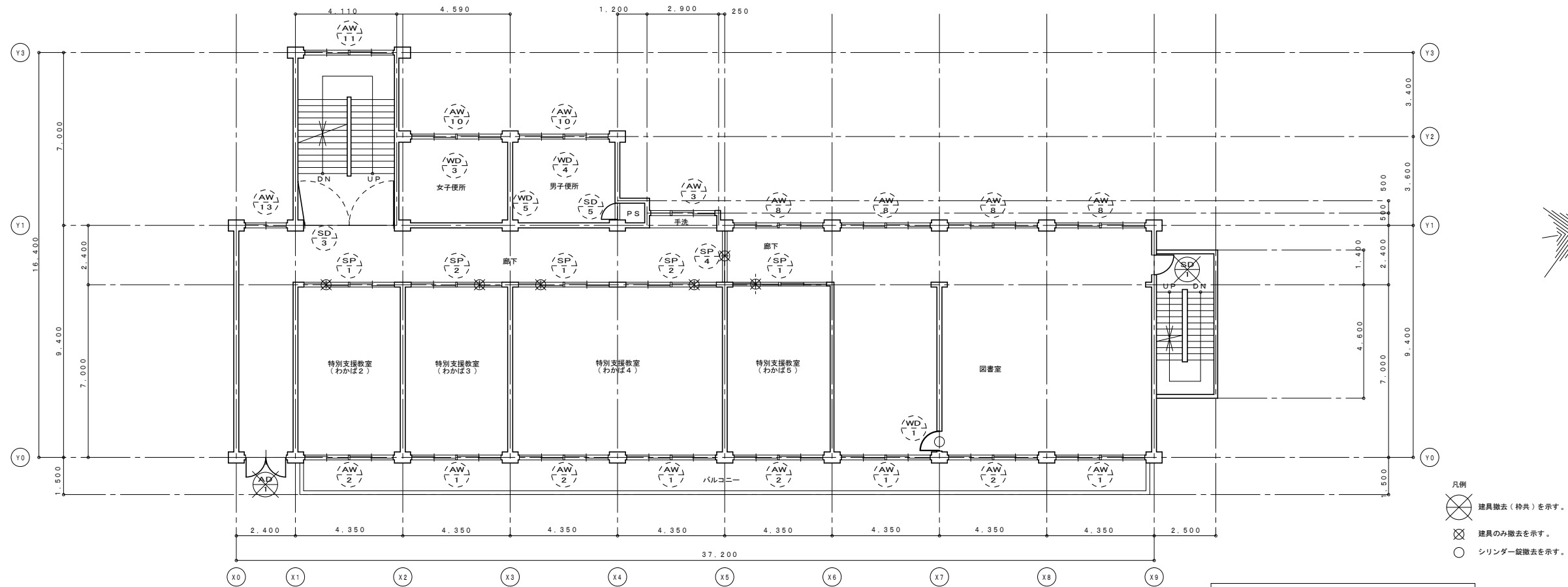
現況 1階建具配置図 1 : 100



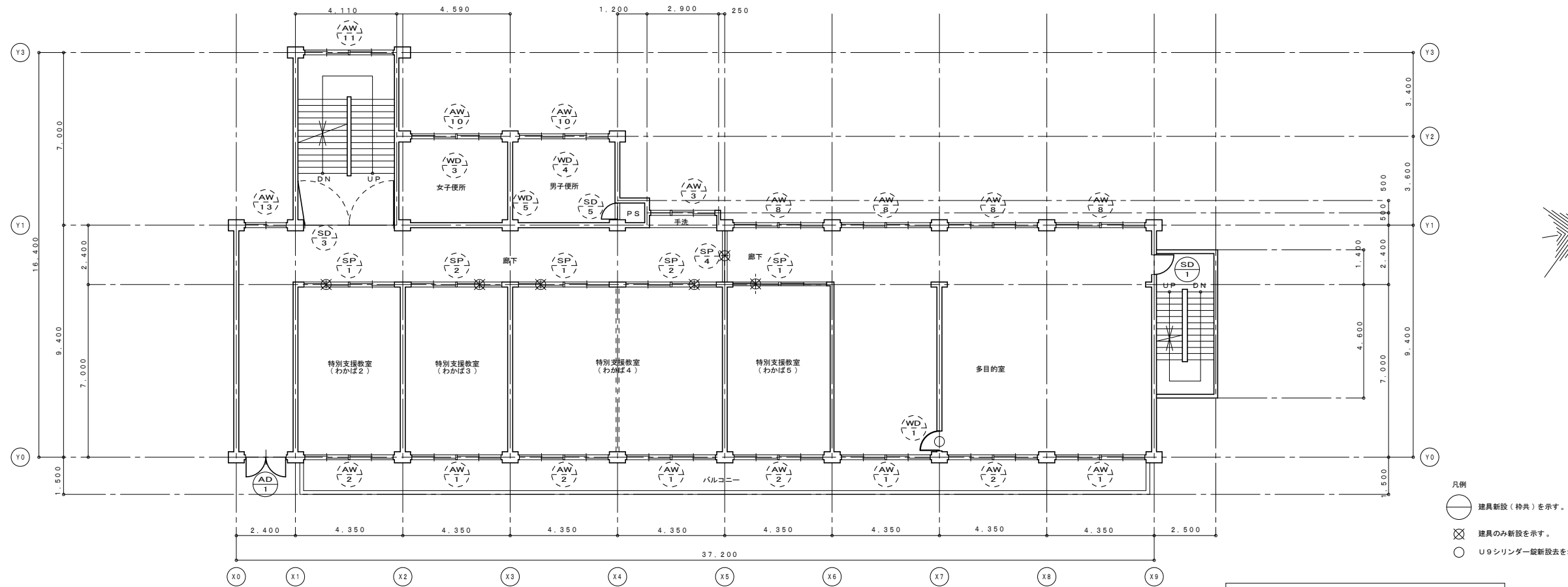
改修後 1階建具配置図 1 : 100

記 事	

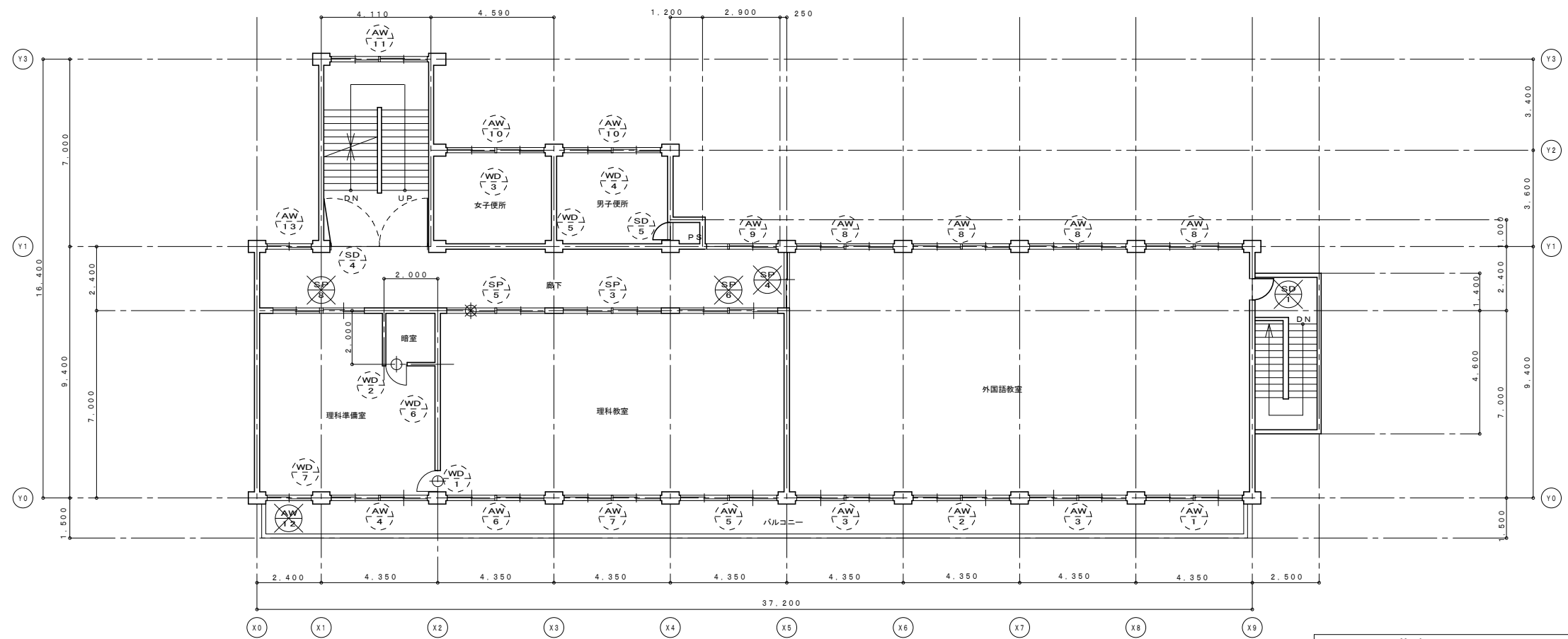
工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事			図面名 現況、改修後 1階建具配置図			SCALE A1=1/100 A3=1/200			図面番号 A-46		
			管理技術者			主任			機印		
									株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀		
									TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11		



現況 2階建具配置図 1 : 100

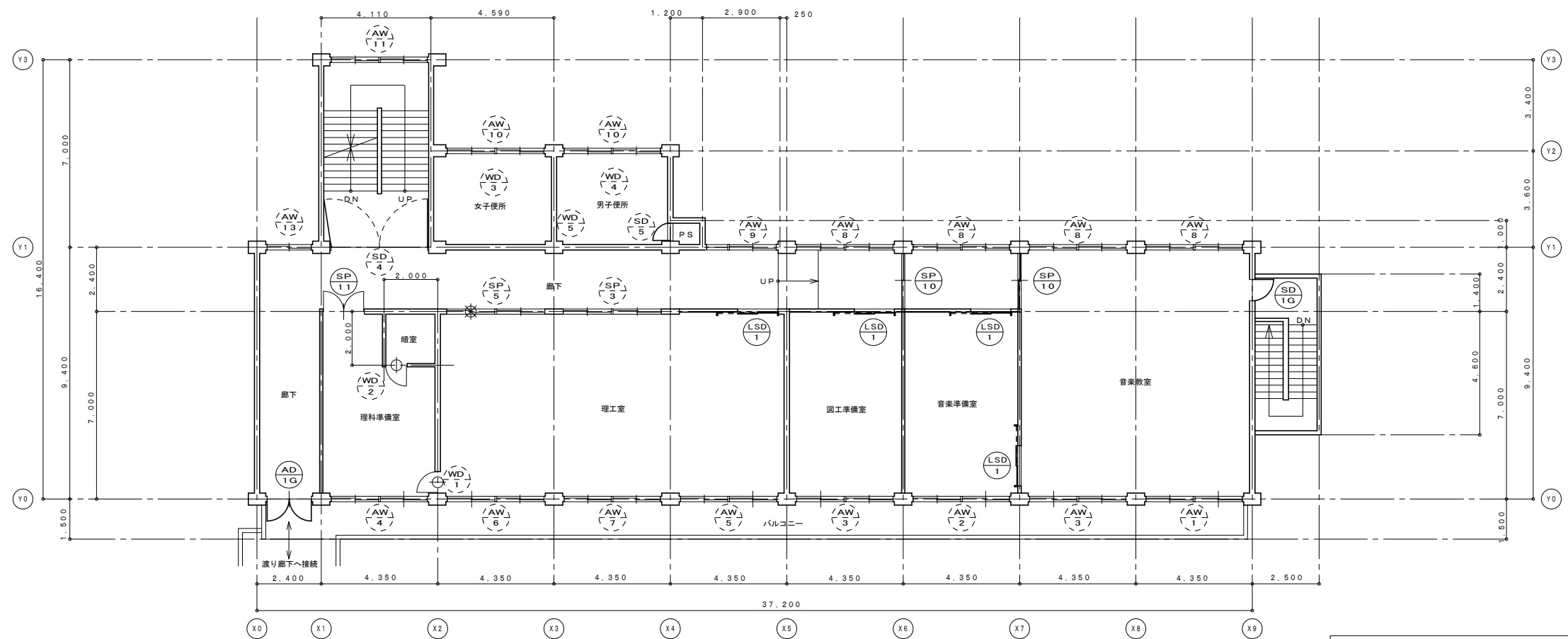


改修後 2階建具配置図 1 : 100



現況 3階建具配置図 1:100

- 凡例
- 建具撤去（枠共）を示す。
 - 建具のみ撤去を示す。
 - シリンダー錠撤去を示す。



改修後 3階建具配置図 1:100

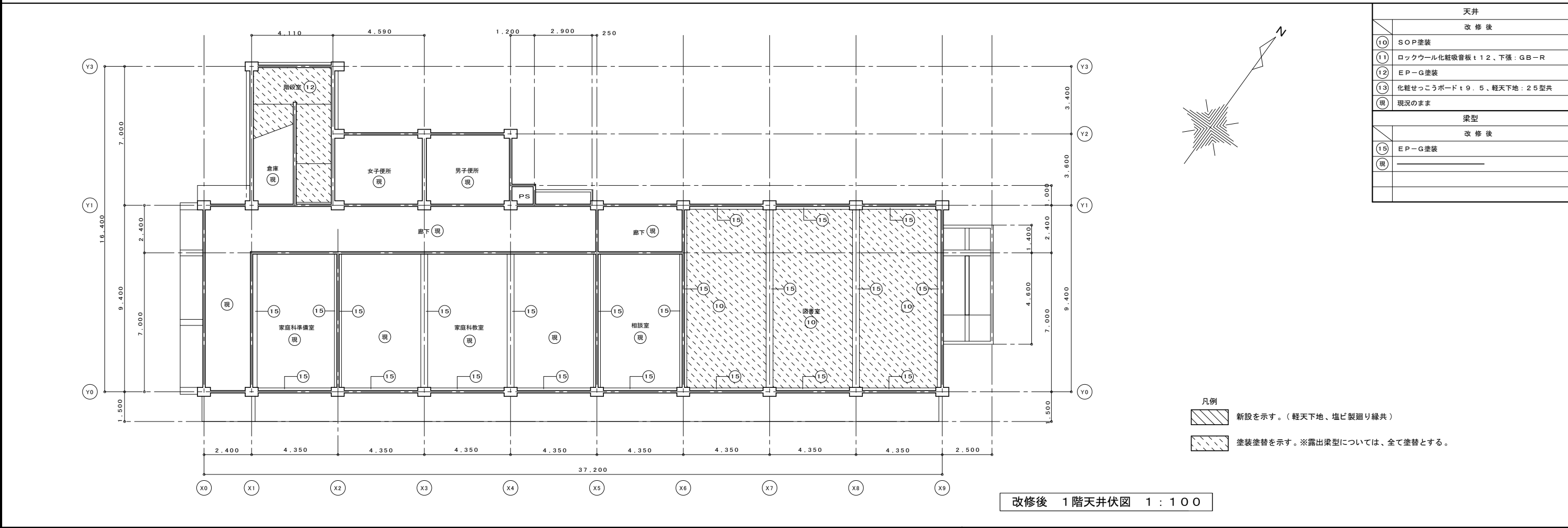
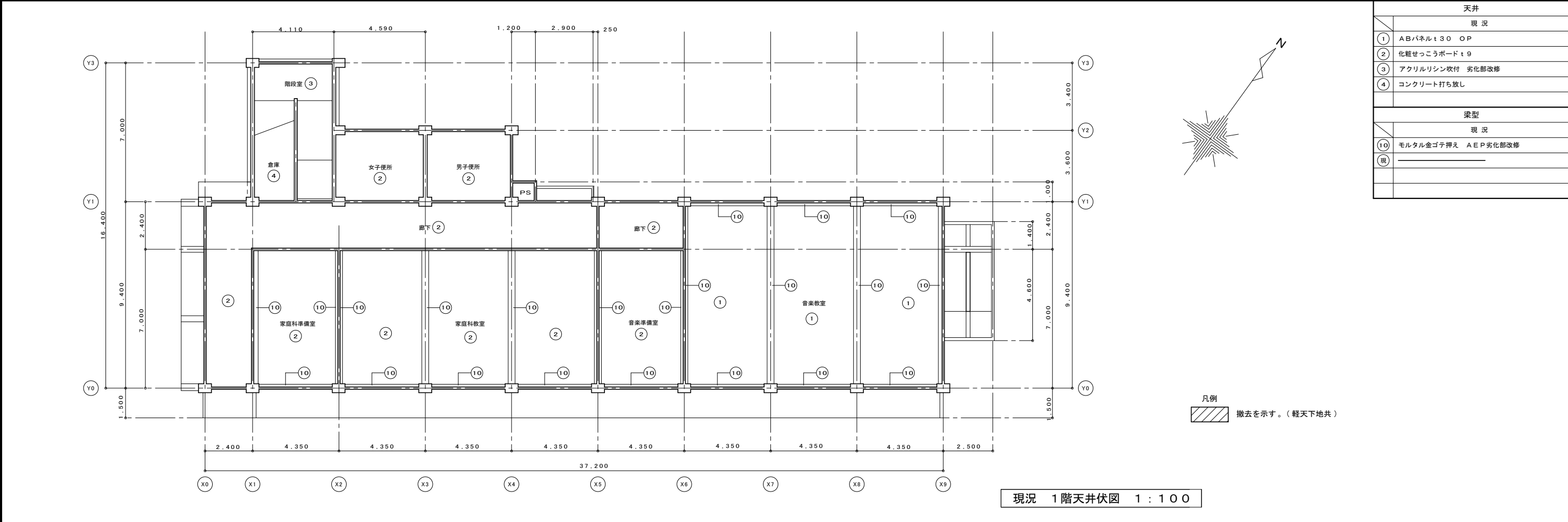
- 凡例
- 建具新設（枠共）を示す。
 - 建具のみ新設を示す。
 - U9シリンダー錠新設を示す。

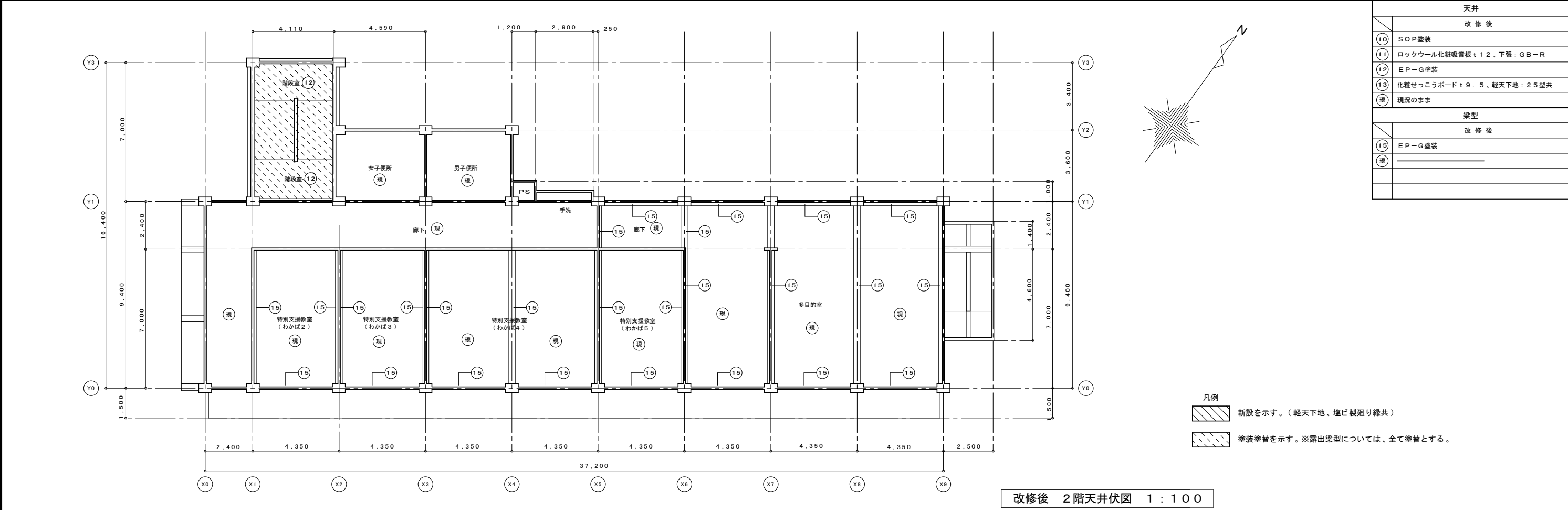
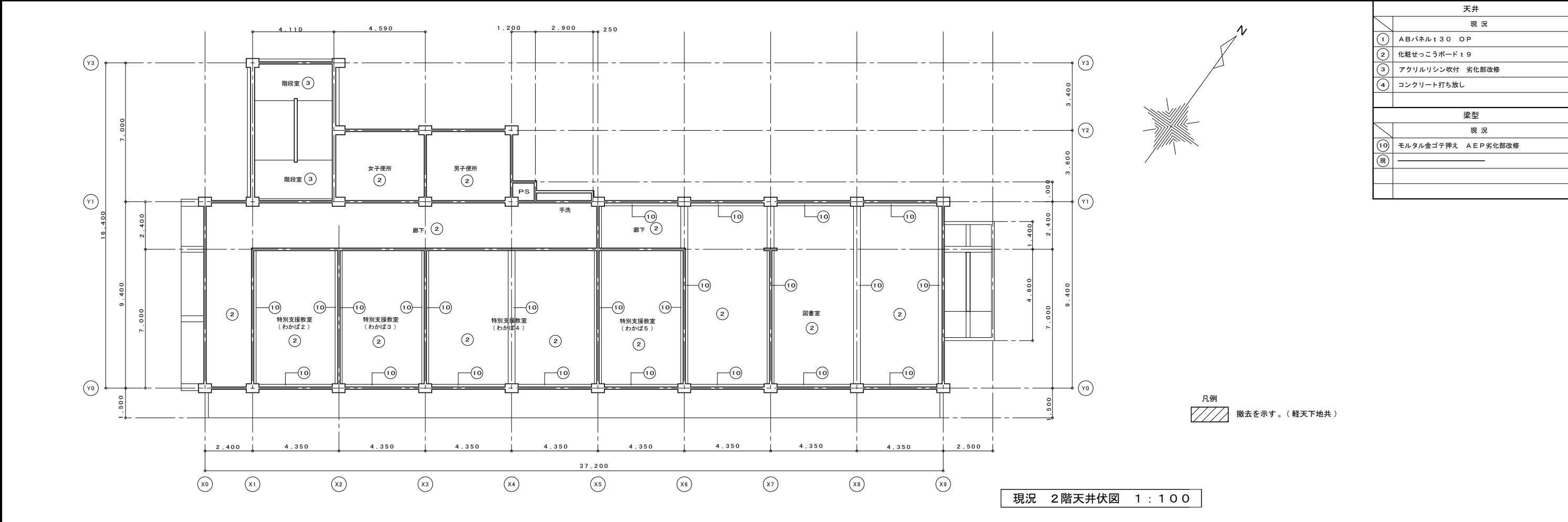
記 事

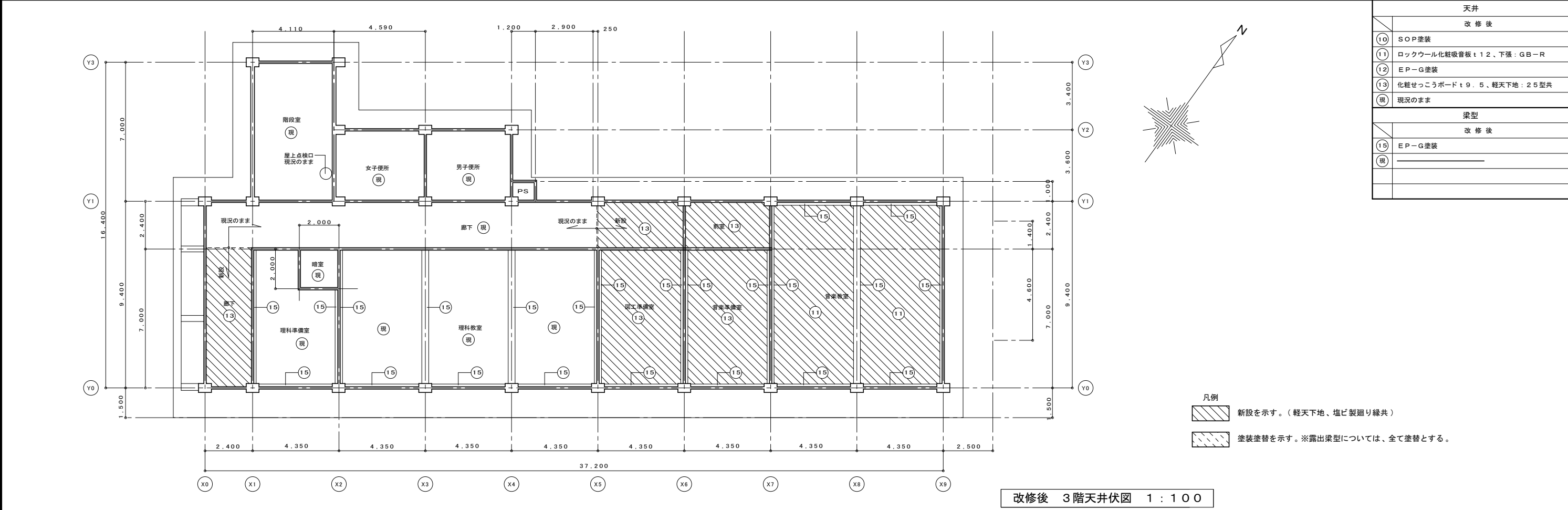
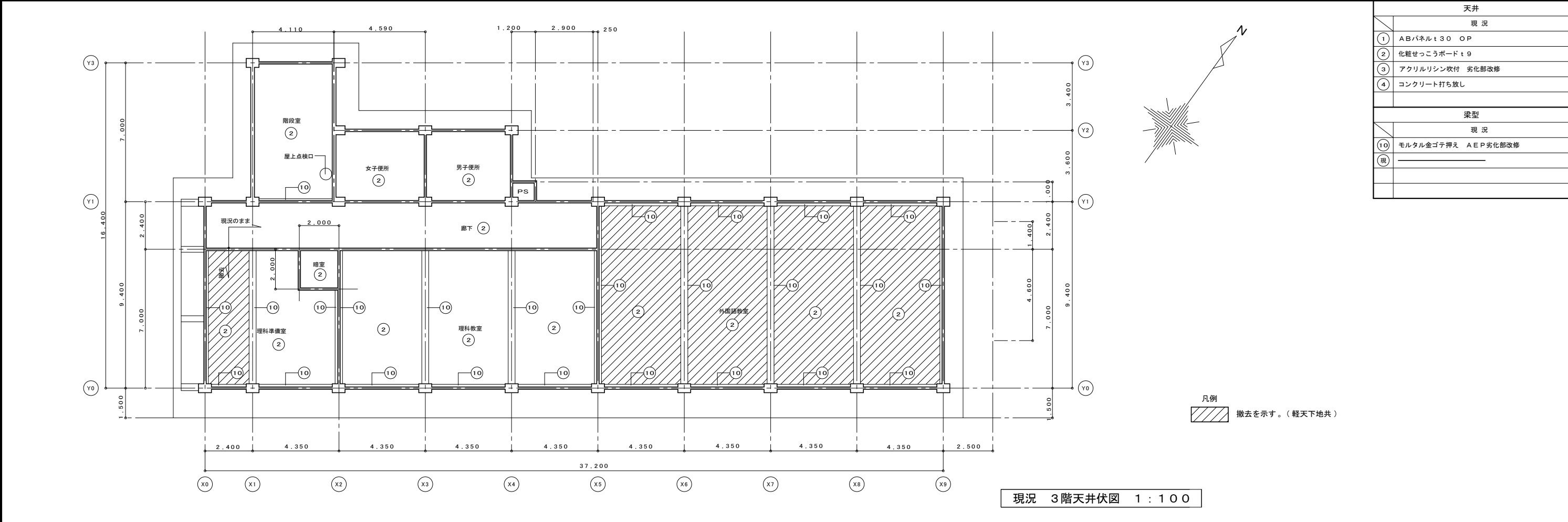
工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事	図面名 現況、改修後 3階建具配置図	SCALE A1=1/100 A3=1/200	図面番号 A-48
	管理技術者 主任 機印	株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀 TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11	

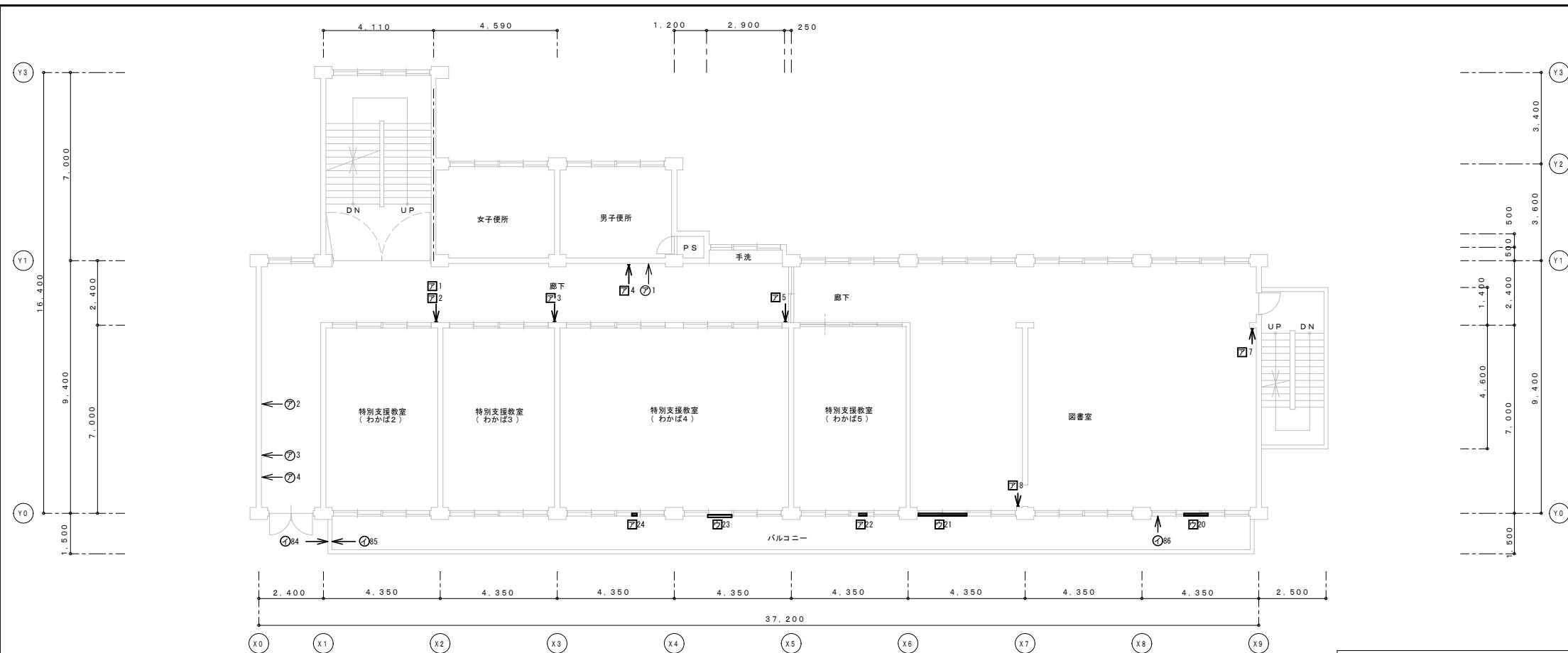
建具表 1 S=1／100																											
記号	名 称		(AW1)	アルミ製2段2連引違い窓、ドア		(AW2)	アルミ製2段2連引違い窓、ドア		(AW3)	アルミ製2段2連引違い窓		(AW4)	アルミ製2段2連引違い窓、ドア		(AW5)	アルミ製2段2連引違い窓、ドア		(AW6)	アルミ製2段2連引違い窓、ドア		(AW7)	アルミ製2段2連引違い窓		(AW8)	アルミ製突出し窓		
	室 名			音楽教室、準備室、特別支援教室、図書室、外国語教室			音楽教室、特別支援教室、図書室、外国語教室			音楽教室、外国語教室			家庭科準備室、理科準備室			家庭科室、理科教室			家庭科室、理科教室			家庭科室、理科教室			アルミ製突出し窓		音楽教室、図書室、外国語教室、廊下
現 況	形状・寸法																										
	材質・数量		アルミ		7	アルミ		6	アルミ		3	アルミ		2	アルミ		2	アルミ		2	アルミ		2	アルミ		1	
	仕 上		アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			
	ガ ラ ス		フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			
	金物・その他		標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル3個			標準付属金物一式、アルミアングル4個
備 考		アルミ音響、トﾞア窓アルミハﾞネル t3				アルミ音響、トﾞア窓アルミハﾞネル t3						アルミ音響、トﾞア窓アルミハﾞネル t3				アルミ音響、トﾞア窓アルミハﾞネル t3				アルミ音響、トﾞア窓アルミハﾞネル t3				標準付属金物一式、アルミアングル4個			
記号	名 称		(AW1)			(AW2)			(AW3)			(AW4)			(AW5)			(AW6)			(AW7)			(AW8)			
	室 名																										
改 修 後	形状・寸法																										
	材質・数量		—		7	—		6	—		3	—		2	—		2	—		2	—		2	—		1	
	仕 上		—			—			—			—			—			—			—			—			
	ガ ラ ス		—			—			—			—			—			—			—			—			
	金物・その他		—			—			—			—			—			—			—			—			
備 考		シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え					
記号	名 称		(AW9)	アルミ製2段2連袖F I X窓		(AW10)	アルミ製2段2連引違い窓		(AW11)	アルミ製2段2連引違い窓		(AW12)	2枚引違い窓		(AW13)	2枚引違い窓		(AD1)	横開F I X両開トﾞア		(SD1)	スチール片開フラッシュドア		(SD2)	スチール片開 潜り戸付フラッシュ戸		
	室 名		廊下			男子便所、女子便所			階段			理科準備室			廊下			廊下			屋外階段出入口			階段室			
現 況	形状・寸法																										
	材質・数量		アルミ		3	アルミ		6	アルミ		2	アルミ		1	アルミ		2	アルミ		3	スチール		3	スチール		1	
	仕 上		アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			アルマイト処理			OP塗			OP塗			
	ガ ラ ス		フロートガラス t3			スリガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			フロートガラス t3			-			-			
	金物・その他		標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			標準付属金物一式、アルミアングル4個			ビ'キ'ットヒンジ、トﾞアチェック、窓用サッシ等 1 個、スナップヒール、窓用サッシ等 3 個、アングル			DH、DC、窓用サッシ等 1 個、スナップヒール、窓用サッシ等 3 個、アングル			フロアーヒンジ、ケースハンドル、潜り戸用ヒンジ
備 考		シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				横開F I X両開トﾞア				スチール片開フラッシュドア			非常口フ'レート取付、煙感知器連動自閉式甲種防火戸		
記号	名 称		(AW9)			(AW10)			(AW11)					(AW13)					(AD1)	横開F I X両開トﾞア		(SD1)	スチール片開フラッシュドア		(SD2)		
	室 名																		廊下			屋外階段出入口					
改 修 後	形状・寸法																										
	材質・数量		—		3	—		6	—		2			—		2			アルミ		2	2	スチール		2	1	—
	仕 上		—			—			—					—					アルマイト処理			OP塗			SOP塗替		
	ガ ラ ス		—			—			—					—					フロートガラス t3			—			—		
	金物・その他		—			—			—					—					ビ'キ'ットヒンジ、トﾞアチェック、窓用サッシ等 1 個、スナップヒール、窓用サッシ等 3 個、アングル			DH、DC、窓用サッシ等 1 個、スナップヒール、窓用サッシ等 3 個、アングル			—		
備 考		シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				シーリング (MS-2 10×10) 打ち替え				横開F I X両開トﾞア				スチール片開フラッシュドア (ガラリ付)			—		
工 事 名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事																											
図面名 現況、改修後 建具表 (1)																											
SCALE A1=1/100 A3=1/200																											
図面番号 A-49																											
次長 課長 担当																											
株式会社 アスク設計 一般建築士 第126874号 田中 孝秀																											
TEL0979-82-5554本社〒828-0021福岡県豊前市大字八屋1648-11																											

建具表 2 S=1／100																																		
記号	名 称		(SD 3)	スチール両開 潜り戸付フラッシュ戸	(SD 4)	スチール両開 フラッシュ戸	(SD 5)	スチールアングル戸	(SD 6)	スチール親子フラッシュ戸	(AG 1)	アルミ固定ガラリ	(SP 1)	2段2連引違い学校用間仕切りドア付	(SP 2)	2段2連引違い学校用間仕切りドア付	(SP 3)	2段2連引違い学校用間仕切り窓付																
	室 名			階段室		階段室		便所パイプシャフト		倉庫		倉庫		特別支援教室		特別支援教室		家庭科室、理科教室																
現 況	形状・寸法																																	
	材質・数量		スチール		1	スチール		1	スチール		3	スチール		1	アルミ		2	スチール		3	スチール		2											
	仕 上		OP塗			OP塗			OP塗			OP塗			アルマイト処理			OP塗			OP塗													
	ガ ラ ス		-			-			-			-			-			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3													
	金物・その他		フローアセンジ、ケースハンドル、潜り戸用ヒンジ			フローアセンジ、ケースハンドル			軸吊り番、盤錠			振玉付シリンドー錠撤去、フランス落し、アームストッパー			-			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			クレセント 戸当りコゝム 方立 戸車										
備 考		非常口フゝレート取付 煙感知器連動自閉式甲種防火戸			非常口フゝレート取付 煙感知器連動自閉式甲種防火戸			-			-			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"														
改 修 後	形状・寸法																																	
	材質・数量		――		1	――		1	――		3	――		1	――		2	スチール		3	――		2											
	仕 上		SOP塗替			SOP塗替			SOP塗替			SOP塗替			――			化粧銅板			――													
	ガ ラ ス		――			――			――			――			――			フロートガラスt3			――													
	金物・その他		――			――			――			U9シリンドー錠			――			U9シリントー引違戸用 引戸 戸当りコゝム 戸車			――													
備 考		――			――			――			――			――			――			――														
現 況	名 称		(SP 4)	2段引違い学校用間仕切りドア付																														
	室 名			音楽教室、図書室、外国語教室※3階外国語教室枠共撤去																														
	形状・寸法																																	
	材質・数量		スチール		3	スチール		2	スチール		2	スチール		1	スチール		1	アルミ		1														
	仕 上		OP塗			OP塗			OP塗			OP塗			OP塗			OP塗																
ガ ラ ス		欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3			欄間フロートガラスt3 ドア、窓スリガラスt3																	
金物・その他		シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			シリントー引違戸用 鍵型錠 クレセント 引戸 戸当りコゝム 方立 戸車			DH、DC、振玉、フランス落し、ストッパー																	
備 考		ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレスフラット型レール 戸当り"スコーキング"			ステンレス管槽、戸ガラスコーキング																	
改 修 後	名 称		(SP 4)	2段引違い学校用間仕切りドア付																														
	室 名			図書室、多目的室																														
	形状・寸法																																	
	材質・数量		スチール		2	スチール		2	スチール		1	スチール		1	――		1	スチール		2	スチール		1											
	仕 上		化粧銅板			化粧銅板			化粧銅板			化粧銅板			――			化粧銅板			化粧銅板													
ガ ラ ス		フロートガラスt3			フロートガラスt3			フロートガラスt3			フロートガラスt3			――			フロートガラスt3			フロートガラスt3														
金物・その他		U9シリントー引違戸用 引戸 戸当りコゝム 戸車			U9シリントー引違戸用 引戸 戸当りコゝム 戸車			U9シリントー引違戸用 引戸 戸当りコゝム 戸車			U9シリントー引違戸用 引戸 戸当りコゝム 戸車			――			U9シリンドー錠			U9シリントー引違戸用 クレセント 引戸 戸当りコゝム 戸車			U9シリンドー錠、DC、フランス落し											
備 考		――			――			――			――			――			――			ステンレス管槽			ステンレス管槽											
記 事												工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 現況、改修後 建具表(2)			SCALE A1=1／100 A3=1／200			図面番号 A-50												
																次長			課長			担当												
</																																		

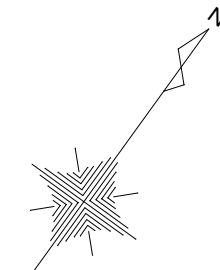
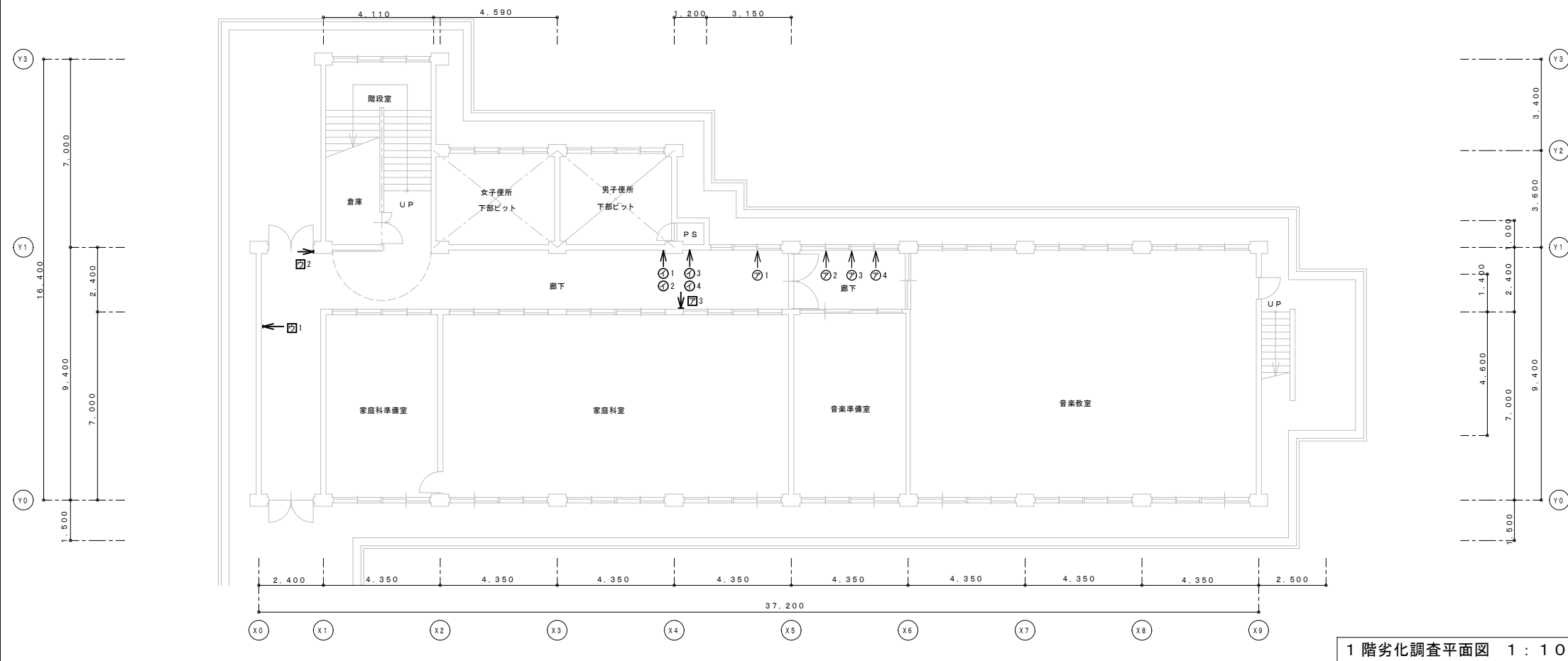


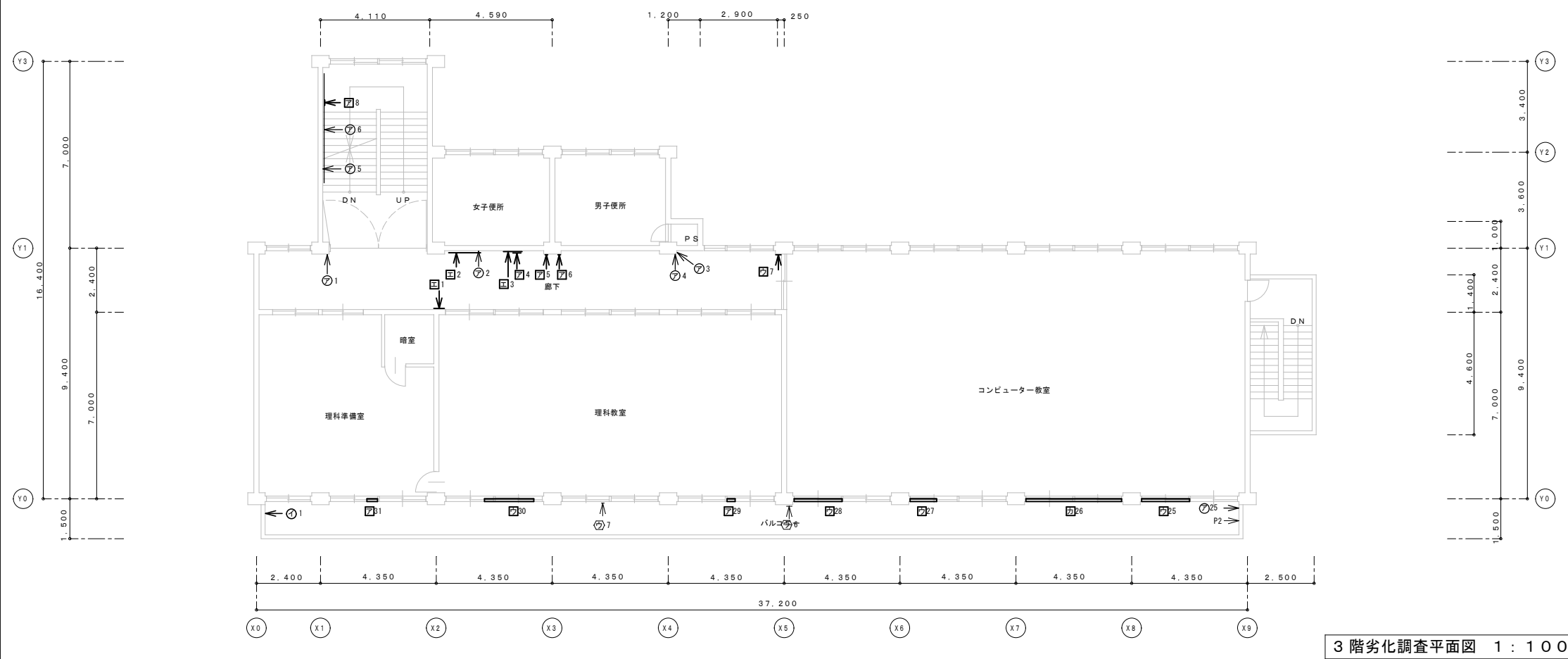
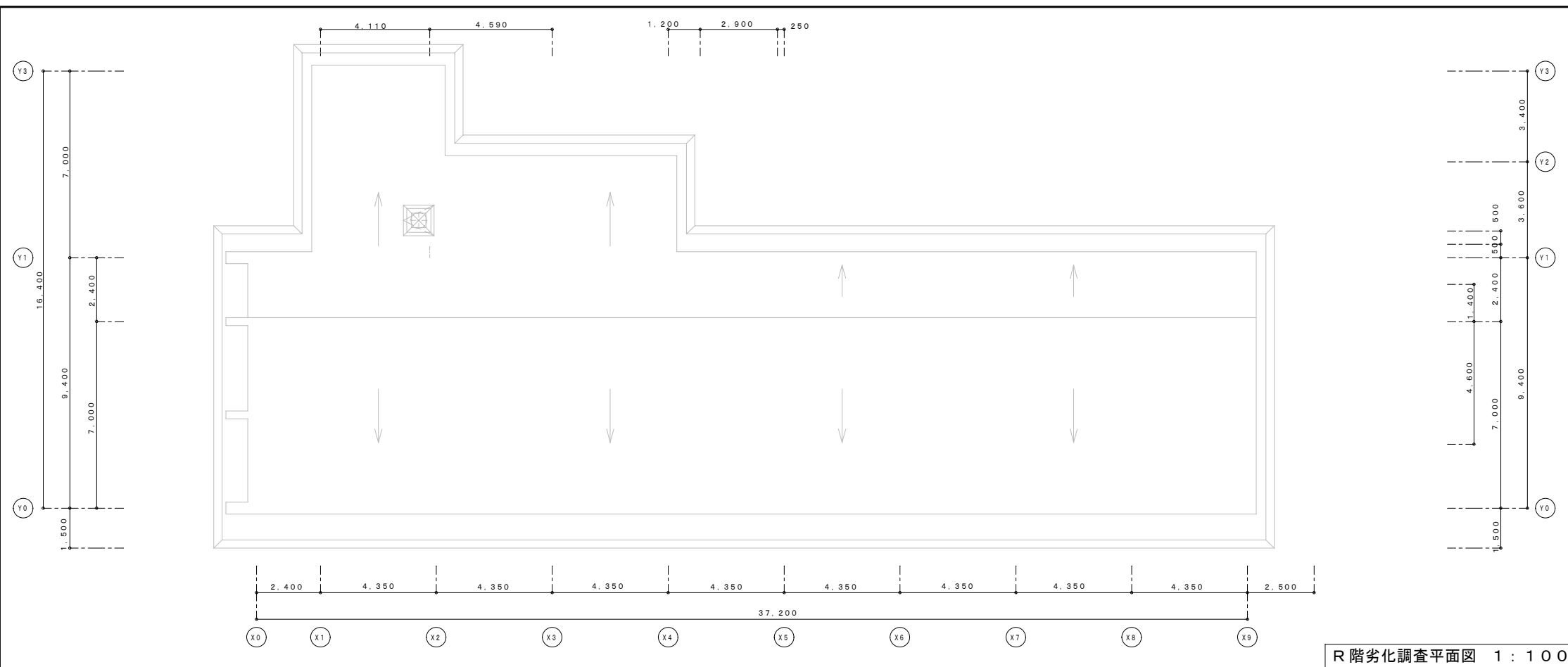






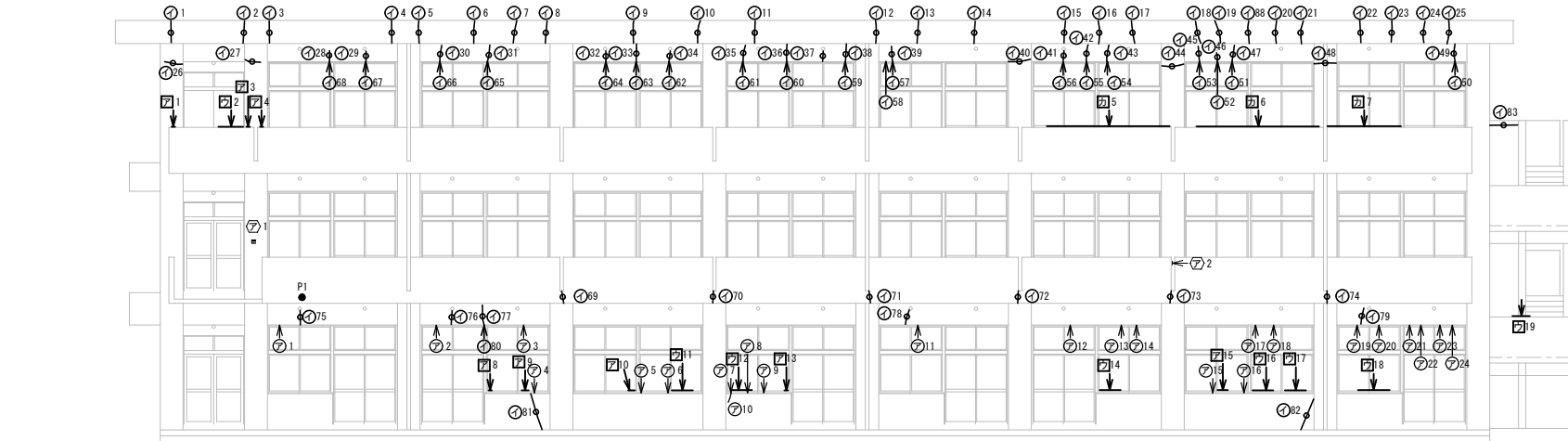
	改修部大きさ	工 法	凡例	
ひび割れ	0.2mm未満	シーリング工(可とう性エポキシ樹脂)	ア 1~	
	0.2mm以上	ヒカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	イ 1~	
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	ア 1~	
		アンカーピンニング部分注入工法 指定部	イ 1~	
		アンカーピンニング部分注入工法 狭幅部	ロ 1~	
		アンカーピンニング全面注入工法 一般部	エ 1~	
	0.25㎡以上	アンカーピンニング全面注入工法 指定部	ロ 1~	
		アンカーピンニング全面注入工法 狭幅部	ロ 1~	
欠損	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 狭幅部	ロ 1~	
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	ロ 1~	
	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1~	
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	ロ 1~	
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1~	
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	ロ 1~	
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	ロ 1~	
		下地調整材による不陸調整 指定部	ロ 1~	
		500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	ロ 1~
			下地調整材による不陸調整 指定部	ロ 1~
500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	ロ 1~		
	下地調整材による不陸調整 指定部	ロ 1~		
	露筋処理	100×100未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	ア 1~
			防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1~
100×300未満		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	ウ 1~	
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	エ 1~	
100×800未満		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	オ 1~	
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	カ 1~	
800以上	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	キ 1~		
	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	ク 1~		
塗膜剥離	一般部	剥離剤併用手工具ケレン工法	カ 1~	
	指定部	剥離剤併用手工具ケレン工法	ク 1~	
Pコン跡			P1~	



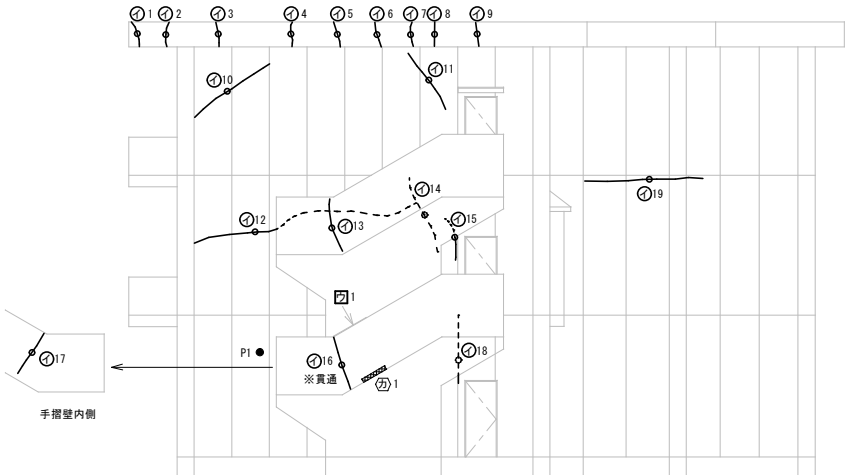


	改修部 大きさ	工 法	凡 例
ひび割れ	0.2mm未満	シール工法(可とう性エポキシ樹脂)	ア 1～
	0.2mm以上	ヒカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	イ 1～
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	ア 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 指定部	イ 1～
	0.25㎡以上	アンカーピンニング部分注入工法 狭傷部	ア 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 一般部	イ 1～
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 指定部	イ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 狭傷部	ア 1～
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	キ 1～
	欠損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部
ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部			イ 1～
200×200以下		ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
400×400以下		下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～
500×500以下		下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～
500×500超		下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～
露筋処理	100×100未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	ア 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
	100×300未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
	100×800未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
	800以上	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
塗膜剥離	一般部	剝離剤併用手工具ケレン工法	ク 1～
	指定部	剝離剤併用手工具ケレン工法	ク 1～
Pコン跡			P1～

	改修部大きさ	工 法	凡 例
ひび割れ	0.2mm未満	シーリング工法(可とう性エポキシ樹脂)	㊦ 1～
	0.2mm以上	Uカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	㊩ 1～
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 鉄幅部	㊦ 1～
	0.25㎡以上	アンカーピンニング全面注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 指定部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 鉄幅部	㊦ 1～
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 鉄幅部	㊦ 1～
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	㊦ 1～
欠損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
露筋処理	100×100未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×300未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×800未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	800以上	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
塗膜剥離	一般部	剝離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
	指定部	剝離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
Pコン跡			P1～ ●

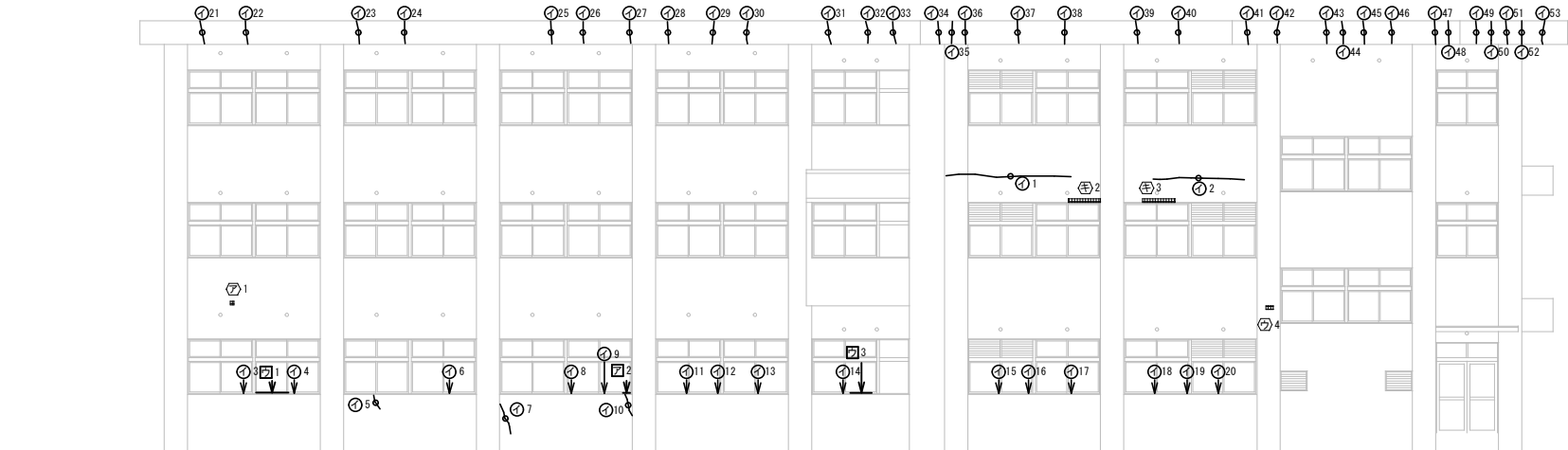


南劣化調査立面図 1：200

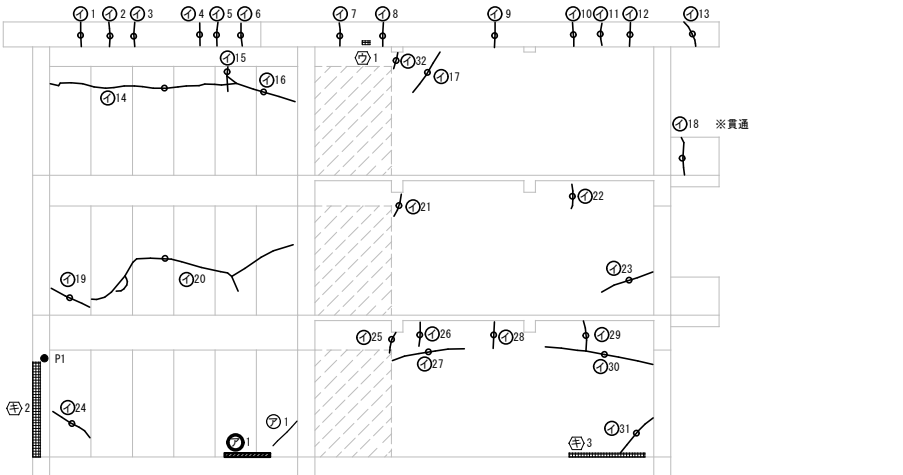


東劣化調査立面図 1：200

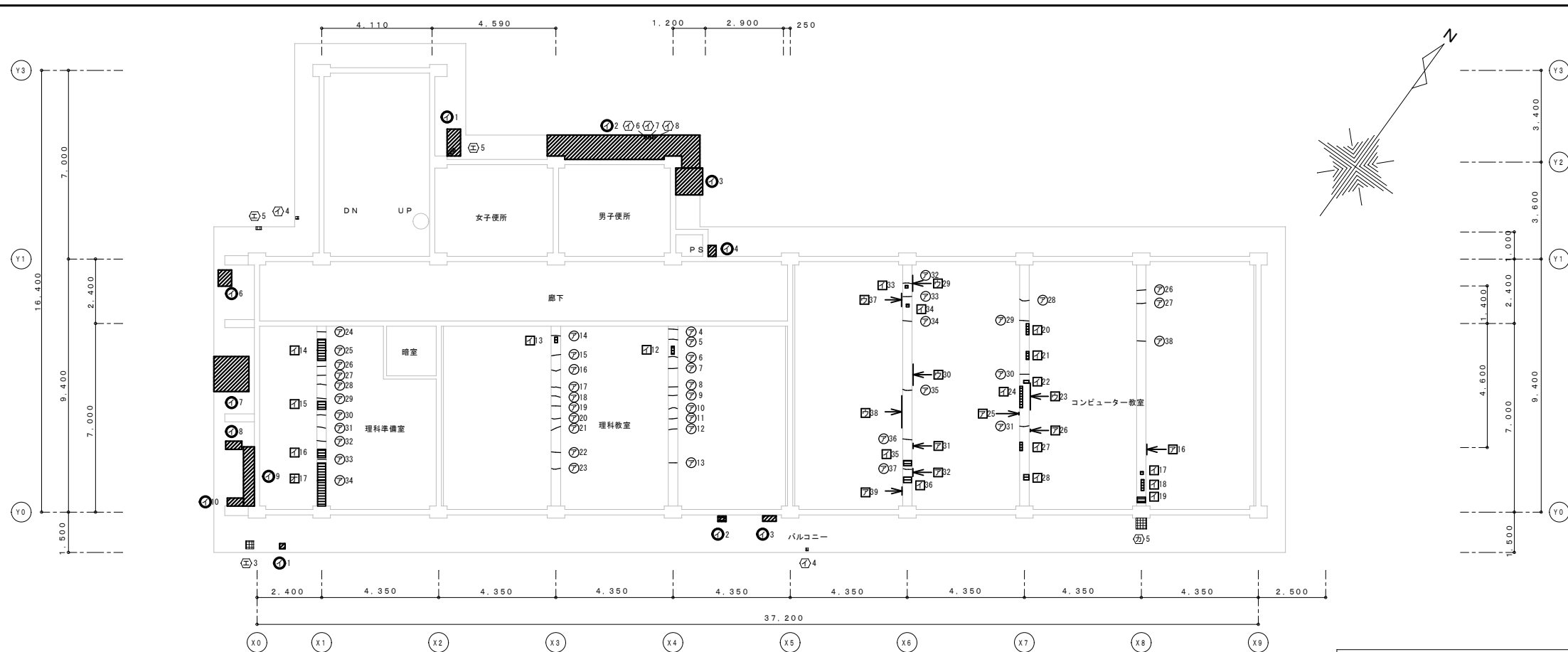
	改修部大きさ	工 法	凡 例
ひび割れ	0.2mm未満	シーリング工法(可とう性エポキシ樹脂)	㊦ 1～
	0.2mm以上	Uカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	㊩ 1～
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 鉄幅部	㊦ 1～
	0.25㎡以上	アンカーピンニング全面注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 指定部	㊦ 1～
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 鉄幅部	㊦ 1～
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	㊦ 1～
			㊦ 1～
欠損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
露筋処理	100×100未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×300未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×800未満	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	800以上	防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理+ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
塗膜剥離	一般部	剝離剝用手工具ケレン工法	㊦ 1～
	指定部	剝離剝用手工具ケレン工法	㊦ 1～
Pコン跡			P1～ ●



北劣化調査立面図 1：200




西劣化調査立面図 1：200



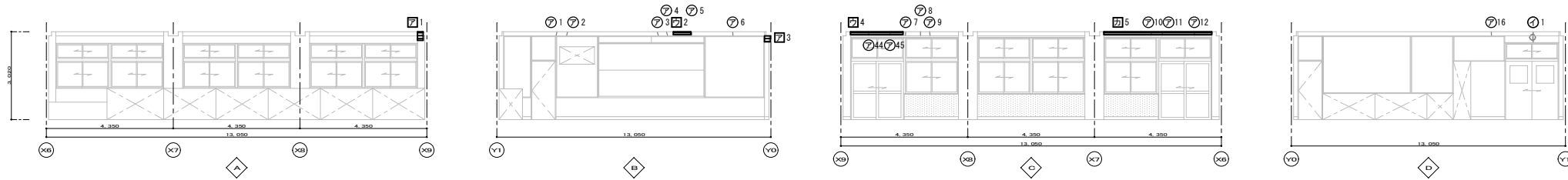
3 階劣化調査天伏図 1 : 1 0 0

	改修部大きさ	工 法	凡例	
ひび割れ	0.2mm未満	シール工法(可とう性エポキシ樹脂)	ア 1～	
	0.2mm以上	リカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	イ 1～	
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	ア 1～	
		アンカーピンニング部分注入工法 指定部	イ 1～	
	0.25㎡以上	アンカーピンニング全面注入工法 一般部	ア 1～	
		アンカーピンニング全面注入工法 指定部	イ 1～	
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 狭幅部	カ 1～	
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	キ 1～	
欠損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～	
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～	
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～	
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～	
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～	
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～	
	500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～	
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～	
	500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	イ 1～	
		下地調整材による不陸調整 指定部	イ 1～	
	露筋処理	100×100未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	イ 1～
			防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	イ 1～
100×300未満		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	ウ 1～	
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	エ 1～	
100×800未満		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	オ 1～	
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	カ 1～	
800以上		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	キ 1～	
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	ク 1～	
塗膜剥離	一般部	剥離剤併用手工具ケレン工法	ク 1～	
	指定部	剥離剤併用手工具ケレン工法	ク 1～	
Pコン跡			P1～	

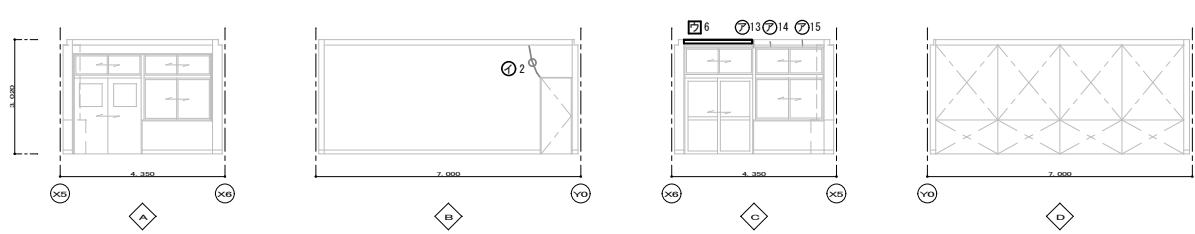
改修集計表[illegible]

記 事	工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 3 階強化調査天伏図			SCALE A1=1/100 A3=1/200		図面番号 A-60
					管理技術者	主任	検印		株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀	
								TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11		

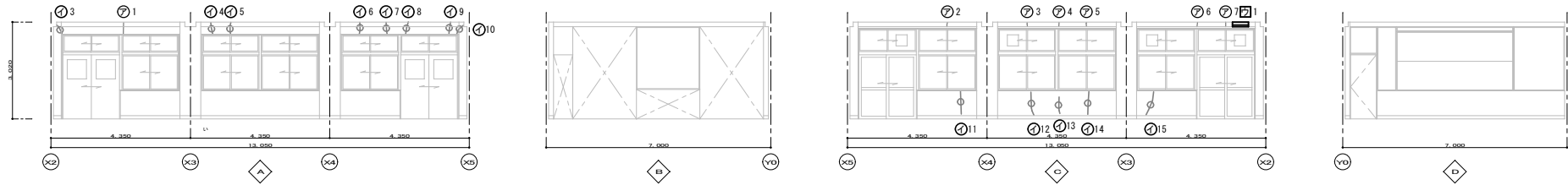
音楽教室



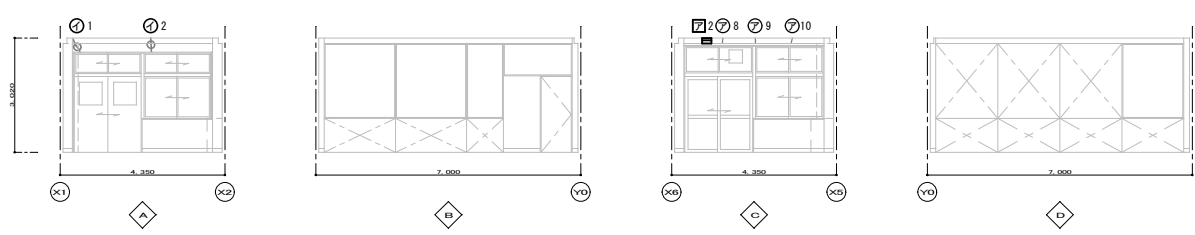
音楽準備室



家庭科室



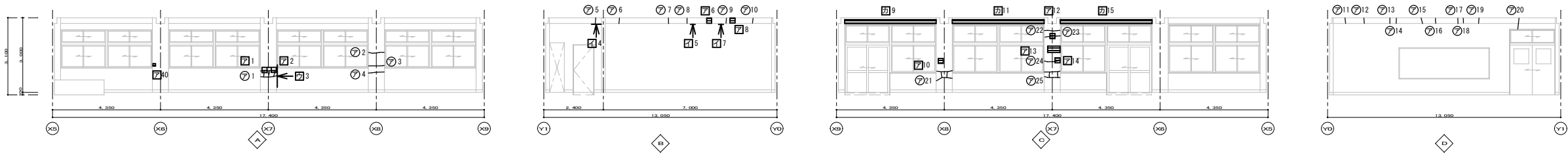
家庭科準備室



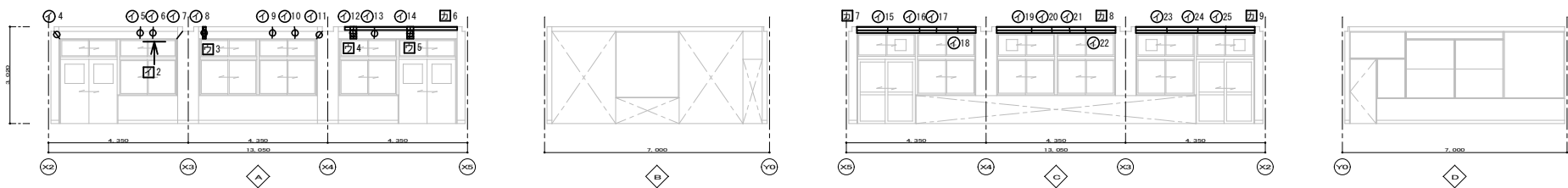
	改修部大きさ	工 法	凡 例
ひび割れ	0.2mm未満	シーリング工法(可とう性エポキシ樹脂)	㊦ 1～
	0.2mm以上	Uカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	㊩ 1～
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 指定部	㊦ 1～
	0.25㎡以上	アンカーピンニング部分注入工法 狭幅部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 一般部	㊦ 1～
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 指定部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 狭幅部	㊦ 1～
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	㊦ 1～
欠 損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
露筋処理	100×100未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×300未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×800未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	800以上	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～		
塗膜剥離	一般部	剥離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
	指定部	剥離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
Pコン跡			P1～

記 事

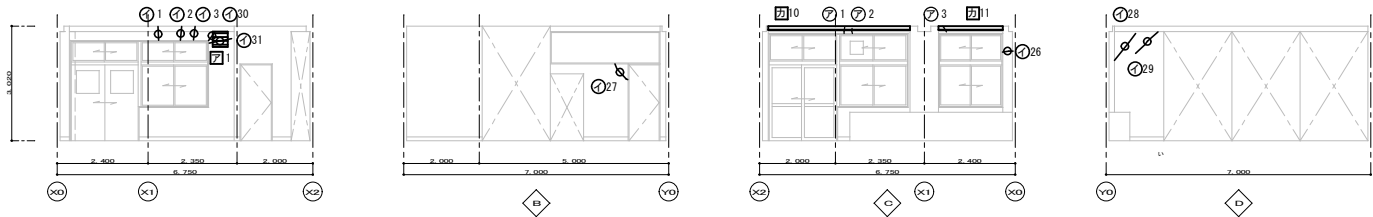
外国語教室



理科室



理科準備室

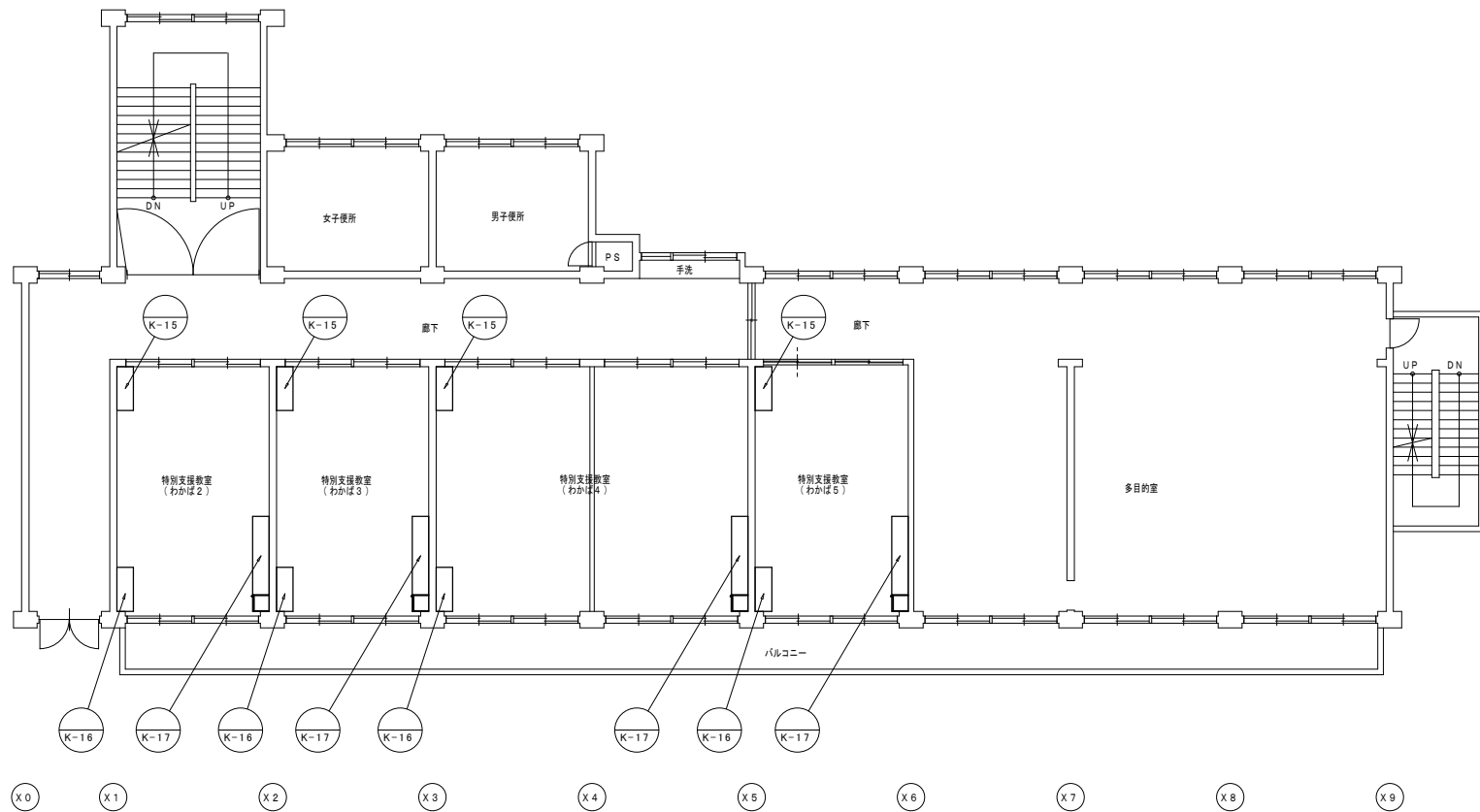


	改修部大きさ	工 法	凡例
ひび割れ	0.2mm未満	シーリング工(可とう性エポキシ樹脂)	㊦ 1～
	0.2mm以上	Uカット工法(ポリウレタン系シーリング材)	㊦ 1～
モルタル浮き	0.25㎡未満	アンカーピンニング部分注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 指定部	㊦ 1～
		アンカーピンニング部分注入工法 狭幅部	㊦ 1～
	0.25㎡以上	アンカーピンニング全面注入工法 一般部	㊦ 1～
		アンカーピンニング全面注入工法 指定部	㊦ 1～
	1.0㎡未満	アンカーピンニング全面注入工法 狭幅部	㊦ 1～
	1.0㎡以上	カッター入れモルタル撤去・不陸調整	㊦ 1～
欠損	100×100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	200×200以下	ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	400×400以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500以下	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
	500×500超	下地調整材による不陸調整 一般部	㊦ 1～
		下地調整材による不陸調整 指定部	㊦ 1～
露筋処理	100×100未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×300未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	100×800未満	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
	800以上	防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 一般部	㊦ 1～
		防錆処理・ポリマーセメントモルタル充填工法 指定部	㊦ 1～
塗膜剥離	一般部	剥離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
	指定部	剥離剤併用手工具ケレン工法	㊦ 1～
Pコン跡			㊦ 1～

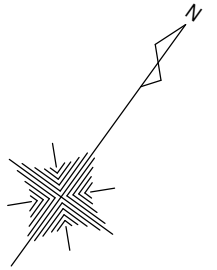
Y3

Y1

Y0



改修後 2階平面図 1 : 100



Y3

Y2

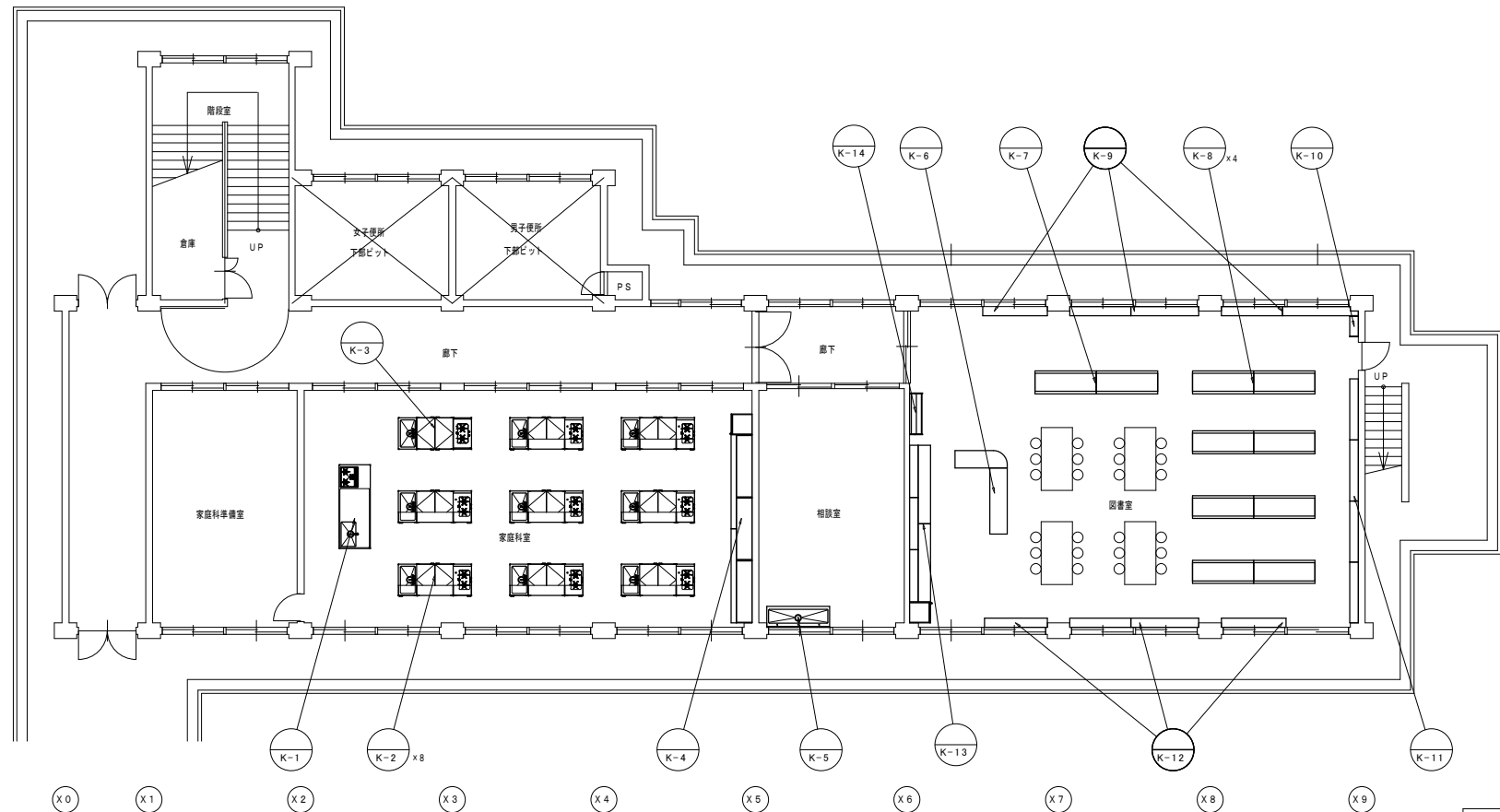
Y1

Y0

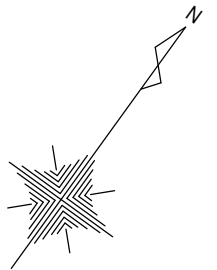
Y3

Y1

Y0



改修後 1階平面図 1 : 100



Y3

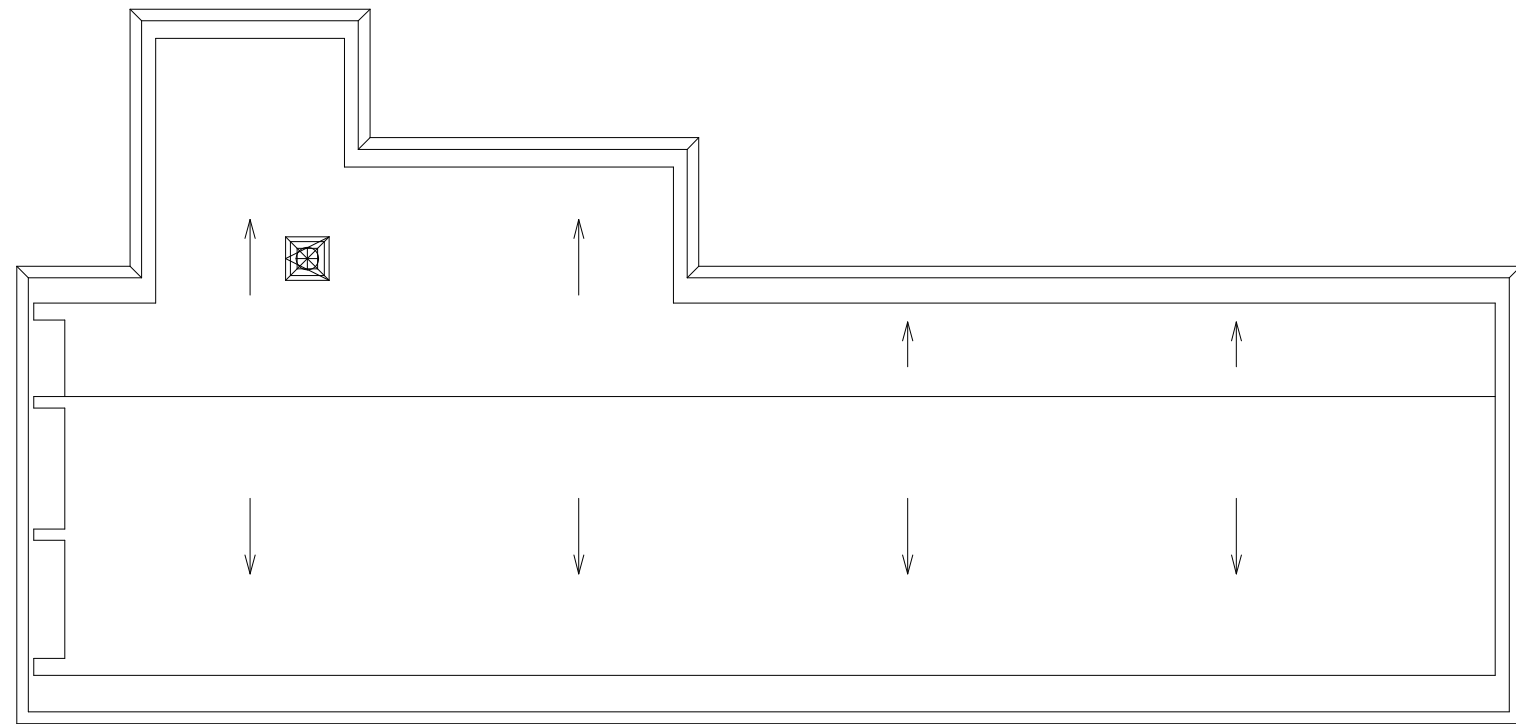
Y2

Y1

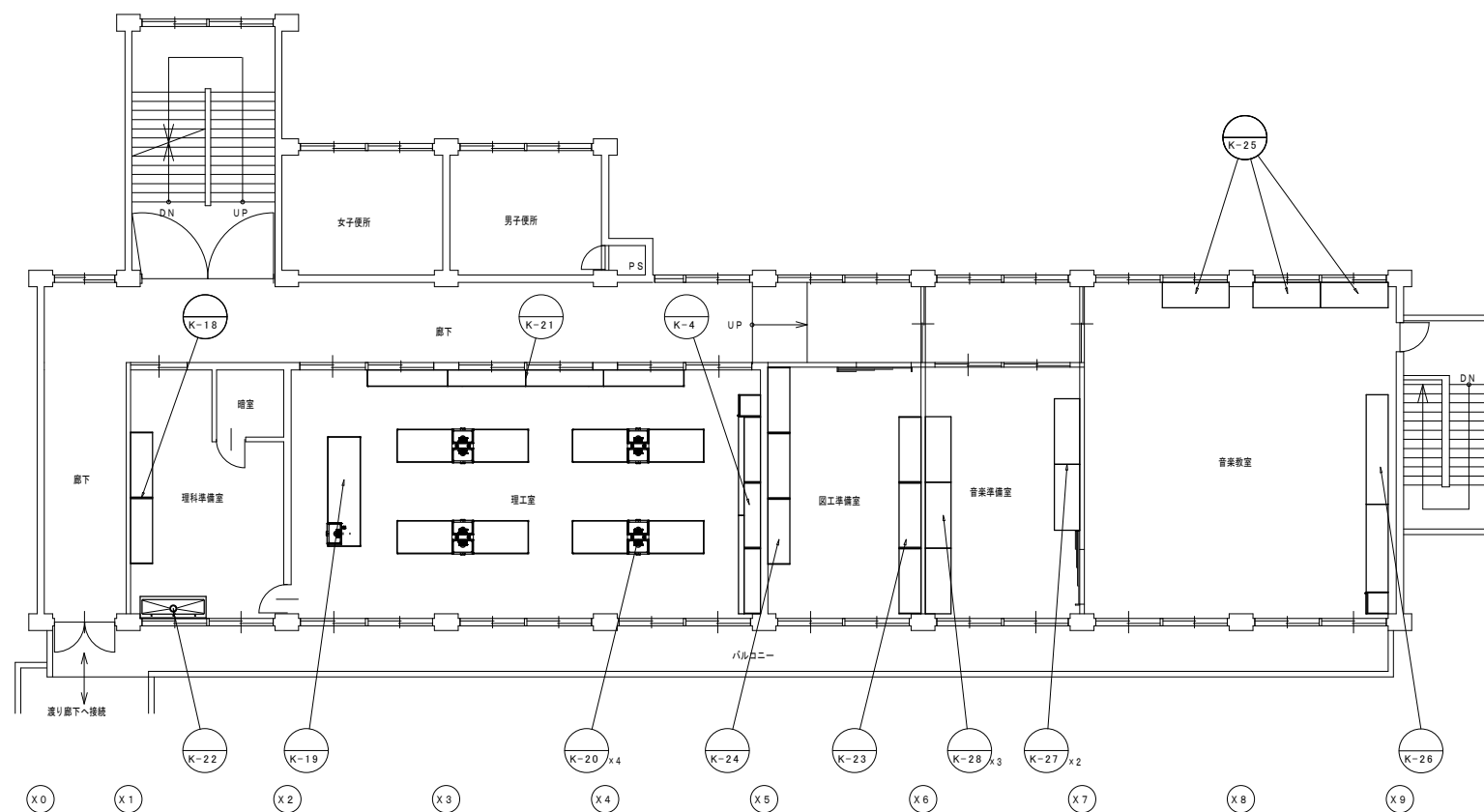
Y0

記 事

工事名 吉木小学校教室棟大規模改修建築工事				図面名 1、2階家具キープラン			SCALE A1=1/100 A3=1/200		図面番号 A-63
				管理技術者	主任	機印	 株式会社 アスク設計 一級建築士 第126874号 田中 孝秀 TEL0979-82-5554 本社〒828-0021 福岡県豊前市大字八屋1648-11		



改修後 R階平面図 1 : 1 0 0



改修後 3階平面図 1 : 1 0 0

木製家具標準仕様 『 特記無き場合は下記の仕様とする 』	
ECOボード仕様 標準仕様書	
地球環境問題（リサイクル、温暖化等）に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に 主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。	
樹脂コート化粧 パーティクルボード （ECOボードプラス）	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品（メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可） 「JIS A 5908」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
樹脂コート化粧MDF （NEOボードプラス）	JIS-F☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
各種合板	JAS-F☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。 F☆☆☆適合品
塗料	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。 F☆☆☆適合品
本体	主材：樹脂コート化粧パーティクルボード t 20（ECOボードプラス） 背板、地板取外し部：樹脂コート化粧MDF（NEOボードプラス） t 4mm
木口	本体見掛け：非塩ビ化粧樹脂シート t 1.0貼 本体見隠れ：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼 実験台コーナー部：ABSエッジ t 3.0貼り R面取り加工
天板、中天	高圧メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工 ※ポストフォーム天板に使用するメラミンの厚さは t 0.8以上とする。
開戸（板戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼 ワンタッチ脱着式スライド丁番（キャッチ機能付） 10.5° 開き（開き角度が異なる場合、詳細図に表記）
木製引違戸 （板戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼 樹脂製戸車（立付け調整可能）、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製数居・鴨居
木製引違戸 （ガラス戸）	樹脂コート化粧パーティクルボード t 20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼 樹脂製戸車（立付け調整可能）、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製数居・鴨居 透明強化ガラス t 4mm、樹脂製ガラス押え
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボード t 20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t 0.45貼 底板、先板：樹脂コート化粧パーティクルボード 側板兼用鋼製スライドレール、口板取付けブラケット（調整機能付）、品名差付ラインハンドル
可動式棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ（NEOボードプラス） 棚板底面にずれ止めのダボジャクリを施すこと。 ※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けダボ：φ9mmネジ込式（W1/4） アルミ製ニッケルメッキ P=60mm 3段
台輪	ポリエステル化粧合板貼 下地：ランバーコア合板 t 15（四方組） ※壁面固定の家具は不陸調整の上、台輪化粧材「後貼」とする。
ステンレス天板	SUS304及びSUS430 t1.0 表番仕上：#400 低温アルゴン溶接加工品 下地：合板 t 9mm
ステンレスシンク	※板厚が薄くなるため、プレス加工品は使用不可とする。
排水トラップ	N-14BPs：樹脂製（ステンレスプレート、大型ゴミカゴ付） トラップ接続径：全て40A ※給排水管やそれらの接続、及び接続に関わる穴あけ等の二次加工は設備工事とする。
共 通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※「西尾家具工芸社」製品、又は同等品以上とすること。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

<div>把手、引手 詳細図</div> <div><div><div>PP製空気孔付舟底引手</div><div><div>25</div><div>110</div><div>空気孔</div><div>背面手摺り</div></div></div><div><div>ABS製ハンドル</div><div><div>13.2</div><div>29</div><div>111.4</div></div></div></div>		<div>本体、棚板 木口仕上 詳細図</div> <div><div>標準本体見え掛り</div><div><div>20</div><div>木口 1:1.0化粧シート貼</div></div><div>標準本体見え隠れ</div><div><div>20</div><div>木口 1:0.4化粧シート貼</div></div></div>		<div>天板、中天 詳細図</div> <div><div>メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工</div><div><div>20</div><div>R</div><div>R</div></div><div>メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工</div><div><div>R20.5</div><div>41</div><div>19</div></div></div>
<div>引違戸 詳細図</div> <div><div>板戸</div><div><div>13</div><div>樹脂 PP樹脂成型品</div><div>引違戸 樹脂コート化粧 パーティクルボード</div><div>20</div><div>20</div><div>樹脂</div><div>PP樹脂成型品</div><div>樹脂製戸車 (立付調整可)</div><div>5</div></div><div>ガラス戸</div><div><div>13</div><div>樹脂 PP樹脂成型品</div><div>引違戸 1.4mm透明強化ガラス 樹脂コート化粧 パーティクルボード 枠組</div><div>20</div><div>20</div><div>ガラス枠縁 PP樹脂成型品</div><div>樹脂</div><div>PP樹脂成型品</div><div>樹脂製戸車 (立付調整可)</div><div>5</div></div></div>		<div>引出 詳細図 (側板兼用鋼製スライドレール仕様)</div> <div><div>側板兼用鋼製スライドレール</div><div>引出先端、裏板 樹脂コート化粧 パーティクルボード</div><div>口板取付けブラケット 口板調整機能付</div><div>引出口板 樹脂コート化粧 パーティクルボード</div></div>	<div>調理台ステンレス天板詳細図</div> <div><div>平面図</div><div>水切りロール加工</div><div>天板 SUS430 1:1.0 下地 合板 4.9mm</div><div>断面図</div></div>	
<div>可動棚板 詳細図</div> <div><div>棚受けダボ</div><div><div>樹脂 メラミン化粧MDF 下地 フラッシュ</div><div><div>60</div><div>23</div><div>60</div><div>30</div><div>30</div><div>ダボ φ9 真チユウニツケルメツキ</div><div>背面:メラミン化粧MDF貼</div></div><div>ステンレス棚柱</div><div><div>P=20</div></div></div></div>				
<div>※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。</div>				

